# なりたの教育

## 平成28年度

「リオ2016オリンピック競技大会パブリックビューイング（女子マラソン　田中智美選手）」（左上）
「第25回　世界少年野球大会　千葉大会」（右上）
「台湾高雄市前金国民小学との交流」（下）

成田市教育委員会

# 成田市民憲章

昭和４６年１１月３日制定

信仰のまち、世界に通ずるまち成田はわたくしたちのふるさとです。

ゆたかな自然と文化にめぐまれてきたわたくしたち成田市民は、大きな希望と誇りをもって世界に伸びようとしています。

わたくしたちは、成田のかがやかしい発展とおたがいのしあわせをねがい、この市民憲章をさだめます。

1　親切な心で
　　平和な成田をつくりましょう。

1　よろこんで働き
　　豊かな成田をつくりましょう。

1　きまりをまもり
　　住みよい成田をつくりましょう。

1　自然と文化を大切にし
　　美しい成田をつくりましょう。

1　若い力をそだて
　　明るい成田をつくりましょう。

# はじめに

成田市教育委員会
教育長　関川　義雄

少子高齢化の進展は、本市に限らず全国各都市においても深刻な状況になりつつあります。このような時こそ、子ども達の学びの質を改善し、我が国の次代を担う若い力を育てることは、教育に携わる者の最大の使命であると考えます。本市教育委員会では、本年３月に、今後１０年間を計画期間とする「成田市学校教育振興基本計画」を策定いたしました。計画で示した６つの基本目標、２０の柱、５６の施策は、未来に夢をつなげる、子どもたちを育てるための指針となるものです。

さて、国では、４年後に実施予定の、小学校新学習指導要領において、３年生から英語活動を、５年生からは、正式な教科として、英語科を設置することで準備を進めていますが、本市においては、国際空港を擁する立地を生かし、平成８年、成田小学校が文部省の研究開発指定を受け、英語活動を実施して以来、平成１８年からは、市内全小学校に英語科を設置するとともに、全ての学校に外国人英語講師を配置し、全校共通、成田市独自の「成田市英語科標準年間計画」も作成して授業実践を続けてまいりました。教育の成果はすぐに出せるものではありませんが、本年１月の成人式に出席された新成人の皆様を対象にしたアンケート調査では、「小学校・中学校で勉強した英語は、今役立っていますか。」と言う問いに対し、７８％の方が「はい」と答えてくれました。このことは、本市の英語教育が、子ども達の将来に対し、大きな役割を果たしていることを実感させるものでありました。

また、生涯学習の分野においても、生涯大学院では、開設以来３６年間に、１，７０８名の卒業生を、明治大学・成田社会人大学では、１９年間で、延べ３，５２０名の方が受講し、２，９８０名の修了者を送り出してまいりました。また、年に一度の、スポーツを通じた市民交流の場である「スポーツフェスティバル」では年々参加者が増え、昨年度は４，０００人を超える方々に楽しんでいただくことができました。誰もが、学びたい時に学び、スポーツを楽しみたい時に楽しめる環境づくりを目指してきた成果の一つであると認識しています。この他、公民館を利用したサークル活動や、図書館サービスの充実など、直接、市民の皆様と関わる業務を通して、教育委員会の果たす役割の大切さを感じているところです。

本誌「なりたの教育」は、このように、教育委員会が所管する全ての部署の事業概要を説明する内容となっていますが、いずれの分野においても、人と人との関わりを大切にし、学びや交流を通して、一人ひとりが健康で、生きがいを感じながら、文化的で充実した生活を送れるようにすることを念頭に置き、計画、実践しております。これからも多くの市民の皆様に関心を持って、各種事業にご参加いただけるよう取り組んでまいりますので、引き続き、ご支援、ご協力をお願いいたします。

# 目　次

成田市の概要……………………………………………………………………………………… 1
　1　沿　　革……………………………………………………………………………………… 1
　2　位置・面積…………………………………………………………………………………… 1
　3　人口・世帯数………………………………………………………………………………… 1
教育委員会の概要…………………………………………………………………………………… 2
　1　教育委員会…………………………………………………………………………………… 2
　2　教育長・教育委員…………………………………………………………………………… 2
　3　事務局の組織・事務分掌・職員数………………………………………………………… 3
　4　教育費………………………………………………………………………………………… 4
　　（１）平成２８年度の一般会計予算と教育費……………………………………………… 4
　　（２）平成１６年度以降の一般会計決算総額に占める教育費の割合…………………… 4
　　（３）平成２８年度教育費の各種内訳……………………………………………………… 5
　5　平成２８年度教育委員会の主要事業……………………………………………………… 6
　　学校教育振興基本計画に基づく学校教育の推進 ………………………………………… 6
　　（１）小中連携・一貫教育の推進…………………………………………………………… 7
　　（２）確かな学力と豊かな心の育成………………………………………………………… 8
　　（３）国際理解教育・英語教育の充実……………………………………………………… 9
　　（４）生徒指導・教育相談の充実…………………………………………………………… 9
　　（５）読書指導・学校図書館の充実………………………………………………………… 10
　　（６）学校施設整備事業……………………………………………………………………… 11
　　生涯学習推進計画に基づく生涯学習の推進 ……………………………………………… 12
　　（１）明治大学・成田社会人大学…………………………………………………………… 12
　　（２）生涯大学院……………………………………………………………………………… 13
　　（３）家庭教育学級…………………………………………………………………………… 14
　　（４）放課後子ども教室……………………………………………………………………… 14
　　（５）成田国際文化会館……………………………………………………………………… 14
　　（６）成田市文化芸術センター……………………………………………………………… 15
　　（７）公民館セカンドライフ支援セミナー………………………………………………… 15
　　（８）子どもの読書活動の推進……………………………………………………………… 15
学校教育……………………………………………………………………………………………… 16
　1　施策の概要…………………………………………………………………………………… 16
　　（１）教職員の資質向上……………………………………………………………………… 16
　　（２）特色ある学校づくりへの支援（ドリームスクール・ジャンプ２１）……………… 16
　　（３）特別支援教育の推進…………………………………………………………………… 16
　　（４）スクールカウンセラー・小学校教育相談員の効果的な活用と充実……………… 17
　　（５）学校体育の充実………………………………………………………………………… 17
　　（６）安全教育の推進………………………………………………………………………… 17
　　（７）情報教育の推進………………………………………………………………………… 18
　　（８）学校評議員制度の活用………………………………………………………………… 19
　　（９）学校施設の管理と整備………………………………………………………………… 19
　　（10）学校問題解決支援事業………………………………………………………………… 19

（11）学校支援地域本部事業…… 19
２　教育センター…… 20
（１）学校支援の推進…… 20
（２）特別支援教育の推進…… 20
（３）教育相談…… 20
（４）社会科副読本「わたしたちの成田市」等の作成、配付…… 20
（５）情報教育の推進…… 21
３　教育支援センター…… 22
４　各学校・幼稚園の特色…… 23
５　学校給食センター…… 41
（１）食に関する指導の充実…… 41
（２）献立の充実…… 41
（３）衛生管理の推進…… 41
（４）食材の放射能対策…… 42
（５）給食施設の整備…… 43
生涯学習…… 44
１　施策の概要…… 44
（１）生涯学習の推進…… 44
（２）家庭教育の充実…… 45
（３）成人教育の充実…… 46
（４）青少年教育の充実…… 46
（５）社会教育関係団体活動の支援…… 48
（６）文化の振興…… 49
（７）平成２８年度　生涯学習課事業計画…… 51
（８）生涯スポーツの振興…… 53
（９）平成２８年度　生涯スポーツ課事業計画…… 56
２　公　民　館…… 57
（１）魅力ある公民館活動の推進…… 57
（２）サークルの育成・活用の推進…… 57
（３）公民館ボランティア推進事業…… 57
（４）こども体験学習セミナー…… 57
（５）広報活動の充実…… 57
（６）平成２８年度の教室・講座計画…… 58
３　図　書　館…… 59
（１）図書館サービスの充実…… 59
（２）子どもの読書活動の推進…… 59
（３）公津の杜分館・公民館図書室等によるサービス…… 60
（４）障がい者サービス…… 60
（５）平成２８年度　図書館事業計画…… 61
４　視聴覚サービスセンター…… 62
（１）視聴覚教材・機材の整備充実と効果的な活用…… 62
（２）視聴覚教育研修の充実…… 62
（３）広報活動の充実と利用の促進…… 62
（４）平成２８年度事業計画及び平成２７年度活動状況…… 62

資　料　編…………………………………………………………………………………………… 64
歴代教育長及び教育委員……………………………………………………………………………… 64
市立小・中学校の児童生徒数の推移………………………………………………………………… 64
市立小・中学校・幼稚園一覧………………………………………………………………………… 65
社会教育施設一覧……………………………………………………………………………………… 66
体育施設一覧…………………………………………………………………………………………… 67
学校医、学校歯科医、学校薬剤師一覧……………………………………………………………… 68
成田市内指定文化財等一覧…………………………………………………………………………… 69
平成２７年度　学校体育施設開放利用状況………………………………………………………… 72
平成２７年度　公民館利用状況……………………………………………………………………… 73
平成２７年度　図書館資料点数及び利用状況……………………………………………………… 74
市内大学・高等学校・私立小中学校・私立幼稚園………………………………………………… 75

# 成田市の概要

## 1　沿　　革

成田市は昭和２９年に、町村合併促進法に基づき、成田町、公津村、八生村、中郷村、久住村、豊住村、遠山村の１町６村が合併して誕生しました。そして、平成１８年３月に下総町、大栄町との合併により新しい成田市が誕生しています。

全国屈指の霊場成田山新勝寺と、宗吾霊堂を中心に門前町として古くから栄え、また、水と緑に恵まれた本市は、約３万年前から人々が生活を始めていたことが知られています。

今、成田市は、霊場と田園が醸し出す「静」と、近代文明の粋を集めた空港が持つ「動」の２つを兼ね備えた特色ある都市として、着実な歩みを続けています。

## 2　位置・面積

成田市は、千葉県の北部中央に位置し、北は利根川、西は印旛沼に接し、東南は広大な北総大地が続いています。

面積は、213.84k㎡です。

## 3　人口・世帯数

人口は、男性66,384人、女性65,810人、合計132,194人で、59,675世帯となっています。

（平成２８年４月末現在）

# 教育委員会の概要

## １　教育委員会

教育委員会は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、地方教育行政を処理するために、市長から独立した行政委員会として設置された執行機関です。

また、平成２７年４月１日から施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置や、教育委員による教育長へのチェック機能の強化などの改革が行われました。そのほか、新たに市長と教育委員会が教育行政の大綱や重点的に講ずべき施策等について協議・調整を行い、市の教育政策の方向性を共有しながら、連携して効果的に教育行政を推進していくため、総合教育会議が設置されています。

教育委員会は、教育長と４名の委員により組織されており、いずれも市長が市議会の同意を得て任命しています。教育長の任期は３年、委員の任期は４年です。平成２７年４月１日から平成３１年３月３１日までの間に任命される委員の任期は、特例として、１年以上４年以内で定めることができます。

教育長は、教育委員会の会務を総理し（「教育委員会の会議を主宰する」、「教育委員会の権限に属する全ての事務をつかさどる」、「事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督する」）、教育委員会を代表します。

また、教育委員は、教育長に対するチェック機能を果たすため、会議の招集や教育長が委任された事務の管理・執行状況の報告を求めることができます。

教育委員会会議は原則として毎月１回開き、必要に応じて臨時会を開催しています。

## ２　教育長・教育委員

教育長
関川　義雄

教育長職務代理者
小川新太郎

委　員
髙木久美子

委　員
福田　理絵

委　員
佐藤　　勲

| 役職名 | 氏名 | 教育長・委員就任日 | 教育長・委員の任期 |
|---|---|---|---|
| 教育長 | 関川　義雄 | H25. 4. 1 | H27. 10. 1 ～ H30. 9. 30 |
| 教育長職務代理者 | 小川　新太郎 | H23. 6. 18 | H28. 10. 1 ～ H31. 9. 30 |
| 委員 | 髙木　久美子 | H24. 10. 1 | H28. 10. 1 ～ H32. 9. 30 |
| 委員 | 福田　理絵 | H25. 10. 1 | H25. 10. 1 ～ H29. 9. 30 |
| 委員 | 佐藤　勲 | H26. 10. 1 | H26. 10. 1 ～ H30. 9. 30 |

（平成２８年１０月１日現在）

# 3　事務局の組織・事務分掌・職員数

事務局は、教育委員会の所掌に係る事務を遂行するため、教育委員会におかれています。

- 教育長　１４３人（１５５人）
  - 教育総務部　６５人（７２人）
    - 教育総務課　７人（７人）
      - 総務係：教育委員会議、規則等の制定・改廃、学校の予算配分・執行、学校の教材・備品等の整備、教育委員会職員の人事、服務、研修及び福利厚生
      - 計画調整係：教育行政の総合的計画の策定、教育行政の総合的調査・研究・調整
    - 学校施設課　１１人（１１人）
      - 管理係：学校・教職員住宅施設の修繕、維持管理業務、国庫等の負担金・交付金、学校用地
      - 整備係：学校施設の工事、整備計画
    - 学務課　９人（９人）
      - 管理主事所掌事務：教職員の人事、服務、福利厚生、通学区域
      - 学事係：転出入学手続、教科書・副読本、就学援助
    - 教育指導課　１９人（１９人）
      - 指導主事所掌事務：教職員研修、学校体育、情報教育、学校保健衛生、安全教育、国際理解教育、特色ある学校づくり
      - 総務係：庶務会計、各種補助金・負担金、学習用バス
      - （教育センター）：学校関係職員の研修、校内授業の支援、就学相談、教育相談、社会人活用、特別支援教育
      - （教育支援センター）：不登校児童生徒の学校復帰への支援
    - 学校給食センター　７人（１２人）
      - 管理係：施設の維持管理、給食費等の業務に関すること
      - （下総分所）：施設の維持管理、その他の業務に関すること
      - （大栄分所）：施設の維持管理、その他の業務に関すること
      - （共同調理場）：（公津の杜中、本城小、公津の杜小）施設の維持管理、その他の業務に関すること
      - （下総分所・大栄分所・共同調理場）：献立表の作成、賄いの材料の調達・検収、調理業務、衛生管理
    - 大栄幼稚園　８人（８人）：園の運営計画、幼児教育の実践
    - 小学校　３人（５人）：（学校用務員）学校の環境の整備、その他の用務
  - 生涯学習部　７７人（８２人）
    - 生涯学習課　２１人（２５人）
      - 社会教育係：社会教育委員会議、生涯学習推進協議会、国際市民フェスティバル、生涯学習情報、生涯学習講演会、社会教育施設の整備、明治大学・成田社会人大学、生涯大学院、家庭教育、社会教育団体の指導・育成
      - 青少年教育係：青少年問題協議会、青少年健全育成団体の育成、成人式、リーダー養成、青少年感動芸術劇場、青少年相談員、放課後子ども教室、成田わくわくひろば、ヤングスペース
      - 文化振興係：文化芸術の振興、文化財の保護・管理・指定・活用
      - （三里塚御料牧場記念館）：三里塚御料牧場資料の収集・展示
      - （下総歴史民俗資料館）：市内の歴史・民俗資料の収集・展示
    - 生涯スポーツ課　１５人（１５人）
      - スポーツ振興係：スポーツ教室・大会、健康・体力づくり運動、スポーツ指導者の確保・育成、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ団体、スポーツ推進委員、世界少年野球大会千葉大会フォローアップ事業
      - 施設係：スポーツ広場等・運動公園施設・印東体育館・北羽鳥多目的広場・大栄Ｂ＆Ｇ海洋センター・ナスパ・スタジアム・地区運動施設・パークゴルフ場の維持管理、学校体育施設開放、臨海宿泊施設利用助成
    - 公民館　１３人（１３人）
      - 管理係：施設及び備品の維持管理、公民館運営審議会、広報、公印の管守、その他公民館に関すること
      - 事業係：公民館の運営計画・使用許可、資料の収集・活用、学級講座、展示会及び講演会等の開催、社会教育活動の推進
    - 図書館　２７人（２８人）
      - 管理係：運営及び事業計画、施設及び備品の維持管理、広報及び統計、図書館協議会、教育機関その他関係諸機関との協力及び連絡調整、史料の編さん発行及び頒布
      - （視聴覚サービスセンター）：視聴覚ライブラリー運営委員会、視聴覚教材・機材の活用及び情報提供・整備、視聴覚教育の指導及び研修、映画会
      - 資料係：蔵書構成並びに図書館資料の選択及び収集、資料の整理及び保存・除籍、図書館システム
      - 奉仕係：資料の利用及び貸出、読書案内及び調査研究の相談業務、相互貸借、子ども読書活動の推進、公津の杜分館及び公民館図書室等の業務

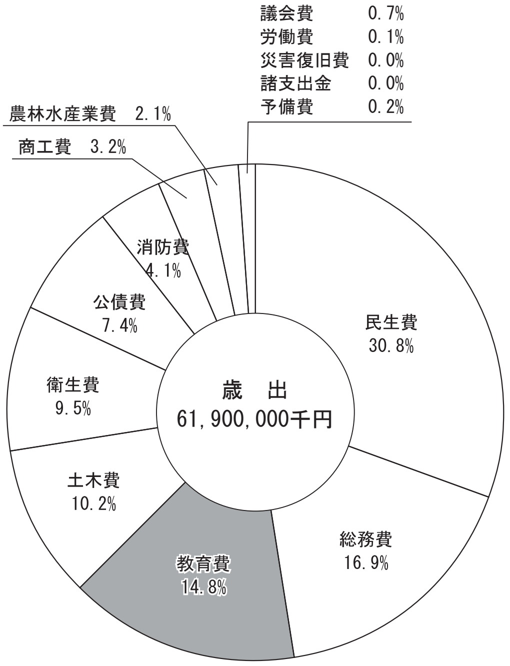
（平成２８年４月１日現在）

※括弧内の人数は、再任用職員または再任用短時間勤務職員を含む数

# ４　教　育　費

平成２８年度当初予算

## （1）平成２８年度の一般会計予算と教育費

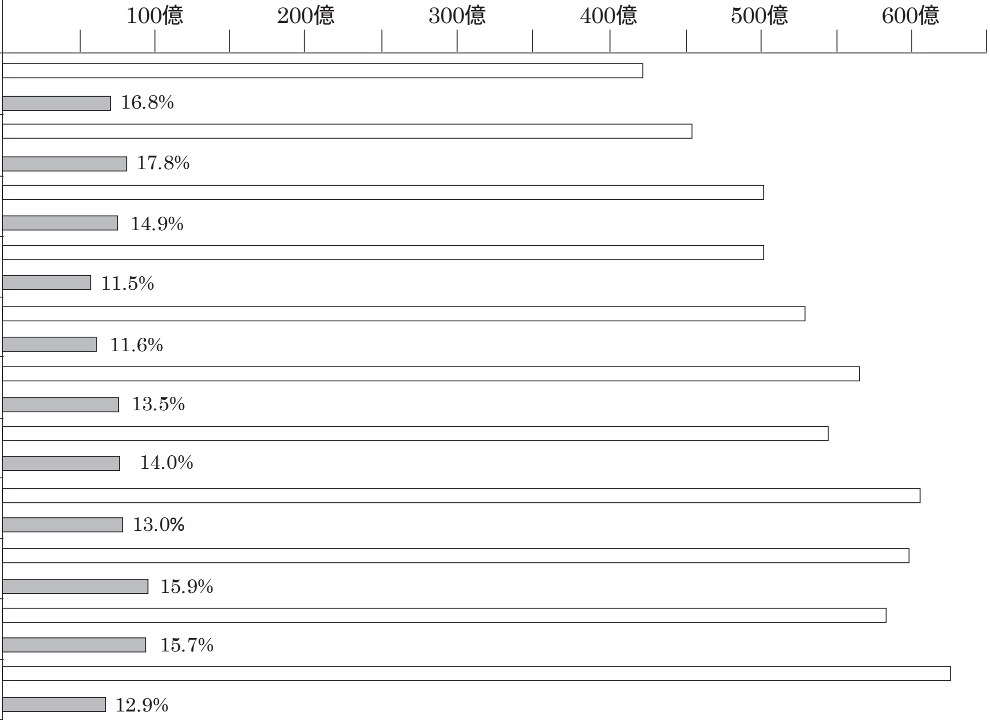



| | 予算額 | 比率 |
|---|---|---|
| 議　会　費 | 446,698千円 | 0.7% |
| 総　務　費 | 10,488,455 | 16.9 |
| 民　生　費 | 19,046,305 | 30.8 |
| 衛　生　費 | 5,911,490 | 9.5 |
| 労　働　費 | 55,504 | 0.1 |
| 農林水産業費 | 1,320,206 | 2.1 |
| 商　工　費 | 1,975,142 | 3.2 |
| 土　木　費 | 6,308,793 | 10.2 |
| 消　防　費 | 2,557,844 | 4.1 |
| 教　育　費 | 9,135,839 | 14.8 |
| 災害復旧費 | 2,000 | 0.0 |
| 公　債　費 | 4,551,721 | 7.4 |
| 諸支出金 | 3 | 0.0 |
| 予　備　費 | 100,000 | 0.2 |
| 合　　計 | 61,900,000 | 100.0 |

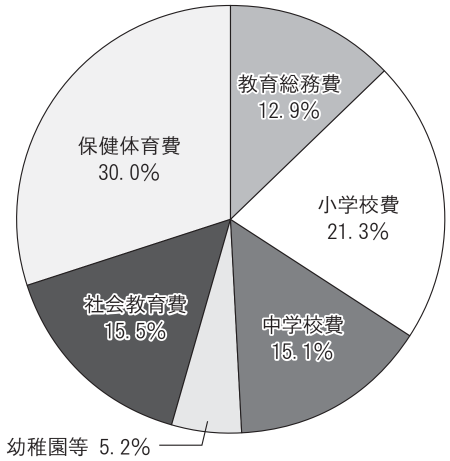
## （2）平成１６年度以降の成田市一般会計決算総額に占める教育費の割合

（単位：千円、%）割合＝B/A

| 年度 | 決算総額（A）<br>教育費（B） |
|---|---|
| 16 | 42,514,804<br>7,124,242 |
| 17 | 45,765,031<br>8,153,380 |
| 18 | 50,488,411<br>7,509,311 |
| 19 | 50,546,106<br>5,793,937 |
| 20 | 53,354,990<br>6,180,554 |
| 21 | 56,950,790<br>7,664,770 |
| 22 | 54,819,898<br>7,681,653 |
| 23 | 60,937,412<br>7,897,250 |
| 24 | 60,123,109<br>9,575,943 |
| 25 | 58,077,111<br>9,122,870 |
| 26 | 63,251,007<br>8,166,914 |

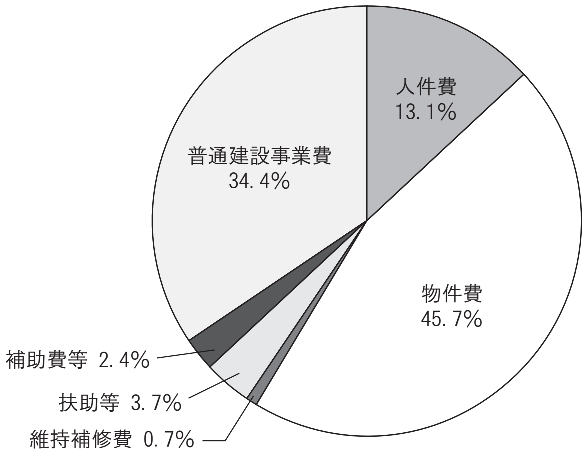


## （3）平成２８年度教育費の各種内訳



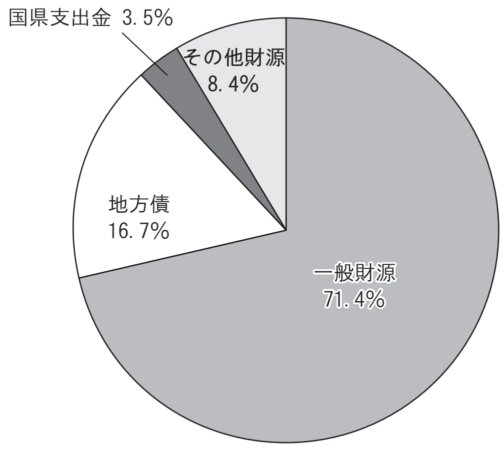

項別内訳

| | 予　算　額 | 比　率 |
|---|---|---|
| 教育総務費 | 1,176,257千円 | 12.9% |
| 小学校費 | 1,943,433 | 21.3 |
| 中学校費 | 1,380,043 | 15.1 |
| 幼稚園費 | 472,659 | 5.2 |
| 社会教育費 | 1,418,054 | 15.5 |
| 保健体育費 | 2,745,393 | 30.0 |
| 合　計 | 9,135,839 | 100.0 |




性質別内訳

| | 予　算　額 | 比　率 |
|---|---|---|
| 人件費 | 1,198,197千円 | 13.1% |
| 物件費 | 4,173,869 | 45.7 |
| 維持補修費 | 68,898 | 0.7 |
| 扶助費 | 337,682 | 3.7 |
| 補助費等 | 217,790 | 2.4 |
| 普通建設事業費 | 3,139,244 | 34.4 |
| 積立金 | 159 | 0.0 |
| 投資及び出資金 | 0 | 0.0 |
| 繰出金 | 0 | 0.0 |
| 合　計 | 9,135,839 | 100.0 |




財源内訳

| | 予　算　額 | 比　率 |
|---|---|---|
| 一般財源 | 6,522,258千円 | 71.4% |
| 地方債 | 1,524,100 | 16.7 |
| 国県支出金 | 322,138 | 3.5 |
| その他財源 | 767,343 | 8.4 |
| 合　計 | 9,135,839 | 100.0 |

# ５　平成２８年度教育委員会の主要事業

## 学校教育振興基本計画に基づく学校教育の推進

今日、少子高齢化の進行や高度情報化、グローバル化の進展などの社会情勢の大きな変化に伴い、教育を取り巻く状況においても、学力向上、道徳教育の充実、いじめや不登校の防止、教員の資質の向上や幼児教育の充実、家庭教育への支援、情報化への対応など、多くの課題があります。

本市ではこれまで、「成田市学校教育長期ビジョン」（平成１３年３月）のもとに、子どもたちの確かな学力や豊かな心など「生きる力」の育成を目指して、国際理解教育、英語教育、特別支援教育、情報教育、職業観を育むためのキャリア教育などに取り組むとともに、平成２６年４月には、県内でも３番目となる小中一貫教育校「下総みどり学園」を開校するなど、特色ある教育を推進してきました。

これらの成果を受け継ぐとともに、現代の急激な社会情勢の変化に柔軟に対応し、夢の実現に向けてたくましく生きる子どもたちの育成を目指して、学校・家庭・地域社会が連携して、それぞれの学校や地域で創意工夫し、特色ある教育を推進していくための指針として、平成２８年３月に、成田市学校教育振興基本計画「輝くみらいＮＡＲＩＴＡ教育プラン」を策定しました。

これは、教育基本法第１７条第２項に基づく「成田市の教育の振興のための施策に関する基本的な計画（教育振興基本計画）」として策定したもので、本市の学校教育の現状と課題を踏まえ、策定後１０年間（平成２８年度～平成３７年度）に、本市が目指す学校教育のあり方について基本的な方向性を示したものです。

この計画では、子どもたちの「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育みながら個々の能力を伸ばし、将来に夢と希望を持って自分の進むべき道を切り拓く力を育むため、「子どもの多様な個性　能力を伸ばし　未来をひらく力を育む」を基本理念に定め、社会が大きく変化する中で、子どもたちが将来、自立した個人として未来を切り拓き、豊かな人生を送ることができるよう、個々の多様な特性や能力を生かした教育を推進します。

平成２８年度は、この基本理念の実現を目指し、次の６つの基本目標をもとに、各施策の推進を図ります。

第一に、社会を生き抜く力を育む。

第二に、伝統・文化の理解と国際性を育む。

第三に、豊かな心・道徳性・規範意識を育む。

第四に、よりよい学校教育環境づくりを進める。

第五に、様々な困難を抱えた子どもたちへの支援を充実する。

第六に、社会の変化に対応した教育を推進する。

### （1）小中連携・一貫教育の推進

小中連携教育とは、義務教育９年間において、目指す児童生徒像を小中学校教職員が共有し、一人一人の子どもの成長に一層目を向けた一貫性のある指導を展開し、「生きる力」を育む教育の質的な向上を目指すことを目的とした教育です。本市においては、平成９年度から生徒指導の充実を目的として、中学校区で定期的に情報交換を図ることから始まり、平成１９年度からは小中学校で共通の学習のきまりや生活のきまりを設定し、共通した指導で児童生徒を育てたり、行事等で児童生徒間の交流を図ったりするなど、中学校区の特色を生かした効果的な連携教育を推進してきました。

学校適正配置の取組による学校の新設、統廃合が進む中で、平成２５年度はニュータウン地区の一部が学区を再編し、中学校区が変わりました。改めて将来を見据えた小中連携教育を以下の内容で計画的、継続的に実践していきます。

①　中学校区で目指す児童生徒像を設定し、小中連携教育を推進します。
②　中学校区校長会議を定期的に実施し、学区内の実態把握、情報交換を図ります。
③　生徒指導担当者会議を定期的に開催し、生徒指導の充実を図ります。
④　中学校区教職員の相互研修による授業公開を促進し、学習指導の共通理解を図ります。
⑤　児童生徒が交流する行事や活動を設け、児童生徒間の相互理解を図ります。
⑥　小中連携教育の実態を地域に発信し、地域、保護者の理解を深めていきます。

この小中連携教育をさらに進めた教育方法として、小中一貫教育があります。本市においては、９年間が途切れることのない一貫した教育課程による教育を小中一貫教育ととらえています。

平成２６年４月に開校した下総小学校は、下総中学校との小中一貫教育を展開することになりました（通称名「下総みどり学園」）。現在、下総みどり学園では、学年区分を３区分（１～４学年、５～７学年、８・９学年）とし、５学年から教科担任制による授業を行うとともに、児童生徒の交流授業、共通行事を実施しています。（※）

このような小中一貫教育を展開することは、義務教育９年間を見通した教育活動を一層進めることになり、小学校から中学校への接続を円滑にし、中学校入学時の不安や心理的格差の解消を図るとともに、小中学校の教員が相互に指導に関わり、よりきめ細かい指導と専門性を生かした指導をすること、また児童生徒の交流により、よりよい人間関係の形成が目指せるものと考えています。

今後は、下総みどり学園の教育活動の成果を積極的に小中連携教育に取り入れ、中学校区で特色ある学校づくりを進めていきます。

また、小中連携を充実させるために、市内全ての学校で、義務教育９年間で子どもを育てるという視点で教育活動が展開できるよう、教職員の意識改革に取り組んでいきます。

※学校教育法等の一部を改正する法律が平成２８年４月１日から施行され、これまでの小学校、中学校に加え、新たな学校種として小中一貫教育の実施を目的とする義務教育学校の制度が創

設されました。下総みどり学園においては、更なる小中一貫教育体制を整えるため、平成２９年４月の義務教育学校への移行に向けて準備を進めていきます。

### （２）確かな学力と豊かな心の育成

子どもたちに基礎・基本を確実に身に付けさせ、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決するなどの「確かな学力」の定着、一層の向上を図るために、少人数指導・習熟度別指導など、個に応じたきめ細かな指導を積極的に推進するとともに、体験的な学習活動を通じ、子どもたちが相互にかかわり合い学ぶ楽しさを実感できる学校づくりを進めます。

また、自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心などの「豊かな心」を育むために、道徳教育の充実、学校・家庭・地域が連携した体験活動の機会や情報の提供、読書活動の充実など積極的に支援します。

そのために、教職員の指導力向上を目指した研修会支援や、市教育委員会主催各種研修会の充実に努めています。

これまで市内の小中学校には、少人数学習推進教員と養護教諭の資格をもつ健康推進教員を配置してきましたが、平成２８年度は、少人数学習推進教員を学校サポート教員と名称変更し、これまで以上に学力の向上を目指した少人数学習を中心とした指導方法の工夫改善に努めるとともに、教育相談・生徒指導面におけるきめ細かな指導体制を強化し、児童生徒一人一人のニーズや個性に応じた教育の一層の実現に努めます。学校サポート教員を４１名、健康推進教員を１２名、合わせて５３名の配置を行います。

本務教員と学校サポート教員が連携してティーム・ティーチングや学級・学年を分割して授業を行うことにより、習熟度別・課題別学習を実施し、児童生徒の実態等に応じて発展的な学習や補充的な学習などを実施することが可能になります。また、総合的な学習の時間における問題解決学習や様々な体験的学習を行う上でも人的な支援・援助ができるため、より充実した児童生徒の活動を展開することができます。このような授業方法を工夫改善することにより「楽しい授業・わかる授業」を実現し、より個に応じた指導の充実を図るとともに、基礎学力の定着を図るものです。

学校サポート教員の配置

また、健康推進教員の配置により児童生徒の心身のさらなるケアに努めています。様々な悩みを抱えて生活している児童生徒に対し、「心の居場所」としての保健室の機能をより高めるため児童生徒数の多い学校を中心に配置し、心身両面からの支援を行っています。

健康推進教員の配置

### （３）国際理解教育・英語教育の充実

国際空港都市成田の将来を担う児童生徒に、日本人としての自覚を持ち、異文化理解などの国際性や、英語によるコミュニケーション能力の基礎を育むために、全国でも先進的に取り組んできた国際理解教育・英語教育の一層の充実を図ります。

平成１５年度から内閣府の特区制度を活用して取り組んできた「国際教育推進特区」は、平成２０年度から文部科学省の「教育課程特例校」として継続しています。

これにより全国では５年生から開始される外国語活動を､市内の全小学校では１年生から開始し、１年～４年生で２０分のプランを週２回、５・６年生で２０分のプランを週２回と４５分を週１回の英語科授業を実施しています。全中学校では年間標準時数１４０時間の英語科授業を１年生１５５時間、２・３年生１５８時間に増やして実施しています。

また、外国人英語講師（ＡＬＴ）を各学校に配置し、小学校では市が独自に作成している「小学校英語標準年間指導計画」をもとに全ての英語科授業で学級担任とＡＬＴとのティーム・ティーチングによる指導を行っています。中学校においても、ＡＬＴを各学校に配置し、英語科授業や学校生活全般を通して、英語に触れる機会を多くすることで英語教育、国際理解教育を推進します。さらに､英語教育に関する検討委員会を開催し､本市の英語教育の方向性を検討していきます。また､英語指導助手によるＡＬＴの指導などを通し、直接的・間接的に支援を行います。

さらに、市で独自に作成している「小学校年間指導計画」及び「中学校拡充英語指導案」の見直しを毎年行うとともに、英語科授業や様々な教育活動を通して、国際理解教育・英語教育を推進します。

また、これまでの本市英語教育の成果や課題を明らかにするための手立ての一つとして、平成２７年１月に引き続き成人式の参加者を対象に「小･中学校の英語学習」に関する調査を行いました。

本市では、全小中学校にＡＬＴを配置していますが、平成２８年１月の調査で「英語の授業にＡＬＴがいてよかったですか。」には、９６％が「はい」と回答しました。小中学校で学んだ英語の有効性については､「小学校・中学校で勉強した英語は、今役立っていますか。」の問いに７８％が「はい」と回答しました｡「街中で道案内をする時に役立っている。」「現在の職場で役立っている。」「簡単な会話ならできるし、聞き取れる。」「外国の人とのコミュニケーションの楽しさを知った。」などが多く寄せられ､「今後も英語を学んでみたい。」と考えている人も全体の８割を超えていました。

この調査は今後も数年間継続し、本市英語教育の方向性の検討に活用していきます。

外国人英語講師の配置

### （４）生徒指導・教育相談の充実

生徒指導は、学校の教育目標を達成するための重要な機能の一つであり、一人一人の児童生徒の

人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めるように指導・援助を行います。単なる問題行動への対応という消極的な面にとどまることなく、問題行動を生み出さない積極的な生徒指導を推進します。

そのために、生徒指導の基本である人間関係の構築を基本に、生徒指導の機能を生かした、生徒が自己存在感、達成感、成就感を感じる、わかる授業づくり、誰もが安心感を得られる学級経営に努めます。

暴力行為、いじめ、携帯電話等に関わるトラブル、不登校、児童生徒の問題行動等については、原因や背景は個々の事例により様々であり、学校･家庭･地域社会それぞれの要因が複雑に絡み合って発生しているのが現状です。いじめについては、学校いじめ防止基本方針に基づく対応並びに本市いじめ問題対応マニュアルの活用を図り、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努めます。

また、指導主事が積極的に学校を訪問し、問題解決に向けた支援や生徒指導に係る様々な資料を提供するとともに､生徒指導主事（主任）研修会の充実を図ります。「中学校区小中生徒指導連絡会」を実施し､小中学校間の連携の充実を図るとともに､庁内他課､児童相談所､北総地区少年センター､警察等の関係機関との連携をより一層強化します。

不登校対策としては､教育センターに臨床心理士の資格を有するカウンセラー２名を配置します。このうち１名は市内の児童生徒･保護者及び教職員を対象に教育相談を行い､児童生徒が抱える様々な悩みや不安の軽減・解消を図ります。もう１名は、教育支援センター「成田市ふれあいるーむ２１」に通う児童生徒とその保護者を対象に教育相談を行い、学校復帰を支援します。

さらに、市内１２校の拠点小学校に教育相談員を配置し、近隣の小学校に在籍している児童・保護者を対象とした教育相談活動を実施し、各中学校及び成田小学校と公津の杜小学校に配置されているスクールカウンセラーとともに保護者や子どもたちの様々な悩みや不安に対応していきます。

### （５）読書指導・学校図書館の充実

学校図書館は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにするなど、子どもの読書活動を推進する場であるとともに、「総合的な学習の時間」や各教科の中で課題学習や調べ学習など児童生徒の主体的・意欲的な学習活動を展開していく場として、学校の教育活動において重要な役割を持っています。

学校図書館のこうした機能の充実のために、学校図書館司書を配置し、レファレンスサービスを提供するとともに、図書購入、蔵書のデータベース化など様々な環境整備の充実に取り組んでいます。

本年度は引き続き市独自の学校図書館司書を２５名雇用し、すべての学校に学校図書館司書を週２日以上配置します。子どもが自主的に読書活動を行うことができる環境づくりに向け、学校図書館司書と司書教諭や市立図書館との連携をより一層強化し、学校図書館の活用の充実を図ります。

### （6）学校施設整備事業

大栄地区小中一体型校舎（完成予想図）

大栄地区小学校５校の統合（※）に向けて、中学校との一体型校舎として建設するための実施設計を進めるとともに、建設場所である大栄中学校敷地前面道路の拡幅工事を実施します。

また、久住中央地区の生徒数の増加による教室不足が見込まれることから、久住中学校増築工事の実施設計を行うとともに、工事に着手します。

また、経年により老朽化した学校施設について、教育環境の改善及び建物の耐久性の確保を図るため、新山小学校北棟、吾妻中学校西棟の大規模改造工事を実施するとともに、遠山中学校既存棟第２期、下総中学校増築棟の空調設備機能回復工事、バリアフリー整備事業として豊住小学校及び向台小学校屋内運動場への多目的トイレの新設、維持整備事業として小学校のトイレの洋式化や、防災機能を強化するため屋内運動場他の天井等の耐震対策工事など、近年の生活様式に対応した改造工事や変化する教育現場にふさわしい施設整備を実施します。

※大栄地区では、当初５校（大須賀小学校、桜田小学校、前林小学校、津富浦小学校、川上小学校）を新設校２校に統合する予定でしたが、大栄地区の児童数が当初の推計と比較して減少傾向にあることや大栄地区の住民の方々の意向を考慮し、新設校１校に統合するように計画を変更し、平成２５年８月には大栄地区区長会から教育委員会の統合案を受け入れる旨の回答書が提出されました。

現在、統合に向けて、地元の方や大栄地区の学校の教員等を委員とした「大栄地区小中一貫教育準備委員会」を立ち上げ、また、委員会の中に５つの部会を設け、様々な検討課題について協議しているところです。

平成２８年度につきましても、新たな学校の校名を募集し、決定していくなど、協議を続けてまいります。

なお、校名は議会の議決を経てから正式名称となることから、議会の承認を得るまでは仮称として使用します。

# 生涯学習推進計画に基づく生涯学習の推進

国際化や情報化が進む２１世紀は、「こころ」と「こころ」を結ぶコミュニケーションづくりを充実させ、「人のつながり」を大切にした市民生活が重要となります。

市民と行政とが連携・協働して「みんなで」学習活動を盛り上げ、子どもから高齢者まで、幅広い年齢層の市民「だれもが」自ら主体的に「いろいろな」学習機会にふれることで、世界の人々に対して誇れるような個性と広い視野を備え、成田を大切にし、互いに助け合い、共に学びながら、社会情勢の変化に対応し、自立して生きていける「国際市民」を育むことが生涯学習分野における重要課題ともいえます。

私たちが「国際市民」となる上で重要なことは、本市の持つ自然や歴史の中で育まれた地域環境のもとで一人の市民として、何を学び、何をしたいのか、何ができるのかを考え、豊かなコミュニティづくりを進めるために生涯学習を実践していくことです。

こうした過程を経て、私たちは真の「国際市民」となっていくものと考えます。

このように、成田の豊かな自然と歴史のもと、市民一人一人の生涯にわたる学習を支え、「国際市民」を育むことを基本理念とし、「市民が学習成果を活かせるまちづくり」を導いていくための施策の推進に努めます。

平成２８年度は、市民と連携・協働し、誰もが生涯にわたる生きがいを持ち、その成果をまちづくりに生かせるよう、開講から２０年目を迎えた「明治大学・成田社会人大学」をはじめ、「生涯大学院」、「高等学校等開放講座」など生涯学習機会の充実に努めます。また、放課後子ども教室などの子どもの居場所づくり推進事業のさらなる充実、公民館等での子育て支援事業の推進、子どもの読書活動の推進を図るとともに、スポーツ健康宣言都市として積極的な事業を展開するなど、スポーツや文化の振興を含めた生涯学習社会の実現に努めていきます。

### （１）明治大学・成田社会人大学

高まる市民の学習ニーズに対応し、より専門的な学習機会を提供するとともに、激動する世界情勢の変化に対応できる「国際市民」を育むことを目的として、平成９年度から「明治大学・成田社会人大学」を開講しています。

平成１４年度から、称号付与制度（修学士・教学士・弘学士）を開始し、学習意欲の向上に努めており、学習成果を「まちづくり」に生かせるカリキュラム編成を行います。

【平成２８年度　学習テーマ】

○国際社会課程：グローバル化と格差、民族対立

世界はいま、さまざまな対立が渦巻いています。米国ではリーマン・ショックをきっかけにウォール街が占拠され、「１％の富裕層と９９％の貧困層」が叫ばれました。問題とされたのが、急激に拡大する格差と深刻化する社会的分断です。近年は排外主義を伴ったマイノリティーや移民などへの「排斥運動」も一層激しさを増し、民族対立・紛争も激化しつつあります。本講義では、これらの背景や現状を受講生の皆さんと考えたいと思います。

○地域社会課程：近現代作家の古典への眼差し

平成２８年度の地域社会課程では、近現代の作家たちがどのように古典文学や古典的文献に関わったのかについて、それぞれの講師が特色を生かした講義を展開します。作家たちがどのように古典を受け入れ摂取してきたのか、または時には批判的に取り入れながら乗り越えようとしてきたのか、新解釈を施したのか。さらには、古典を利用しながら近現代の作家たちが今の世界や社会や人間をどのように見つめているのか、という視点から分かりやすい講義を行います。

○緑地環境課程：農業と食に関わる最近の話題

農業は人類に文明が始まってから脈々と行われており、あまり動きの無いものと考えがちですが、近年のテクノロジーの発達や世界情勢の変化、また環境との関わりなどにより、ダイナミックに変化をしている分野もあります。本講座では最近の農業研究の進歩などに関わる講義を行います。

**開講式**

**講義風景**

**（２）生涯大学院**

６０歳以上の人を対象として、社会環境の変化に順応していくための学習機会を提供し、高齢者が社会の担い手として能力を地域社会のために生かし、新たな生きがいを創造することを目的に、３学年制による生涯大学院を開設しています。

○教養講座：成田の歴史、健康、環境問題等の一般教養（各学年　年間２５回程度）

○専門講座：書道、園芸、陶芸、油絵、音楽、体操（選択制　年間１５回）

**グラウンド・ゴルフ教室**

**学園祭**

### （3）家庭教育学級

親等が家庭で子どもの教育を行う上で必要な心構え・扱い方・留意点などを、集団で意図的・継続的に学習し、望ましい保護者の在り方や子どもに対する教育の資質を高め、保護者どうしがつながることを目的に実施しています。小・中が「健康・安全」「食育」「人権」「地域・地域人材」、幼・保が「健康・安全」「食育」「読書活動」「福祉・人権」の４項目を重点テーマに、本年度も、市立小中学校３５校のほか、市立幼稚園１園・私立幼稚園９園の１０幼稚園、市立保育園１２園・私立保育園８園の２０保育園で計６６の家庭教育学級を開設します。

### （4）放課後子ども教室

放課後や週末等に小学校の空き教室等を活用して子どもの居場所を設け、地域の方の参画により、外遊びや自主学習、スポーツ、ものづくり等の体験学習の機会を提供します。

本年度は新たに１教室増やして、７小学校区で放課後子ども教室を実施します。

クリスマスリース作り～ Smile クラブ～

### （5）成田国際文化会館

平成２８年度から平成３２年度までの指定管理者選定にあたっては公募により実施し、株式会社ケイミックスが２期目として指定されています。これまでの実績や経験に基づき、多くの市民が鑑賞し、参加できる様々な自主文化事業を実施します。

◎鑑賞型事業

| | |
|---|---|
| ○海援隊トーク＆ライブ２０１６ | ５月２２日（日） |
| ○きかんしゃトーマス | ７月３０日（土） |
| ○玉置浩二コンサート | ９月３０日（金） |
| ○ｔｕｔｔｉの会 | １１月　６日（日） |
| ○第２９回　成田ブラスの祭典 | １１月２７日（日） |
| ○第５回　成田寄席 | １２月　４日（日） |
| ○成田市民ミュージカル | １２月２３日（金・祝） |
| ○Ｊ－ＰＯＰコンサート | 平成２８年度中 |

◎受託事業

○青少年感動芸術劇場　劇団め組　演劇「走れメロス」
１１月１０日（木）～１８日（金）

○青少年感動芸術劇場　坂田おさむ＆坂田めぐみ　クリスマスファミリーコンサート
１２月１１日（日）

◎参加創造型事業

○成田カルチャークラブフェスティバル

| | |
|---|---|
| ○ヒップホップダンス【キッズ】【ジュニア】【レギュラー】 | |
| ○もう一度ＡＢＣから学ぶ英会話Ⅱ | ○英語で成田を案内しよう |
| ○絶品簡単ハーブジャム作り | ○ハーブカレー |
| ○やさしい韓国語講座Ⅱ | ○飾り巻きずしを作ってみよう |
| ○健康的で楽しい口笛 | ○スタインウェイを弾いてみよう |
| ○演劇ワークショップ | ○安らぎのオカリナ |
| ○ラテアートに挑戦 | ○プラモデル |
| ○デジカメで成田を撮ろう | ○感動のゴスペル |

**（６）成田市文化芸術センター**

音楽、美術、演劇、舞踊等の鑑賞及び実践の場並びに人々の集う場として、平成２７年７月にオープンしたホール、ギャラリーからなる施設です。施設の貸出を行うとともに、文化芸術の振興及び市民の文化芸術活動の発展に寄与し、にぎわいを創出するために、様々な自主事業を実施します。

◎スカイタウンホール

| | |
|---|---|
| ○スカイタウンコンサート | |
| ○バリアフリーロックコンサート | ５月２９日（日） |
| ○ジャズコンサート | ８月　５日（金） |
| ○ピアノコンサート | ９月２３日（金） |
| ○江戸長唄 | １２月中 |
| ○成田寄席 | ２月中 |

◎スカイタウンギャラリー

| | |
|---|---|
| ○成田市若手作家展 | ４月１９日（火）～　５月１４日（土） |
| ○千葉県移動美術館 | ９月２３日（金）～１０月１６日（日） |
| ○新春書道・華道展（盆栽展併催） | １月中 |
| ○文化財展 | ２月中 |

**（７）公民館セカンドライフ支援セミナー**

公民館では、「団塊の世代」の方や既に現役を引退された方などが、今後も心身ともに健やかで生きがいを持ち、豊かな人生を送れるよう支援するためのセミナーを開催します。

**（８）子どもの読書活動の推進**

「成田市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもが自主的に読書活動を行うことができる環境づくりを目指し、子どもの読書活動推進にかかる施策を総合的に推進します。

# 学校教育

## 1　施策の概要

### （1）教職員の資質向上

学校教育に直接携わる教職員は、児童生徒の人間形成に極めて大きな影響を与えます。このため、学習指導の工夫・改善をはじめ、学級経営の充実や生徒指導の在り方など、教職員の資質を高め、学び続ける教師を支援するために各種研修会への積極的な参加を奨励します。

また、教育センターでは現場のニーズに応じて、

○教育センター講座…今日的な課題をテーマに、指導法や対応について学ぶ

○教育相談講座…より深い児童生徒理解を希求する（県教育センターの教育相談講座基礎と同等の資格を取得可能）

○学校教育相談研修会…児童生徒の持つ不安や悩みなど様々な問題の解決に向けて、学校が組織的に対応する際のリーダーを育成する

○小学校理科実技研修会…若手教員等を対象に、理科実験の基礎、観察のポイント、安全指導等について学ぶ等の研修会を開催しています。

### （2）特色ある学校づくりへの支援（ドリームスクール・ジャンプ２１）

保護者・地域住民から学校運営の状況についての関心が高まり、地域とともに歩む学校づくりを推進するとともに魅力ある学校教育が求められています。学校においては、児童生徒一人一人の個性や学校・地域社会の特性を生かした自主的、創造的な取組を通じ、教育活動の特色化、活性化を推進することが重要になっています。

このため、校長の裁量により、専門家を招いた授業の実施や、地域と連携したボランティア活動等の体験を行うなど、各学校のマネジメントに応じた特色ある学校経営が推進されるよう、引き続き支援を行います。

### （3）特別支援教育の推進

心身に障がいがあるなど特別に支援を必要とする児童生徒の就学・教育活動を支援します。

ＬＤ（学習障害）、ＡＤＨＤ（注意欠陥／多動性障害）、自閉症スペクトラム等を含め、心身に障がいのある児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導や支援を行います。

そのため、特別支援教育コーディネーター対象の研修会を開催し、特別支援教育コーディネーターの資質向上と校内組織の充実を目指します。また、特別支援教育に関して専門的な知識や経験を有

した特別支援教育巡回指導員４名を教育センターに配置し、学校からの要請に応じて巡回相談を実施します。

さらに、個々の障がいの種別や程度に応じた適切な教育がなされるよう、特別支援学級等に在籍する児童生徒の障がいの程度や人数に応じて、養護補助員を配置しています。平成２８年度は４１名の養護補助員を２６校へ配置しています。

また、通常の学級に在籍する発達障がいのある児童生徒への支援を充実するため、平成２０年度から特別支援教育支援員を配置しており、平成２８年度は２１名の特別支援教育支援員を２１校へ配置しています。

**（４）スクールカウンセラー・小学校教育相談員の効果的な活用と充実**

市内全中学校に加え、成田小学校と公津の杜小学校にも県費のスクールカウンセラーが配置され、更に市として拠点となる小学校１２校に教育相談員を配置し、児童生徒へカウンセリング等を行うとともに、教職員及び保護者への助言・援助を行う等、効果的な活用とその充実を推進します。

また、教育相談員やスクールカウンセラー、関係小中学校教職員等からなる教育相談連絡協議会を設置し、教育相談の理論と技能を習得し、児童生徒のもつ様々な問題解決に向けての指導力の育成を図るとともに、小中連携を含めた効果的な教育相談体制の確立に努めています。

**（５）学校体育の充実**

児童生徒が生涯にわたり心身ともに健康で楽しく明るい生活を営むための健康の保持増進や体力の向上を図ります。近年、子どもの基礎体力の低下が叫ばれていますが、本市においても、このことを重要な課題として受け止め、児童生徒が自ら進んで体力の向上を目指した体育的諸活動の充実を推進します。その指標として、第２次成田市生涯スポーツマスタープランに基づき、運動能力証の合格率を平成３２年度までに３０％となることを目指します。

そのために、児童生徒が生涯にわたって運動に親しむための資質や能力を育むため、体育の授業の充実や教員の指導力向上を図ります。体育授業においては、優れた指導力を有する教員から指導技術を学ぶための研修会等を実施していきます。

また、小学校１・２年生体育科の「水遊び」（低学年水泳指導）の充実のために、小学校１２校に体育実技指導協力者を派遣するとともに、児童生徒の体力向上と積極的交流を図るために「成田市ロードレース大会」を開催します。

**（６）安全教育の推進**

心身の発達に応じた安全教育を推進し、児童生徒の安全意識を高めるために、各校の実態に応じた学校安全計画及び危機管理マニュアルの作成、安全点検や安全に関する指導（不審者対応訓練や避難訓練の実施、交通安全教室の開催等）の充実を図ります。

また、地域や保護者との連携を図りながら、学校内外の安全教育の充実と安全管理の徹底に努めます。なお、本市では、日本スポーツ振興センター法の共済掛金を市費で全額負担するとともに、中学生の自転車通学用ヘルメット購入費の半額を補助します。

子どもの登下校や戸外での活動の安全性を高めるために、小学校１年児童に通学用帽子とランドセルカバーを無償配布するとともに、児童及び生徒の希望者に防犯ブザーを貸与します。

また、不審者情報はなりたメール配信サービスを通じて迅速かつ正確に保護者に連絡します。

さらに、関係機関や関係各課と連携を図りながら、今年度から「成田市通学路交通安全プログラム」をもとに成田市通学路安全推進連絡協議会を組織し、交通安全・防犯の両面から通学路における危険個所の改善に取り組み、より一層の登下校の安全確保を図ります。

交通安全教室

携帯電話へ不審者情報を配信します

**（７）情報教育の推進**

学校教育のＩＣＴ化を推進し､情報及び情報手段を適切に選択･活用する能力等の情報リテラシーを育成するために、学校間情報ネットワークシステムの有効活用を図ります。

情報教育関連の各種の研修会では、パソコン室、電子黒板、大型テレビ、タブレット等の効果的な活用について、学校間で事例を報告し合い情報共有を図るなど、教職員の資質や技能の向上を図ります。

また、情報セキュリティや情報モラルについては、スマートフォンやＳＮＳ（ソーシャル・ネットワーク・サービス）上のトラブルの実態とそれを防止するための指導の在り方について、警察・専門業者・ＮＰＯなどの研究団体と協力して児童生徒、保護者への啓発を図るよう、資料の提供や研修会を推進します。

また、各学校が計画するＩＣＴ研修会には、インストラクターを紹介し、また、タブレットを導入した学校にはＩＣＴ支援員を派遣するなどして、より専門的かつ充実した内容で研修が行われるよう学校の要望に応えます。

そのほか、授業支援システム等の見直しも図っていきます。

### （8）学校評議員制度の活用

地域住民の学校運営への参画を得て、地域に開かれた学校づくりを推進するため、学校ごとに学校評議員を委嘱しています。

学校評議員の職務は、校長の求めに応じて、校長の行う学校運営に関して意見を述べることです。学校・家庭・地域が手を携えて、より良い教育の実現を目指すとともに、学校の自主性・自律性を高め、校長が地域の声を把握しながら適正に学校運営を行うことを支援していきます。各学校の創意工夫を生かした取組の一層の充実を図ります。

### （9）学校施設の管理と整備

学校施設の保守点検や修繕をはじめ、老朽化や教育環境の変化に対応するための改造工事を段階的に実施します。また、バリアフリーに配慮した整備や、地球温暖化防止を視野に入れた太陽光発電の導入も進めています。

### (10) 学校問題解決支援事業

学校に寄せられる様々な苦情、要望等のうち、学校の対応や取組だけでは解決が困難で、対応に法的、専門的な知識や経験を必要とする案件の問題解決を図るため、成田市学校問題解決支援チームを設置しています。

本チームは弁護士、カウンセラー、精神科医等の各分野の専門家で構成し、より高度で専門的な相談体制を確立して、児童生徒をめぐる問題等が長期化、複雑化することを防止し、解決に向けて対応することにより、学校の負担軽減を図り、学校本来の役割である教育課程や生徒指導等の推進、児童生徒と向き合う時間を十分に確保できるよう学校の支援をします。

また、いじめによる自殺などの重大事態が発生した場合に備えて、平成２６年度からチーム内に「成田市いじめ専門部会」を設置しています。

### (11) 学校支援地域本部事業

地域住民が学校支援ボランティアとして、学校活動をサポートする体制を整備し、地域とともに歩む学校づくりを進めます。学校とボランティア間の連絡調整の役割を担う地域コーディネーターを各校に配置し、地域ボランティアによる学習支援や通学路の安全確保などの学校支援を、より効果的に行えるように取り組んでいきます。今年度も引き続き市内４校で実施し、検証のうえ拡充していきます。

## ２　教育センター

教育センターは、学校関係職員の研修、校内授業の支援、教育資料及び教材の収集・作成並びに活用、特別支援教育及び教育相談等の業務を行います。

### （１）学校支援の推進

教職員の資質向上のため、各種研修会の企画・運営や様々な教育関係情報の収集と提供を行います。

各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間等の書籍を整備して、図書の貸出しや教職員の様々な要望に対するレファレンスサービスを行うとともに、ラミネート機を使った教材・資料の作成等も行います。

### （２）特別支援教育の推進

担当指導主事と学校適応専門指導員が就学前の子どもを持つ保護者の相談にあたります。成田市では、「成田市心身障害児教育支援委員会」を年３回開催し、就学に関する専門的な意見を関係者からうかがいながら、保護者と就学先についての相談を行います。委員会では、就学後のフォローアップとして、必要に応じて、子どもの発達の程度や適応の状況等を勘案しながら、在学中も学びの場について関係者と共通理解をしたり見直しをしたりするなど機能の拡充を目指します。

また、通常の学級に在籍するＬＤ（学習障害）、ＡＤＨＤ（注意欠陥／多動性障害）等を含めた発達障がいなどのある子どもたちの適応上の課題等への対応について、担当指導主事、特別支援教育巡回指導員が学校に出向き、教職員や保護者への相談・支援を行います。

平成２２年９月から、医療行為等が必要な児童生徒の学校生活を支援するため、教育センターに巡回看護師を配置しています。

### （３）教育相談

教育センターに１名の臨床心理士を配置し、不登校等に悩む児童生徒や保護者、教師を対象に相談活動を行います。

また、いじめや不登校、問題行動等心の問題を抱える児童生徒に対応する学校を支援、児童生徒の様々な問題に対応する教師のスキルを高めるための校内研修会及び校内事例検討会等に、講師や助言者として、成田市内の精神科医又は臨床心理士を派遣します。

### （４）社会科副読本「わたしたちの成田市」等の作成、配付

自分が地域社会の一員である自覚や地域社会に対する誇りと愛情が培われるよう、小学校３・４年生の社会科副読本「わたしたちの成田市」、評価テスト、白地図等の改訂作業を毎年行い、大き

く発展する成田市及び周辺地域の現状に即した資料の提供をする等、地域学習資料の充実を図ります。平成２２年度から隔年発行しています。

### （5）情報教育の推進

情報教育を推進するため、教育用のセンターサーバ等の運営や、学校でのＩＣＴ活用を支援します。

また、情報教育関連の各種研修会を開催したり、各学校内での研修会の運営を支援し、パソコン教室、電子黒板、大型テレビ等の効果的な活用について、学校間で事例を報告し合い情報共有を推進するなど、教職員の資質や技能の向上を図ります。

## ３　教育支援センター

　教育支援センターは､学校不適応等により登校できないでいる児童生徒が学校に復帰できるよう、適応指導教室「ふれあいるーむ２１」の運営を行うとともに、教育相談業務を行います。

　教育支援センターでは、専任の指導主事を１名配置するとともに、７名の指導員が児童生徒の支援にあたります。また、通所する児童生徒一人一人にきめ細かく対応するため､「臨床心理士」を教育支援センターに配置（１週間に１日程度）し、通所する児童生徒及び保護者に教育相談を実施します。さらに、月１回程度、様々な講師の助言を受けケース会議を行い、児童生徒の学校復帰を目指します。

　また、担当指導主事、指導員の学校訪問等により、各学校との連携を密にし、通所する児童生徒一人一人の学校復帰の足がかりとします。

**教育センター・教育支援センター**

**教育支援センター「ふれあいるーむ21」**

# ４　各学校・幼稚園の特色

**成田市立成田小学校**
（創立　明治６年）

児童数　７２５人
学級数　２６学級

　自主創造を合言葉に、やさしく・かしこく・たくましく生きる成小の子の育成に向けて、職員・家庭・地域が一体となり､教育活動を進めています。児童の基礎的･基本的な力の習得と､これまで培ってきた｢コミュニケーション能力」を活用し、思考力と表現力を高めるため、全職員共通理解のもと指導しています。また引き続き、学力を側面から支える家庭学習の習慣作りにも、力を入れています。若い職員が多い学校ですが、授業の質の向上、教師と児童の関わりの中身の向上を目指し日々研鑽に励んでいます。
　成田小学校の特色ある活動としては、参道に近いという立地条件を生かし、参道を訪れた外国からのお客様と英語を使ってコミュニケーションを図る参道活動があります。また､ＰＴＡ活動も盛んで｢成小フェスティバル（バザー）」や保護者と児童が協力して行う「エコ活動」を実施しています。
　古い町並みに見守られながら、成田小の子どもたちは元気に学校生活を送っています。

**成田山参道での参道活動**

**音楽集会**

**成田市立遠山小学校**
（創立　明治３５年）

児童数　６０人
学級数　７学級

　学校教育目標「育て駒っ子　かしこく　やさしく　すこやかに」
　成田市の南に位置し、成田国際空港に隣接した畑作を中心とした農家が点在する地域にあります。校地は三方を学校林「駒の森」に囲まれ貴重な里山の自然が大切に守られています。本校では環境学習にカタクリの花、アカハライモリなどの動植物を生かし、豊かな学習活動を展開しています。
　保護者、地域の皆さんは学校教育への関心が高く、協力的です。そして、地域・保護者・学校が連携、協力して学校づくりに取り組んでいます。また、「すてきな先輩シリーズ」と題して、地域や、本校出身の先輩の皆様に来ていただき、貴重な体験やお話をじかに子どもたちにしていただいています。その大きな感動が、子どもたちの意欲につながっているように感じられます。昨年度から、金曜の６校時を読書と司書による「読み聞かせ」を時間割に位置付け国語科の研究を中心に取り組んでいます。

**今年の漢字は、「道」です。**
**これからの未来に「道」を残していこう !!**

**金曜の６校時に司書による読み聞かせ**
**「へびのみこんだ　なにのみこんだ？」**

## 成田市立三里塚小学校
（創立　昭和２５年）

児童数　４１０人
学級数　１５学級

明治２４年三里塚尋常小学校として発足し、遠山小学校三里塚分教場を経て、昭和２５年に遠山村立三里塚小学校として開校しました。成田国際空港に隣接しており、ペルーやフィリピン等の外国籍の児童が多く、日本語の特別指導を行うとともに、国際理解教育を推進しています。校庭の「大えのき」をシンボルとし、「自分を磨き、自分も他人も大切にする児童の育成」を教育目標に、わかる授業、楽しい教室、夢広がる学校を目指しています。遠山地区の小中学校では、小小及び小中連携を積極的に推進しており、共通の「家庭学習の手引き」の作成・活用や生徒指導上の課題についての情報交換などを行っています。

本年度の研究は「文章を正確に読み取り、自分の考えを表現できる児童の育成」を研究主題に据え、多くの情報から重要な言葉や文章を選びぬく力、心情の変化をできごとにそって読み取る力を身に付けた児童の育成を目指しています。

**「親子レク」**
**保護者と職員で企画したレクを親子で楽しみます。**

**「国語科授業研修会」**
**心情の変化を読み取り、グラフに表しています。**

## 成田市立久住小学校
（創立　平成２３年）

児童数　３４０人
学級数　１５学級

学校教育目標「夢をめざし　心豊かに　たくましく生きる児童の育成」のもと、「くじけず学習する子・ずっと仲良し心やさしい子・みんな元気でたくましい子」を目指して教育活動に取り組んでいます。

学区は成田市のほぼ中央に位置し、本校周辺の開発・宅地造成地区を囲むように水田地帯や畑作地帯、里山が広がる自然豊かな地域です。児童数は増加傾向にあり、本年度は１学級増の１５学級になりました。

保護者や地域の教育への理解や支援もあつく、豊作や健康を願う「牛馬づくり」や「昔遊び」、「米作り体験」、「職業人に学ぶ」など、地域人材を活用し豊かな自然の中で培われた伝統と文化を積極的に教育活動に取り入れています。

本年度は算数科指導の研究を基軸として、基礎基本の確実な習得を図るとともに、児童同士の「学び合い」を通して学んだことを、自らの課題解決に活用する力の育成に取り組んでいます。

**「久住地区音楽交流会」久住小・中学校、地域の歌声サークルが参加し、美しい歌声を響かせました。**

**「牛馬づくり」６年生の児童が、地域の方に教わり、伝統の「牛馬」をつくりました。**

## 成田市立豊住小学校
（創立　明治２２年）

児童数　５８人
学級数　７学級

本校の学区は、成田市の北西部に位置し、北は利根川、南は根木名川に囲まれ、緑豊かな田園風景が広がった歴史的な文化や伝統を継承している地域です。祖父母や保護者のほとんどの方々が本校を母校とし、「ふれあいフェスティバル」や「地区合同運動会」等の行事では、三世代が交流するなど、学校に対して非常に協力的です。

「やさしく、かしこく、元気な子を育成する」を学校教育目標として掲げ、小規模校のメリットを生かしたきめ細やかな教育を推進して、一人一人のよさを大切にする学校を目指しています。本年度も、算数科を中心とした研究を通して、基礎学力の向上に努めるとともに、児童の思考力・判断力・表現力の育成に取り組んでいます。本校の校訓でもある福沢諭吉翁由来の「独立自尊」を合言葉とし、地域との連携を一層密にして、地域コミュニティの核としての学校づくりを進めています。

「地区合同運動会」
学校が地域の方と交流する拠点となっています。

地域のお年寄りと昔遊びを楽しむ子どもたち。
地域とのふれ合いを大切にしています。

## 成田市立八生小学校
（創立　明治６年）

児童数　６８人
学級数　７学級

成田市街の中心から北西へ約３km 離れた場所に位置し、緑豊かな自然に恵まれた伝統ある学校です。地域住民は、学校への関心が非常に高く協力的です。

学校教育目標「やさしく　かしこく　すこやかに」のもと、基本的な生活･学習習慣の確立、体力向上、家庭・地域社会との連携を重点目標に掲げ、学校全体で朝読書や詩の暗唱、計算・漢字検定、なわ跳びに取り組むとともに、縦割り活動や地域との交流、外部人材を活用した体験等、小規模学校のよさを生かした活動に取り組んでいます。

全校で「早寝早起き朝ごはん」運動を推進し、すこやかな体づくりを目指して「遊友スポーツランキングちば」に挑戦しています。また、年間を通して下座の演奏に取り組んでおり、３年連続印旛地区小中学校音楽発表会に出場し、素晴らしい演奏を披露しています。

２年生が「遊友スポーツランキングちば」の「みんなで短縄跳び」低学年の部で１位を獲得しました。

「印旛地区小中学校音楽発表会」

## 成田市立公津小学校
（創立　明治６年）

児童数　１１９人
学級数　　８学級

本校は、創立１４４年目を迎え、「心豊かで、自ら学ぶ、たくましい児童の育成」を目標に、保護者や地域との連携を図り、開かれた学校づくりを推進しています。目指す児童像として、「思いやりのある子」「自分で考え進んで学ぶ子」「元気でがんばりのきく子」を掲げ、命を大切にし、明るい挨拶ができ、基礎･基本をしっかり身に付けた子どもたちを育てようとしています。特に「あかるい　あいさつ　じぶんからさきにいおうね　公津っ子」を合言葉とする「あじさい運動」に力を入れ、いつでもどこでも自分から進んで挨拶ができる子どもたちの育成に努めています。また､全校徒歩遠足（手つなぎ歩行会）や運動遊び（杉の子タイム）などの異学年交流（杉の子活動）や地域との交流を年間通して計画的に行い、思いやりの心や協力性･協調性を育てていきます。校内研究では、児童一人一人の確かな学力の向上を目指し、国語科･算数科の研究に取り組んでいます。

**異学年での楽しい運動遊び**
**（杉の子タイム）**

**航空会社外国人クルーとの英会話体験**
**（ラディソンホテル）**

## 成田市立向台小学校
（創立　昭和４７年）

児童数　２９８人
学級数　１５学級

成田空港の開港に伴い､本市中央部に造成された成田ニュータウンの中に最初に開校した小学校であり、本年で創立４５年目を迎えます。中台３・４・６丁目を学区とし、学校の近くには公園が点在して緑道も多く緑豊かな地域です｡昨年度の全校児童数は３０８名でしたが､本年度は２９８名であり減少傾向になっています。保護者の学校教育への関心は高く、読書ボランティア活動などとても協力的です。学校教育目標の合い言葉「花いっぱい・歌声いっぱい・笑顔いっぱい」をもとに、全校児童による栽培活動（通年）、全校集会での歌、毎週火曜日の登校時のあいさつ運動に取り組んでいます。

また、課外活動が盛んで、陸上練習・ミニバスケットボール練習・綱引き練習・金管練習などがあります。さらに、ニュータウンあおぞら会との交流会・生涯大学院の方との昔あそびを通した交流会など「地域と共に歩む学校」を目指しています。

**歌声集会「歌声いっぱい」**

**あいさつ運動「笑顔いっぱい」**

## 成田市立加良部小学校
（創立　昭和４８年）

児童数　６７４人
学級数　２３学級

成田ニュータウンの中心部に位置する本校は、近年発展著しい飯田町・江弁須地区及び再開発による大規模マンションが建ち並ぶニュータウンの加良部地区で学区を形成し、６７４名の児童が在籍する大規模校です。また、病気と闘いながら勉強している子どもたちのための院内学級が日赤病院内に設置されています。本年度の学校経営の重点として「子どもが『わかる、できる』学習指導の充実」を定めました。社会科・生活科を中心とした校内研修によって、子どもたちの思考・判断力を育む授業を目指して工夫改善を行います。それによって基礎学力の定着を図るとともに、保護者と協力しながら基本的な学習習慣を育てています。「《夢を持ち 未来を拓く》確かな学力を身に付け、心豊かで健康な子どもを育てる」の教育目標のもとで、本年度も学校・保護者・地域が一致団結して「よく遊び　よく学び　よく働く　からべっ子」を育てています。

**２年　体育科学習（跳の運動遊び）**

**６年　キャリアトーク会　さまざまな職業があること、仕事の面白さを実感することができました。**

## 成田市立橋賀台小学校
（創立　昭和５０年）

児童数　２２４人
学級数　１０学級

昭和５０年に成田ニュータウンの南端にニュータウン第３の小学校として開校しました。本校は、橋賀台１～３丁目の集合・個人住宅に囲まれた静かな教育環境にあり、特に碧い芝生と２００ｍトラックのある広いグラウンドが自慢です。『大きく　豊かに　たくましく　生きる子どもの育成　－夢をかなえるための土台づくり－』を学校教育目標に、「よく考えて進んで学ぶ子」「おもいやりがあり助け合う子」「丈夫でがんばりぬく子」を目指す児童像としています。本年度は研究テーマを「読んで　書く力」を育てる国語科学習指導のあり方　～言語活動の充実をめざして～とし、「よく考え、進んで学ぶ子」の育成に努めています。また、小中連携教育を推進しており、吾妻中学校区３校の児童・生徒、職員、ＰＴＡが、それぞれ連携及び交流を進め、各種の地域行事に多数の児童が参加をしたり、学校行事に地域の方に来ていただいたりしています。特に地域で開催される敬老会には金管部が招かれ、好評をいただいています。

**なんでも自慢発表会**

**金管部の発表**
**運動会や敬老会においても演奏**

## 成田市立新山小学校
（創立　昭和５２年）

児童数　２１４人
学級数　１２学級

昭和５２年４月に加良部小学校から分離、向台小学校の一部を借用しての開校以来、本年、創立４０周年を迎える学校です。昨年度から第一期校舎大規模改造工事が始まり、南棟が完成、本年度末には北棟の校舎も新しくなることから、学校目標に「強くて新しい学校、ワクワク・ドキドキする学校」「夢に向かって心豊かにたくましく生きる児童の育成」「やさしい子・かしこい子・元気な子」を掲げ、世界一の学校を目指すことを子どもたちと約束しました。

校内研修は算数科を中心に据え、若年層教員が基礎的な教授法を先輩から学ぶスキルアップ研修を行っています。教育課程では、夢を育む活動を計画的に位置付け、芸術文化・科学技術などの分野で本物体験を通して感動を大切にする教育を推進しています。児童活動では、すくすく班活動等で「WE　LOVE NIIYAMA」を合い言葉とし、子どもたちと教師が一緒に愛校心を大事にした学校づくりを進めています。

**新しくなった南棟**

**全校遠足　5/2 赤坂公園**
**すくすく班で楽しく遊びました**

## 成田市立吾妻小学校
（創立　昭和５３年）

児童数　７４４人
学級数　２５学級

本校は、成田ニュータウンの北西部にあり、成田空港開港と同時に誕生して創立３９年目を迎えました。学区周辺には多くの古墳が点在し、グラウンドにも４基の古墳があります。本校の学校教育目標である「みんな仲良く　たくましく」は、子どもたちの合言葉になっており、「思いやりのある子　喜んで働く子（徳育）」「自ら学びとる子（知育）」「健康でたくましい子（体育）」を育てるため、元気なあいさつや勤労・生産活動、数学的思考力・表現力の育成、個に応じた運動や健康で安全な生活習慣の獲得に日々取り組んでいます。特に、一人一鉢運動や縦割り清掃、様々な業種の方をお迎えするキャリア教育「人生の先輩から学ぼう」を通して、働く喜びや夢を育む取組をしています。また、子どもたちの安全を守るスクールガードあづまや吾妻・はなのき台地区青少年健全育成協議会等の地域の方々の活動も活発で、ふるさと吾妻に支えられた子どもたちが生き生きと活動しています。

**「1年生の交通安全教室」**
**命を大切にするための、安全な道路の横断を教えてもらいました。**

**「ありがとうの思いを伝える会」**
**お世話になった方々へ“ありがとうの思い”を伝えました。**

## 成田市立玉造小学校
（創立　昭和５６年）

児童数　３４６人
学級数　１４学級

本校の学区は、成田ニュータウン北部の玉造１丁目から４丁目、そして公津地区八代の一部から構成されています。保護者、地域ともに教育に関心が高く、本校の教育活動に大変協力的です。

本校は、教育目標「心豊かでたくましく生きる力を身につけた児童の育成」を掲げ、様々な教育活動に取り組んでいます。本年度のスローガンは「『チーム玉造』で、知・徳・体の調和のとれた教育活動を推進し、教育目標の具現化を図る」です。これを受けて、玉小チャレンジ「挨拶・親切・外遊び」を玉造小の合言葉としています。特に本年度は、昼休みの時間を業間休みと同じ２５分間とり、外遊びを奨励しています。また、「玉造小スタンダード」を核とした学習のしつけや家庭学習の習慣化、ドリルタイムや月例テストでの基礎基本の定着などに加え、児童の体験的な学習活動を積極的に取り入れることで、自ら学ぶ意欲や豊かな人間性を育てることを目標にしています。情緒の通級指導教室「スマイル」を核として、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援の充実を図っています。児童が自分や友達を知り、認め、自他共に大切にする力の育成に取り組んでいます。

スマイル（通級指導教室）

ロング昼休み（縦割り活動）

## 成田市立中台小学校
（創立　昭和５７年）

児童数　１６４人
学級数　　９学級

本校は、本年度創立３５年目となります。本年度の学校教育目標「かしこい子どもの育成」の具現化として「勉強する子（知）」「やさしい子（徳）」「元気な子（体）」を掲げ、子どもたちの「集中・ぬくもり・清潔・秩序」ある学校生活を目指し、保護者からも信頼される教職員であることに努めています。

３年間「福祉教育の充実」に取り組みました。中台地区の社会福祉協議会の協力のもと、「あいさつ運動」「ペットボトルキャップ回収運動」「花植え活動」など継続して活動しています。本校を取り巻く環境は整っており、保護者・地域の方々の教育的な関心も高く、活発なＰＴＡ活動がなされ、防犯パトロールや読み聞かせのボランティアの皆さんからもお力添えをいただいています。このような中で、花や緑いっぱいの学校、朝はグラウンドで陸上の練習、校舎からはブラスバンドの音が鳴り響き、笑顔と元気なあいさつが交わされ、授業に集中する姿が見られるような学校を目指しています。

朝のあいさつ運動

全校縦割り遠足

## 成田市立神宮寺小学校
（創立　昭和６０年）

児童数　２１０人
学級数　１０学級

創立３２周年を迎える本校は、成田ニュータウン北部にあり、近くには、成田スカイアクセスの成田湯川駅があります。保護者は全国各地から移り住んできていることから、新たなふるさとづくりを目指して「神宮寺祭り」「どんど焼き」などの文化活動や、各種スポーツ大会など独自の行事が定着してきました。保護者の教育的関心は高く、読み聞かせ・環境美化・リサイクル活動・防犯パトロール活動などのＰＴＡ活動も盛んです。また、隣接する成田北高校の先生や生徒によるおもしろ実験教室や、綱引き練習などの交流を行ったり、地域の学習ボランティアによる学習会「神小寺子屋」を毎朝開催したりなど、学校、家庭、地域との交流が盛んです。このような地域環境の中、「心豊かでたくましく実践力のある児童の育成」の学校教育目標のもとに、「知・徳・体の調和」を図り「よく学び、よく遊べ、感動いっぱい神宮寺小～一人一人が主役～」を合言葉に全教職員が力を合わせて学校教育活動に取り組んでいます。

**「おもしろ実験教室」**
**夏休みに成田北高の先生・生徒を講師に招いて行っています。**

**「百人一首大会」**
**1月に学年を越えたグループで、百人一首大会を行っています。**

## 成田市立平成小学校
（創立　平成２年）

児童数　５１８人
学級数　２０学級

本校の学区は、成田市の南西に位置し、富里市・酒々井町と隣接した並木町・飯仲地区から成り立っています。国道５１号線周辺に散在する古くからの街並みと、ＪＲ線南側（富里市側）に宅地造成の開発が進んだことによる、新しい地域が混在しています。

学校教育目標を「夢を抱き　たくましく生きぬく人づくりをめざして　～知・徳・体の調和～」としました。いつでも夢や希望を抱きながら精一杯全力で頑張る児童の育成に向けて、全教職員が力を合わせて取り組んでいます。「全力でがんばる子」の育成を目指し、一生懸命努力すること、努力し続けて感動を味わわせることを目的に、運動部（陸上、綱引き）と合唱部の活動を通年行っています。また、子どもたちが夢希望を抱きつつ、健全に成長するために地域で子どもを育て守る体制づくり（「平成小学区ゆめ協議会」本年度７年目）が推進されています。

**５年生の宿泊学習**

**６年生を送る会**

## 成田市立本城小学校
（創立　平成５年）

児童数　３４７人
学級数　１６学級

本城という地区名は、この地を開発して住み着いた人々が、自分たちの本当の根城にしようという願いがこめられて付けられたといわれています。学区住民は地域の学校としての意識が強く教育熱心であり、学校教育に対する強い期待を持ち、協力的です。『夢と希望を笑顔で語る子どもたち』を合言葉に、一人ひとりの児童が充実した楽しい学校生活を送ることができるよう、学校と家庭、地域の連携を密にして、学校教育目標「たくましく、心豊かな子どもの育成」に努めています。本年度は、（１）心の教育、規範意識の醸成及びあいさつの実践（２）具体的な学力向上策を講じるとともに読書活動や日記の奨励と家庭学習の充実（３）体力向上と基本的生活習慣の定着を重点事項として取り組んでいます。また、「学級対抗リレー」「昔の遊び」「かるた大会」等の活動を通し、人間関係づくりを図るとともに、地域の人材を活用した体験的活動も取り入れて、思いやりにあふれた豊かな心の育成に力を入れています。

**学級全員が心を一つにして**
**～学級対抗リレー～**

**地域の敬老会といっしょに**
**～昔の遊び～**

## 成田市立大須賀小学校
（創立　明治４１年）

児童数　５８人
学級数　７学級

本年度、学校教育目標を「未来を切り開く　心豊かで　かしこく　たくましい児童の育成」とし、学校経営の重点を「確かな学力の向上」「豊かな心を育む教育活動の推進」「体力の向上と健康・安全教育の推進」「生きる力を育む生徒指導・教育相談活動の推進」「地域とともに歩む学校の推進」と定め、「一人一人が輝く大須賀小学校」を目指して取り組んでいます。本校の学区は、伊能、奈土地区を中心に９つのブロックで成り立ち、歴史的にも古く、特に伊能地区には由緒ある神社仏閣が点在しています。毎年４月中旬に行われる大須賀大神祭礼においては、本校の児童、保護者、地域住民が一体となり、地域の伝統文化を学校と連携しながら継承しようとする体制が構築されています。また、地域の青少年相談員との連携も意欲的に行っており、その精力的な指導もあり、昨年度は、市青少年交流綱引き大会で見事３位入賞を大栄地区の学校として初めて成し遂げました。

**地域の皆さんと仲良く玉入れ～運動会**

**全校で取り組むたてわり交流活動**

## 成田市立桜田小学校
（創立　昭和３２年）

児童数　１０４人
学級数　　８学級

本校は、成田市の東端に位置し、大栄インターの近く国道５１号沿いの三角屋根の時計台がある学校です。印旛郡内公立小学校では唯一制服のある学校です。本校では「心の美しい　たくましい子どもの育成」を学校教育目標に掲げ、学力向上・体力向上、そして豊かな心の育成に重点をおいて教育活動を行っています。４年生から６年生は、毎日運動部や合唱部の課外練習に参加しています。昨年度は運動能力証の交付率が市内でもトップで、合唱では２年連続郡の音楽発表会に出場することができました。

また、地域の特別養護老人ホームとの交流や、社会福祉協議会との連携によるグラウンド・ゴルフ、注連縄作りなどの行事を通して、地域の方々との交流も深めています。

昨年度は「本物に触れる機会」を数多く設定し、子どもたちに感動を与えることができました。本年度も、様々な教育活動や学校行事を通して感動する心、そして生きる力を育んでいきます。

「パラリンピアンとの交流教室」車椅子バスケット選手の皆さんと車椅子の体験をしました。

「市役所ふれあいコンサート」４～6年生全員参加の合唱部、今年も練習に励んでいます。

## 成田市立前林小学校
（創立　明治８年）

児童数　５６人
学級数　８学級

本校は、県道成田・小見川・鹿島港線沿線に位置し、学区の戸数は約４５０戸、大栄地区の中でも古村と言われる農村地帯であり、豊かな自然に恵まれた地域です。校門近くに天にも届くような大木「あららぎ」があります。正式名を広葉杉（こうようざん）というこの木は、本校のシンボルツリーであり、本校の歴史と共に子どもたちの伸びやかな成長を見守っています。

本校の教育目標は「夢をもち　心豊かに学ぶ　実践力のある人づくりをめざして　―かしこく・やさしく・たくましく―」です。特色ある教育としては、地域の施設や人材を生かした特別養護老人ホーム有楽苑、障害者施設アーアンドディだいえいとの交流やもち米作り、全校縦割り活動などがあり、これらの体験活動を通して、子どもたちに豊かな心、実践する力などを育てています。また、「知・徳・体」それぞれに具体的な目標を設定し、年間を通して共通実践を行うことで、教育課題の解決を図ることを目指しています。

「米作りの体験活動」（4月）5年生による「田植え」地域の小林さんに指導していただきました。

「全校縦割り活動」（10月）「あららぎ集会」アスレチックで交流を深めました。

## 成田市立津富浦小学校
（創立　明治６年）

児童数　１１２人
学級数　　８学級

　校庭にはクヌギの大樹があり、「つぶうらくぬぎ」と呼ばれ地域からも大切にされています。この「つぶうらくぬぎ」をモチーフにした「くぬぎん」は、本校のマスコットキャラクターとして子どもや保護者に親しまれています。
　学校教育目標「自ら学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成」のもと、算数科を研究教科として位置付け、朝の読書タイムや漢字・計算のチャレンジタイム、学習規律の徹底等、学力向上に向けた取組に力を入れています。また、年間を通しての部活動など、体力向上に向けた取組も行っています。
　児童会を中心とした集会や縦割り班活動等、児童が活躍できる場をできるだけ多く設定し、知・徳・体のバランスのとれた児童の育成に努めています。地域との交流も盛んで、各教科・特別活動等における体験活動、社会福祉協議会の方の協力によるグラウンド・ゴルフ大会やしめ縄作りは、児童も楽しみにしています。

**栄養士を講師として行った食育の授業**

**地域の社会福祉協議会の方によるしめ縄作り体験**

## 成田市立川上小学校
（創立　昭和３２年）

児童数　１２５人
学級数　　８学級

　本校の学区は、成田市の東部に位置します。学区は広く、畑や工場、倉庫、住宅が混在しています。空港の発展とともに畑作中心の農業地域から、工場や物流倉庫が増えるなど地域社会が大きく変貌しています。
　本校では、学校教育目標「明日のために、今を精いっぱい生きる子どもの育成（ともに　前進！かがやきっ子）」を達成するために、一人一人を大切にしたきめ細かな指導に心がけ、調和の取れた人間性豊かな児童を育てようと努めています。算数をはじめとする少人数指導、基礎学力を定着させるためのチャレンジタイムの充実、特別支援教育・生徒指導などの推進に力を入れています。また、本物の竹を使う竹馬作りや竹馬大会、餅つき大会、昔の遊び、本年度は創立６０周年式典などの地域との交流を深める行事を実施するなど、地域の皆さんとともに歩む学校づくりをしています。また、大栄地区の小学校統合、小中一貫校を見据え、小学校同士・中学校との連携を推進しています。

**竹馬大会**
**～こんなに高い竹馬だって乗れちゃうよ～**

**全校歩行会**
**～アスレチックで楽しい一日～**

## 成田市立公津の杜小学校
（創立　平成１８年）

児童数　８３９人
学級数　２８学級

開校１１年目となる本校は、学校教育目標に「未来を拓く心豊かでたくましい児童の育成」を掲げています。目指す児童像として「自分をみがく子（自立）」「自分も他人も大切にする子（共生）」を位置付け、全職員が一丸となって、地域に信頼される学校づくりを目指しています。

本年度は、「『好き』を増やす」をスローガンとして、授業改善、校内研究の充実、特別支援教育の充実、そして食育に取り組んでいます。実践を通して、自分が好き、友達が好き、家族が好き、公津の杜小学校が好きな子になってほしいと考えています。

学校敷地内に共同調理場が完成し、４月から稼働しました。毎日できたてのおいしい給食を頂いています。子どもたちが調理場見学をするなど、食育にも生かしていきたいと計画しています。

10周年記念運動会
～10周年記念の横断幕のもと、友達、地域とつながる～

国際交流活動のようす
～英語によるコミュニケーションを通して世界がつながる～

## 成田市立美郷台小学校
（創立　平成１９年）

児童数　３４２人
学級数　１４学級

本校では、「かしこく･やさしく･たくましく～夢をかなえる土台づくり～」を学校教育目標に掲げ、力いっぱい学ぶ子、思いやりがあり助け合う子、丈夫で、がんばり抜く子の育成に努めています。「かしこく」では、ドリルタイムを設け、学習の基盤となる「読み、書き、計算」の学力の定着を図るとともに、体験的な学習をする機会を増やし、問題解決的な学習を推進しています。「やさしく」では、年間を通じて、あいさつ運動や縦割り活動、親切運動に取り組み、豊かな人間関係づくりに努めています。「たくましく」では、体育科の授業を充実させるとともに、昼休みやリフレッシュタイムの中で、外遊びを奨励し、体力の向上を図っています。また、週に１回ロング昼休みを設け、児童が思いっきり遊ぶ時間を設けています。

毎年、５年生では地域の田を借りての米づくり体験、４年生の福祉体験、１年生の昔遊び活動など、地域の方々との交流等を通じて、優しさやいたわりの心、豊かな人間性を育てることを目指しています。

地域の方に教えていただきながら、稲刈りを体験しました。

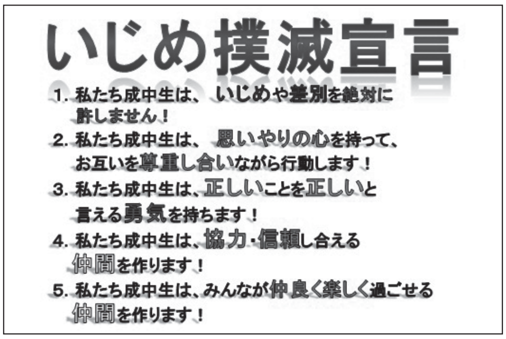
いろいろな昔遊びを楽しみました。

## 成田市立成田中学校
（創立　昭和２２年）

生徒数　５１５人
学級数　１８学級

「豊かな心を持ち、正しい判断力、実践力をもつたくましい生徒〜自立と共生を目指して〜」を学校教育目標に掲げ、本年度創立７０周年を迎え、成田市内で最も歴史のある中学校として伝統を継承しつつ、生徒会を中心に生徒活動の充実と学力の向上に取り組んでいます。美術の授業の一環として成田山新勝寺の境内の写生会やボランティア活動として太鼓祭り、弦祭りに参加して外国人に成田を紹介するなどの活動を通して郷土を愛する気持ちを育てています。生徒会は、「進化する成中　〜服装・態度・いじめ０〜」を掲げ、主体的に生徒自らより生活しやすい学校環境にしようと各委員会が活動しています。授業では、「わかる授業」「楽しい授業」のために生徒の視点に立った授業の手立てや約束事を徹底し、学力向上に取り組んでいます。上記を中心に生徒の良さや頑張りをしっかりと認め、勇気付ける取組を継続するとともに、一人一人の生徒を職員全員で見守り、指導していく体制を構築しています。

成田山での写生会




生徒全員で採択した、生徒がつくった「いじめ撲滅宣言」

## 成田市立遠山中学校
（創立　昭和２２年）

生徒数　３５４人
学級数　１４学級

本校は、成田国際空港に最も近い中学校です。また、学校周辺は、昔からの純農村地帯と振興住宅地域とが融合した地域です。学区が広範囲であり、９割以上の生徒が自転車で通学しています。交通事故が懸念されるため、交通安全教室や自転車点検等に学校全体で取り組み、事故の未然防止に努めています。また、開かれた学校づくりに努め、学期毎に学校公開日を定め、授業や行事の参観を通して、生徒の成長を見守っていただいています。秋には体育祭、合唱コンクール、年度末の予餞会など生徒にとって充実した行事が続きます。遠山中学区の小学校３校と連携し、生徒指導研修会、ブロック研修会、相互授業参観等を行い、日頃の教育活動に生かしています。また、生徒会活動では「成田いちあったかい学校を創ろう」を合言葉に生徒の自主的活動を推進し、チャレンジ精神を育み、夢の実現に向けて教職員が支援しています。

体育祭の全校演技「ソーラン節」のフィニッシュ

歌うことが好きな有志の集まり「歌い隊」

## 成田市立久住中学校
（創立　昭和２２年）

生徒数　８１人
学級数　５学級

　本校の学区は、成田市中央部に位置し、その西部に水田地帯、東部に畑作地帯が広がっています。学区が広いため、多くの生徒が自転車通学者です。印旛地区の中学校では１～２番目に生徒数の少ない小規模校ですが、久住駅前の宅地開発に伴い、今後、生徒数の増加が見込まれます。また、平成２３年度の学区小学校の統合によって一小一中学区となり、今まで以上に小中連携の強化に努めています。
　本校は、「小規模校の特性を生かし、全教育活動を通して個を生かすことに徹する」を重点目標に、下記の３点を柱に特色ある学校づくりを進めています。

１．個に応じた学習や補充的な学習、少人数学習、体験学習などのきめ細かな指導を通して、基礎・基本の徹底を図る。
２．総合的な学習の時間の充実で、主体的に活動する能力の育成を図る。
３．「職場訪問」、「職場体験」などを通して地域愛を育て、自らの生き方を考えられる生徒を育てる。

**１年生のマナー講座の写真**

**「総合的な学習の時間」の『伝承芸能』**

## 成田市立西中学校
（創立　昭和３９年）

生徒数　６２１人
学級数　２２学級

　本校は、白亜の大きな校舎、広い体育館、陸上競技場など恵まれた施設・設備のもと『文武両道　熱き西中魂』『一生懸命がかっこいい』をスローガンに掲げ、明るく元気に前向きに活動に励んでいます。学習面では「学力の向上」を目標に、国語、数学、英語を中心に、１０分間のドリルタイムを毎日位置付けています。また、１年の英語科で少人数学習、全学年の数学でＴＴ（ティーム・ティーチング）での授業を行っています。部活動については積極的に取り組む生徒が多いため、教育課程を工夫し、年間を通して活動の時間に配慮しています。学校と家庭との連携については、４月に教育課程説明会を開催して学校経営方針の理解に努め、また８月には、ＰＴＡ主催で教師と保護者の語らいの場「西中の夕べ」を行ったりしています。本年度も本校の教育目標である「たくましく生きる､心豊かな生徒の育成」の具現化に向け、地域・家庭・学校が一体となった教育活動をさらに推進しています。

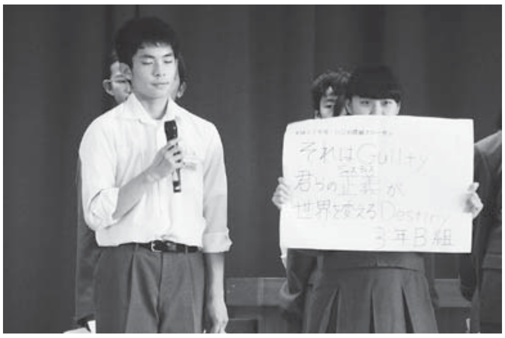
**「命の授業」として成田赤十字病院新生児科の先生からお話をいただきました。**

**福祉体験学習では、社会福祉協議会の方に講師になっていただき車いす体験などを行いました。**

## 成田市立中台中学校
（創立　昭和４８年）

生徒数　２６５人
学級数　１１学級

　本校の生徒は、成田ニュータウンの４つの小学校区（向台・加良部・新山・中台小学校）から通学しています。自ら学び、自ら鍛え、共に生きる生徒の育成を目指し日々教育活動に取り組んでいます。
　本年度は７８名の新入生を迎え、全校生徒２６５名が自主的に取り組むことを目標に、学習に部活動に毎日頑張っています。学習の面では、英語検定や漢字検定等の受検者も多く合格率も向上しています。体育祭、けやき祭等の学校行事への取組や、地域のボランティア活動への参加にも積極的で、地域で行われるクリーン作戦には毎年数多くの生徒が参加しています。平成２５年度からの福祉教育の指定を機会に地域との密着力を次第に強くしています。明るく活動的な本校の生徒たちは、志を高くもち目標に向かって毎日努力をし心身共に鍛えています。



**人権教育にも積極的に取り組み、クラスでいじめ撲滅スローガンを策定**

**プロの演奏家を招いた邦楽体験教室**

## 成田市立吾妻中学校
（創立　昭和５３年）

生徒数　２９０人
学級数　１２学級

　本校は、成田ニュータウンの西に位置し、学区は橋賀台地区、吾妻地区、はなのき台地区及び隣接する船形地区の一部からなります。空港関連業種を中心に全国からの転入者が多い地区であり、近年、学区の小学校を含め、児童生徒数が増加傾向にあります。開校から３９年を迎え、春には校地を取り囲む百本をこえる八重桜が美しい花を咲かせる素晴らしい環境の学校です。
　学校教育目標は「次代をひらき､心豊かにたくましく､生きる力を身に付けた生徒の育成」であり､知･徳･体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指し、職員一同、全力で取り組んでいます。中でも、国際性や実践的なコミュニケーション能力の基礎を身に付けた生徒を育成するために、独自の教育課程を編成し、英語授業の充実を図っています。また、思いやり行動のできる生徒の育成を目指し、生徒会が中心となり、学区の地域の方々とふれあいないながらリサイクル活動を実施しています。

**ＡＬＴが加わった英語授業**
**英語教育強化地域拠点事業に係る研修協力校**

**生徒会が主催するリサイクル活動**
**（毎年、5月に全校生徒が地域に出向きます）**

## 成田市立玉造中学校
（創立　昭和６０年）

生徒数　２７５人
学級数　１１学級

　本校の学区は、八生地区の上福田・大竹・松崎及び公津地区の八代と、成田ニュータウン北部に位置する玉造地区（１丁目～７丁目）から成り立っています。入学してくる生徒は、玉造小、神宮寺小、八生小の３校で９割を占め、本年３２回目の入学生を迎えました。３校とも小規模校となっていますが、入学後はすぐに打ち解けよく交流しあっています。
　本校では伝統である「当たり前のことが当たり前にできる」をスローガンに、学校・家庭・地域が一体となった学校づくりを目指し、主に次のことに取り組んでいます。
・基礎・基本の学習内容の定着を図り、ボーナス・スタディ・タイム（ドリル学習）を展開しています。
・本に親しみ、視野を広げ、学習意欲を高めるために朝の読書に取り組んでいます。
・ボランティア活動など、地域の活動に積極的に参加しています。

**先輩による新入生歓迎会**
**（歓迎の合唱です）**

**職場体験学習**
**（２年生の２学期に行います）**

## 成田市立大栄中学校
（創立　昭和５８年）

生徒数　２５９人
学級数　１１学級

　本校は、成田市の東部に位置しており、学区の中央に大須賀川が流れ、畑作地帯が水田を取り巻くような自然豊かな環境にあります。学区は大須賀・桜田・前林・津富浦・川上の５つからなっており、通学範囲が広範囲なため、多くの生徒が自転車通学をしています。学校経営理念を「人としての生き方を大切にする教育」と定め、学校教育目標を「確かな学力　豊かな感性　強い体をもち、２１世紀をたくましく生きる生徒の育成」として、教育活動を展開しています。重点目標として「確かな学力の向上」「豊かな感性を育む教育の充実」「体力向上・健康安全教育の充実」を図ると共に、「小学校との連携を図り、学校・家庭・地域が一体となった教育の充実」を目指しています。本年も「一生懸命　日本一」をスローガンとして、生徒一人ひとりが、何事にも一生懸命に取り組むことのできる学校づくりを推進し、学校と保護者が共に子供を育てていく「共育」によって、さらに教育効果を高め、教育目標の達成を目指しています。

**体育祭**

**合唱コンクール（白亜祭）**

## 成田市立公津の杜中学校
（創立　平成２５年）

生徒数　５４６人
学級数　１９学級

本校は、本年度開校４年目を迎えます。生徒は、平成小学校、公津の杜小学校の２校から入学し、開校当初からの学校教育目標である「未来を拓く心豊かでたくましい生徒の育成」に、本年度は「自立と共生を目指せる生徒の育成」という副題を加え、「目指す生徒像」も一新し、学校教育目標の実現に向け努力をしています。

生徒会による挨拶運動、「アクティブラーニング」の導入に代表される、小集団による話合い活動の充実や日々の授業改善、各自が時間を意識して生活するためのノーチャイムの実施等、様々な新たな取組にチャレンジしながら、我が校の「伝統」を創り上げていこうとする意欲が校内に満ちています。また、ＰＴＡをはじめとする地域の皆様も、中学校に愛着を持ち、積極的に支援してくださっています。

校内外からの「熱い思い」をエネルギーとして、４年目の公津の杜中は、大きく飛躍します。

**毎朝、生徒会（生活委員会）による挨拶運動を行っています。**

**今年度、1、2学年の校外学習では飯盒炊飯を行います。校内でも事前に炊飯訓練を実施しました。**

## 小中一貫教育校　下総みどり学園
**【成田市立下総小学校、成田市立下総中学校】**
（創立　平成２６年）

児童生徒数　４００人
学級数　　　２３学級

本校は、成田市で最初の施設一体型の小中一貫教育校として平成２６年に誕生しました。義務教育９年間を見通し、途切れることのない一貫した指導方針のもと、一人一人の子どもが着実に学力を身に付け、心身ともに健全で、豊かな人間性と社会性を発揮できる人間として成長していけるよう連続した学びを実践しています。そのために、９年間を、前期（１～４学年）、中期（５～７学年）、後期（８・９学年）の３つのブロックに分け、それぞれの発達段階に応じた学習面・生活面の目標を設定して教育活動を行っています。毎日の清掃活動をはじめ、多くの教育活動の中で異学年交流を図り、上級生は自己有用感を養い、下級生は高い目標をもって生活する様子が見られます。本年度は、全学年･全教科に協同学習を取り入れ、互いに認め、高め合える児童生徒の育成を目指しています。

**４、８年生合同国語授業（ブックトーク）**

**小中学生が協力して縦割り清掃**

**成田市立大栄幼稚園**
（創立　平成８年）

園児数　１６４人
学級数　　６学級

　本園は、成田市の東部に位置し、大須賀川沿いの水田地帯を望む高台にあり、自然豊かな環境に恵まれ、大栄保育園、大栄Ｂ＆Ｇ海洋センター、ナスパ・スタジアム等の公共施設も隣接しています。園児は、大栄地区のみならず市内の他の地域からも通園しており、広々とした園庭で、日々元気いっぱいに活動しています。また、園周辺の地域を利用したり、緑豊かな自然との触れ合いを大切にした保育を実施しています。「たくましく心豊かに生きる子どもの育成」を教育目標に、「明るく元気な子ども・自分のことは自分でする子ども・友だちとなかよく遊ぶ子ども・意欲がありねばり強い子ども」の育成に努めています。本年度は、３歳児２クラス４９名、４歳児２クラス１４名、５歳児２クラス３名、合計６６名の新入園児を迎えました。保護者と連携を取りながら、園児が健やかに明るく元気に過ごせるように職員一同、より良い幼児教育に日々努めています。

**「園外保育」年長組は毎年５月に成田ゆめ牧場に園外保育に行っています。**

**「砂遊び」園児同士協力しての水・泥遊びです。汚れることも気にせず、集中して活動しています。**

## 5　学校給食センター

学校給食は、教育活動の一環として定着し、児童生徒の心身の健全な発達に資しています。

現在は本所、玉造分所、下総分所、大栄分所、公津の杜中学校学校給食共同調理場、本城小学校学校給食共同調理場、公津の杜小学校学校給食共同調理場で給食を調理しています。

### （1）食に関する指導の充実

成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のために、バランスのとれた栄養豊かな学校給食を提供し、健康の増進、体位の向上を図ることはもちろんのこと、正しい食事の在り方や、望ましい食習慣が身に付くよう食に関する指導を充実します。

また、子どもを生活習慣病から守るため、家庭に対して、毎朝きちんと朝食をとり、脂肪や塩分をおさえた食事をし、野菜などで食物繊維をしっかりとることなどの指導にも努めます。

**栄養教諭による食の指導**

### （2）献立の充実

ア　学校給食の食事内容が、衛生的かつ安全であることはもとより、栄養バランスのとれた魅力あるものとなるよう改善に努めています。

　また、食事は調理後できるだけ短時間に適温で供食できるよう、十分な配慮を行います。

イ　献立作成及び調理にあたっては、児童生徒のし好の偏りをなくし、多様な食事内容に親しむことができるよう食品の組み合わせや調理方法に努めます。

ウ　学校給食の献立作成にあたっては、食材の種類を幅広く求め、また、成田産の食材を取り入れた食事内容の充実及び摂取栄養量の確保に努めます。

エ　成田産食材の使用として、主食となる米飯はすべて成田産コシヒカリを使用し、野菜についてもできるだけ成田産を使用するよう努めています。

### （3）衛生管理の推進

児童生徒を対象としている学校給食は、特に衛生管理（食中毒等の事故防止）に万全を期さなければなりません。そのため、学校給食センターでは、栄養管理、衛生管理及び指導面の充実に努めています。

また、保健所の指導協力のもとに職員の健康診断等を行うとともに、施設設備の点検、整理、整頓に努めています。

**児童又は生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準（文部科学省）**

| 区　　　分 | 基　　準　　値 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 児童（6歳～7歳）の場合 | 児童（8歳～9歳）の場合 | 児童（10歳～11歳）の場合 | 生徒（12歳～14歳）の場合 |
| エネルギー　(kcal) | 530 | 640 | 750 | 820 |
| たんぱく質　（g）<br>範　囲　※1 | 20<br>16～26 | 24<br>18～32 | 28<br>22～38 | 30<br>25～40 |
| 脂　質　（%） | 学校給食による摂取エネルギー全体の25%から30% | | | |
| ナトリウム<br>(食塩相当量)　（g） | 2未満 | 2.5未満 | 2.5未満 | 3未満 |
| カルシウム　(mg) | 300 | 350 | 400 | 450 |
| 鉄　(mg) | 2 | 3 | 4 | 4 |
| ビタミンA　(μg RE) | 150 | 170 | 200 | 300 |
| ビタミンＢ１　(mg) | 0.3 | 0.4 | 0.5 | 0.5 |
| ビタミンＢ２　(mg) | 0.4 | 0.4 | 0.5 | 0.6 |
| ビタミンC　(mg) | 20 | 20 | 25 | 35 |
| 食物繊維　（g） | 4 | 5 | 6 | 6.5 |

１．表に掲げるもののほか､次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取について配慮すること。
　マグネシウム……児童（６歳～７歳）70mg、児童（８歳～９歳）80mg、
　　　　　　　　　児童（10歳～11歳）110mg、生徒（12歳～14歳）140mg
　亜　　　鉛……児童（６歳～７歳）2mg、児童（８歳～９歳）2mg、
　　　　　　　　　児童（10歳～11歳）3mg、生徒（12歳～14歳）3mg

２．この摂取基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。

※１　範　囲　　示した値の内に収めることが望ましい範囲

## （４）食材の放射能対策

食材の放射能対策については、今後も生鮮食材を中心とする調理前の食材のサンプリング検査を実施してまいります。なお、測定結果については、毎月配布する献立表の裏面に掲載するとともに、ホームページで随時公表していきます。

食品放射能測定器（玉造分所）

| 食品衛生法に基づく放射性セシウムの規制値（Cs-134とCs-137の合計値） | |
|---|---|
| 飲　料　水 | 10 |
| 牛　　乳 | 50 |
| 一　般　食　品 | 100 |
| 乳　児　用　食　品 | 50 |

（単位：ベクレル/Kg）

### （5）給食施設の整備

学校給食センター本所、玉造分所の老朽化に伴う施設の再整備にあたり、児童生徒にとってよりよい給食環境の構築を図るため、平成２１年度に施設整備基本計画を、平成２２年度に施設整備実施計画を策定しました。その後、平成２６年度に実施計画を見直しました。この実施計画に基づいてアレルギー対応食の提供、温かい給食の提供及び食育の推進が可能となる親子方式（※２）により施設の整備を進めていきます。

平成２８年４月には、親子方式による３番目の施設となる公津の杜小学校学校給食共同調理場の運用を開始しました。

※２　敷地に余裕のある学校に給食施設を設置し、近隣のいくつかの学校に配食する方式

**公津の杜小学校学校給食共同調理場**

# 生涯学習

## 1　施策の概要

市民が生涯の各期において自己啓発を続け、主体的にかつ豊かに生き、お互いの連帯感を高めていく地域社会づくりを目指し、各種教育機関・組織・団体との幅広い連携のもとに、市民の生涯に渡る自主的な学習活動を支援します。

### （1）生涯学習の推進

①　国際市民フェスティバル

国際市民フェスティバルは、国際空港都市としての成田市の特徴を生かして、行政と市民団体等とが連携を図りながら、市民と外国人との様々な文化交流を促進するため開催します。

期日：１０月２日（日）

場所：成田国際文化会館

ワールドコスチュームフェア

ＡＬＴと遊ぼう

②　生涯学習推進協議会

生涯学習推進協議会は、平成２３年度にスタートした第２次成田市生涯学習推進計画及び成田市生涯スポーツマスタープランに基づいた諸施策について､広く市民の意見及び要望を取り入れ、効果的な施策の展開を図るため設置しています。

③　社会教育委員会議

社会教育委員の職務には、青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（社会教育）に関する計画の立案、教育委員会の諮問に対する意見陳述、その他の調査研究などがあります。

④　成田市まなび＆ボランティアサイト　（http://www.genki365.com/narita/）

インターネット上で市民の様々な活動･活動運営を支援するシステムです。コミュニティ活動、

地域活動、福祉、子育て、学習、講座など、市内で行われる活動に関して、イベントや学ぶ機会、ボランティア募集、各種団体、各種人材など、様々な情報を行政から提供するばかりでなく、参加団体等からも情報が発信できるなど、交流窓口にもなるサイトです。

○このサイトでできること

〔何かの活動に参加したい市民は〕

・イベント、ボランティア募集、各種団体の活動等の情報検索、閲覧

〔既に何らかの活動をしている市民は〕

・イベント等の指導者や講師の検索、閲覧

・団体の基本情報として活動内容、活動日、会員募集、連絡先等を掲載

・団体で開催するイベント等のボランティア等の支援者募集や参加者の募集を掲載

**まなび＆ボランティアサイトトップページ**

・団体の活動の状況を広く知ってもらうため活動報告や活動写真等を掲載

・人材情報として自分が活動できる特技（指導内容・ボランティア内容、活動可能日、連絡先など）の掲載

○登録されている情報について

・個人情報保護の観点から、個人情報に関する部分については特に本人の同意をいただき公開します。

・掲載されている各種情報は、希望する人材や団体からの申し込みにより登録されており、指導能力、ボランティア能力、公共性、公益性、情報の正しさ等を公的に保証するものではありません。

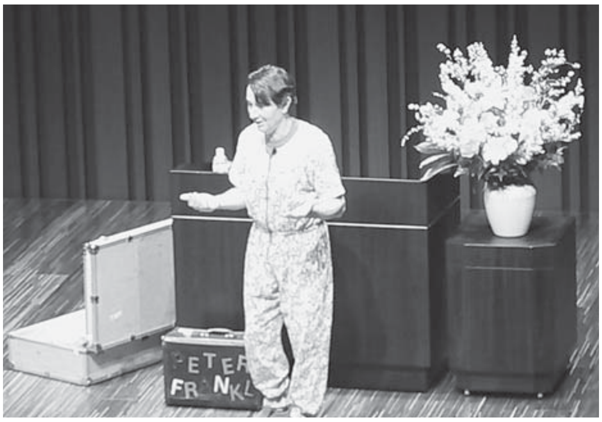
## （２）家庭教育の充実

○子育て学習講座・思春期子育て講座

各小学校で行う就学時健康診断や入学説明会等の機会に、「子育て学習講座」を開設します。子どもの発達段階に合わせ、家庭教育に対する関心を高めたり、親同士の親睦を深めたりしながら家庭教育の充実を目指します。また各中学校では「思春期子育て講座」を開設し、多感な時期の子どもたちへの支援の方法を学びます。

**子育て学習講座**

### （3）成人教育の充実



生涯学習講演会

①　生涯学習講演会

市民が誰でも参加できる学習機会として、生涯学習講演会を開催します。

②　高等学校等開放講座

学校が持つ優れた人材と施設・設備を地域に開放し、市民に対し生活上、職業上必要な知識と技術及び一般教養に関する学習機会を提供することを目的に開催しており、多様化・専門化する市民の学習ニーズに応えています。

平成２８年度も、学校の特徴を生かした講座を開設します。

○成田西陵高等学校　　　:「生活に潤いと新しい発見をＡ」、「生活に潤いと新しい発見をＢ」
○成田北高等学校　　　　:「一から作る金属根付け」
○成田国際高等学校　　　:「初級英語講座」、「中級英語講座」
○成田高等学校　　　　　:「漢詩鑑賞と思想研究」
　　　　　　　　　　　　　「歴史にみる成田の魅力再発見」
○成田国際福祉専門学校：「家庭でできる介護と高齢者の食事の作り方」、「初級簿記」

### （4）青少年教育の充実

①　青少年問題協議会

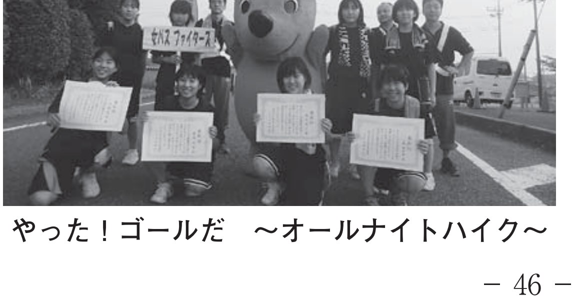
青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する施策の適切な実施を図るため、関係行政機関と連絡調整を行うとともに、目的達成に必要な事項を調査審議しています。

②　青少年健全育成事業

ア、青少年相談員連絡協議会

青少年活動の促進を図るとともに、社会環境の浄化、青少年の体位体力の向上と健全な家庭づくりを推進し、青少年の非行防止のために率先してボランティア活動を行うことを目的に各種事業を推進しています。

○第２６回オールナイトハイク　　　７月２９日（金）～３０日（土）
○第２９回青少年交流綱引き大会　　２月１２日（日）



やった！ゴールだ　～オールナイトハイク～

ファイト！　～青少年交流綱引き大会～

イ、青少年育成市民会議

市内１５地区の青少年健全育成協議会を統括して、青少年問題に関する共通理解を深め、地域における関係機関・団体が連絡協調を図りながら、効果的な青少年の健全育成を推進するための事業を開催するとともに、市内関係団体への支援を行っています。

○青少年音楽祭　　１０月１９日（水）

③　青少年感動芸術劇場

青少年の情操教育の一環として、良質な芸術文化鑑賞の機会を提供し、青少年の資質の向上を図ることを目的に開催しています。

○「坂田おさむ＆坂田めぐみ
　クリスマスファミリーコンサート」
　期日：１２月１１日（日）
　対象：小学生
　会場：成田国際文化会館大ホール

○劇団め組　演劇「走れメロス」
　期間:１１月１０日（木）～１８日（金）
　対象：中学生
　会場：市内各中学校（体育館）

**井上あずみさん・ゆーゆさんと**
**市内小学校合唱部のジョイント**

④　成人式

新成人の門出を祝う行事を開催します。

　期日：１月８日（日）
　会場：成田国際空港第２旅客ターミナルビル前中央広場

**成人式実行委員会風景**

**なつかしい友と　～成人式のひとコマ～**

⑤　国際こども絵画交流展２０１６

広く世界各地の“こどもたち”と、成田市内の“こどもたち”の絵画作品を紹介することによ

り、２１世紀を担うこどもたちの夢と創造力を育み、絵画を通じてお互いの生活や文化について、理解を深め合うことを目的に開催します。

期間：１１月１９日（土）～１１月３０日（水）

会場：成田市文化芸術センター　スカイタウンギャラリー

⑥　成田わくわくひろば

（子どもの居場所づくり推進事業）

体験活動や異年齢交流活動等を通じて、子どもたちの生きる力や豊かな心を育むことを目的に、地域の青少年健全育成団体、関係者が主体的に企画、実施する事業です。

本年度は１２地区が実施し、地区ごとに地域の実情に応じた多彩な魅力あるプログラムに取り組みます。また、地区の交流を目的に全体事業を実施します。

**わくわく陸上教室 in NARITA**
**「千葉真子先生と走ろう！」**

⑦　ヤングスペースなりた

青少年の放課後・休日における交流体験活動を支援することを目的に、平成１４年２月から成田国際文化会館を拠点として様々な取組を行っています。

休日開催の「チャレンジスペース」は、料理・陶芸・木工作・油絵・水彩画・絵手紙のほか、キャンプ・カヌー体験など豊富なメニューを実施します。

⑧　ジュニアリーダー養成

次代を担う青少年のリーダーをさまざまな「体験」を通して　養成します。

○ジュニアリーダー養成研修会

期日：３月４日（土）

内容：海辺の自然体験、レクリエーション活動など

**沖ノ島無人島探検**

### （５）社会教育関係団体活動の支援

地域社会の活性化と地域の教育力の向上を図るため、市民自身が自主的に学習活動を実践し、その成果を地域に還元していくことは、地域づくりに重要な役割を果たしています。

そこで、社会教育関係団体の育成と充実を図り、市民生活に密着した地域活動の推進に努めています。

（主な支援団体）

○成田市ＰＴＡ連絡協議会　○成田ユネスコ協会　○成田市青少年の輪を育てる会
○成田市子ども会連絡会　○成田市指定無形民俗文化財保存団体連絡会
○成田市文化団体連絡協議会　○成田市文化財保護協会

## （６）文化の振興

① 文化財保護事業

市内に所在する文化財のうち、重要なものを指定文化財（国指定、県指定、市指定）として保護・保存に努めるとともに、無形民俗文化財については、後継者の育成を図るよう管理団体との連携を推進しています。

国指定重要文化財の南羽鳥中岫１遺跡土坑から出土した人頭形土製品・土器などについては、千葉県立房総のむら（風土記の丘資料館）へ寄託し、レプリカを下総歴史民俗資料館で展示を行い、広く文化財の啓発にも努めています。

埋蔵文化財については、収蔵管理の充実を図るほか、土器等の補修・修復を行うとともに、開発行為等に係る保護のための調整に万全を期します。

② 文化財啓発事業

市内及び県内の様々な文化財に関する理解を深めるために、各種事業を実施しています。

○歴史講演会（年２回）
○博物館めぐり（年２回）
○史跡めぐり（年３回）

**歴史講演会**

**博物館めぐり**

また、千葉県、佐倉市、成田市、香取市、銚子市が共同で申請していた「北総四都市江戸紀行～江戸を感じる北総の町並み」が、平成２８年４月に日本遺産に認定されました。

日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化、伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもので、平成２７年度は１８件、平成２８年度は１９件が認定されています。

今後は、情報発信や普及啓発等の事業に努めてまいります。

③　三里塚御料牧場記念館

日本の畜産振興に輝かしい実績を残した旧宮内庁御料牧場の在りし日の姿を再現し、佐倉七牧や牧場の歴史的遺産を継承・啓発するための記念館です。

記念館の管理運営を適切に行うとともに、関係資料の収集保管にも努めています。

④　下総歴史民俗資料館

市内の歴史資料や民俗資料を展示しています。日本で最初に発掘されたナウマンゾウの頭骨化石（レプリカ）をはじめとする様々な歴史資料や農具を中心とした民俗資料など、有史以前から現代に至る北総地区の生活のあゆみがわかる資料館です。

三里塚御料牧場記念館

下総歴史民俗資料館

⑤　市民文化祭

市民が日ごろ実践している芸術文化活動の成果を発表する機会の充実を図るため、誰もが参加できる成田市民文化祭を開催しています。

期間：１０月９日（日）～１１月１３日（日）

⑥　中学生の文化部活動活性化事業

中学生に文化部活動に参加する喜びと芸術文化を体験する機会の充実を図るため、外部指導者を派遣し、実技指導を通じて文化部活動の活性化を推進します。

対象：市内中学校の文化部活動

⑦　ふれあいコンサート

開かれた市役所、親しまれる市役所になることを目的として、平成２３年度から開催しています。毎月１回、市役所１階市民ロビーや議場で開催します。

## （7）平成２８年度　生涯学習課事業計画

| 項目 | | 事業名や実施団体等 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 青少年教育の充実 | 団体活動 | 青少年育成市民会議 | 各地区青少年健全育成協議会の活動 | | | | | | ★10/19　青少年音楽祭 | | | | | |
| | | 青少年相談員連絡協議会 | | | | ★7/29～30　オールナイトハイク（中学生対象） | | | | | | | 2/12　青少年交流綱引き大会（小学生対象）★ | |
| | | 子ども会連絡会 | | | | ★7/23　第1回親子体験事業(地引き網) | ★8/23　第2回親子体験事業(つくばサイエンスツアー) | | ★10/2　子ども会まつり | | | | | 第3回親子体験事業★ |
| | | 青少年の輪を育てる会 | | | | | ★8/21　高校生・勤労青少年バレーボール大会 | | | | | | | |
| | リーダー養成 | ジュニアリーダー養成事業 | | | | | | | | | | | | 3/4　ジュニアリーダー養成研修会★ |
| | 文化芸術活動 | 青少年感動芸術劇場 | | | | | | | | 11/10～18　「走れメロス」（演劇公演）★ | 12/11　「坂田おさむ＆坂田めぐみ クリスマスファミリーコンサート」★ | | | |
| | | 青少年音楽祭 | | | | | | | ★10/19　青少年音楽祭 | | | | | |
| | 社会参加 | ヤングスペース | 陶芸、油絵、水彩画、料理教室等チャレンジスペース | | | | | | | | | | | |
| | | 成田わくわくひろば（子どもの居場所づくり推進事業） | キャンプや異年齢集団の交流など、市内地区運営委員会による子どもの体験学習や居場所づくりの推進 | | | | | | ★10/23　親子わくわくデイキャンプ | | | | | |
| 学習機会の充実 | 家庭教育 | 家庭教育学級開催事業 | ★4/22　運営委員会議 | 各学校・園で家庭教育学級開催 | ★6/18　家庭教育・地域教育力向上講演会 | | | | | | | | | |
| | | 子育て講座<br>思春期子育て講座 | | | | | | | 就学時健康診断や入学説明会時に各小・中学校で開催 | | | | | |
| | 青少年教育 | 放課後子ども教室開催事業 | 豊住小・遠山小・美郷台小・下総みどり学園・八生小・加良部小・中台小で放課後子ども教室開催 | | | | | | | | | | | |
| | 成人教育 | 成田西陵高等学校開放講座 | | | | | | ★生活に潤いと新しい発見をA（全3回）<br>★生活に潤いと新しい発見をB（全3回） | | | | | | |
| | | 成田北高等学校開放講座 | | | | | | ★一から作る金属根付け（全8回） | | | | | | |
| | | 成田国際高等学校開放講座 | | | | | | ★初級英語講座（全5回）<br>★中級英語講座（全5回） | | | | | | |

| 項目 | | 事業名や実施団体等 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習機会の充実 | 成人教育 | 成田高等学校開放講座 | | | | | | ★漢詩鑑賞と思想研究（全5回）<br>★歴史にみる成田の魅力再発見（全5回） | | | | | | |
| | | 成田国際福祉専門学校開放講座 | | | | | ★家庭でできる介護と高齢者の食事の作り方（全5回） | | | | | 初級簿記（全6回）★ | | |
| | | 明治大学・成田社会人大学 | | ★5/14～12/10　各課程全10回のうち1回ずつ公開講座<br><国際社会課程>グローバル化と格差，民族対立<br><地域社会課程>近現代作家の古典への眼差し<br><緑地環境課程>農業と食に関わる最近の話題 | | | | | | | | | | |
| | | 生涯学習講演会 | | | | | | | | | | | 2/4　生涯学習講演会★ | |
| | 高齢者教育 | 生涯大学院 | | ★5/9～3/12　3学年制<br>教養講座25回程度<br>専門講座15回（書道・陶芸・園芸・油絵・音楽・体操から選択） | | | | | | | | | | |
| 地域社会教育活動の充実 | | ＰＴＡ連絡協議会 | | ★5/7　定期総会・教育懇談会 | ★6/18　運営研修会　家庭教育・地域教育力向上講演会<br>★6/11　市PTAバレーボール大会 | | | ★9/2　防災危機管理研修会 | | ★視察研修 | ★12/17　教養研修会 | | | |
| | | 成田ユネスコ協会 | 世界寺子屋運動・世界遺産活動（4月～3月）<br>国際交流事業「日本の香りをあなたに」（4月～3月） | | | | ★「成田の地域遺産写真展・ユネスコと日本展」 | | | | | | | |
| 文化振興と文化財保護 | 文化芸術の振興 | 国際市民ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ | | | | | | | ★10/2　国際文化会館 | | | | | |
| | | 市民文化祭 | | | | | | | ★10/9～11/13　市民文化祭 | | | | | |
| | | 国際こども絵画交流展 | | | | | | | | 11/19～11/30　国際こども絵画交流展2016 | | | | |
| | | ふれあいコンサート | ★4/28 | ★5/19 | ★6/30 | ★7/28 | ★8/25 | ★9/30 | ★10/27 | ★11/24 | ★12/22 | ★1/26 | ★2/23 | ★3/23 |
| | 文化財周知啓発 | 史跡めぐり 博物館めぐり | | ★5/21　史跡めぐり | ★6/4　史跡めぐり<br>★6/18　史跡めぐり | | | | | ★11/26　秋の博物館めぐり | | | | 3/25　春の博物館めぐり★ |
| | | 歴史講演会 | | ★5/15　春の歴史講演会 | | | | | | | ★12/3　秋の歴史講演会 | | | |
| | 三里塚御料牧場記念館 下総歴史民俗資料館 | | 午前9時～午後4時30分（月曜・年末年始休館）入場無料（4月～3月） | | | | | | | | | | | |

### （8）生涯スポーツの振興

スポーツを楽しむ、健康や体力づくりを行う、スポーツを通じて交流を進める、自己実現を図るなどスポーツを行う目的はさまざまです。

市民一人一人が自らの価値観に基づいて、主体的にスポーツを行い、スポーツを通じて健康づくりやコミュニティの育成を図り、住民相互の連帯感を高めることのできる、「まち」を目指します。

スポーツ施設や情報提供の充実、指導者の養成のほか、市民がスポーツに親しみやすい環境づくりを推進していくとともに、各地区や団体、学校などを中心に、市民一人一人が、「する」「みる」「ささえる」のどの立場においても自主的に参加できるよう努めます。

① スポーツ・レクリエーション指導者の充実

スポーツ・レクリエーションに対する市民の多様なニーズに対応できるよう、指導者の育成及びその資質向上に努め、積極的な活用を推進します。

講習会、研修会への派遣を推奨し、指導者の育成及び資質の向上に努めます。

市民のスポーツ・レクリエーション活動の振興を図るため、指導者の登録・紹介等を行う成田市スポーツリーダーバンクの指導者登録に努めます。

② 各種スポーツ大会・教室の開催

市民の健康・体力づくりや、スポーツを通じて交流を深めるため、各種スポーツ大会・教室を開催します。

特に子どもや高齢者・障がい者でも取り組みやすく、気軽に楽しむことができるスポーツ・レクリエーション種目の普及・啓発活動を促進します。

○成田市近隣中学校野球大会
○成田市成人高齢者体力・運動能力調査
○成田市小学生相撲大会
○成田スポーツフェスティバル
○成田ＰＯＰラン大会
○成田市スポーツ教室

**第４回成田スポーツフェスティバル**

**２０１５成田ＰＯＰラン大会**

③ スポーツ団体の充実

いつでも、どこでも、気軽にできるスポーツの日常化を推進するため、スポーツや健康づくりに関わる団体の育成・支援に努めます。

○一般社団法人成田市体育協会
○成田市スポーツ少年団
○成田市スポーツ推進委員連絡協議会
○成田市レクリエーション協会

④　各種スポーツ大会の誘致

スポーツへの関心や興味を深めるため、トップレベルのスポーツを身近な場所で観戦できるよう、各種スポーツ大会を誘致します。また、昨年実施した世界少年野球大会千葉大会のフォローアップ事業を開催します。

○成田ラグビーフェスティバル
○プロ野球イースタン・リーグ公式戦
○世界少年野球大会千葉大会フォローアップ事業
○千葉県小学生相撲選手権大会
○バスケットボール日本リーグ公式戦

⑤　スポーツ施設の充実

市民のスポーツ活動を推進するため、スポーツ振興の拠点となるスポーツ施設の整備充実を図ります。

また、市民の健康増進及び身近な場所でスポーツ活動の促進を図るため、スポーツ施設の管理運営を行います。

○スポーツ広場等の整備充実
○運動公園等（中台運動公園）の整備充実
○旧豊住中学校の跡地整備
○運動公園等管理事業
（中台運動公園、大谷津運動公園、下総運動公園、久住体育館、久住テニスコート）
○大栄野球場等管理事業（ナスパ・スタジアム、大栄Ｂ＆Ｇ海洋センター外３施設）
○印東体育館管理運営事業
○パークゴルフ場管理運営事業（十余三パークゴルフ場、久住パークゴルフ場）
○スポーツ広場等管理事業（北羽鳥多目的広場、豊住第１スポーツ広場外１２施設）
○地区運動施設管理事業（豊住、中郷、十余三、滑河、高岡運動施設）
※豊住運動施設は６月で閉鎖

⑥　小・中学校の運動部活動の充実

児童生徒のスポーツ分野における将来性豊かな才能を伸ばす環境を整えるため、専門的な

指導力を備えた指導者を必要とする市内公立小・中学校に対して、一般社団法人成田市体育協会より指導者を派遣し、運動部活動の活性化を図ります。

⑦　学校体育施設の開放

身近なスポーツ・レクリエーション活動の場である公立小中学校の体育施設（体育館・校庭等）を開放します。また、夏季休業中の学校プールの開放を行います。

⑧　総合型地域スポーツクラブの育成支援

子どもからお年寄りまで、技術や体力レベルに応じていろいろなスポーツ種目に参加できる、地域に密着したスポーツクラブの設立・育成を支援します。

## （９）平成２８年度　生涯スポーツ課事業計画

| 月 | 日 | 内　　容 |
|---|---|---|
| 4 | 2 | 成田市スポーツ少年団委員総会 |
| | 9 | 成田市レクリエーション協会総会 |
| | 16 | 成田市スポーツ推進委員連絡協議会総会 |
| | 16.17.23 | 第37回成田市近隣中学校野球大会 |
| | 23 | 一般社団法人成田市体育協会定時社員総会・表彰式 |
| 5 | 8 | 東印旛地区スポーツ推進委員連合会理事会・総会 |
| | 15 | 第23回成田市近隣スポーツ少年団サッカー交流大会 |
| | 15 | 東部五市体育大会（開催地：銚子市） |
| | 21.22 | 第5回成田エアポートツーデーマーチ |
| | 29 | 成田ラグビーフェスティバル |
| 6 | 12 | 第13回成田市近隣スポーツ少年団ラグビー交流大会 |
| | 11 | 第14回成田ウォークラリー大会 |
| | 25 | 成田市成人高齢者体力・運動能力調査 |
| 7 | 2 | 第22回千葉県スポーツ少年団成田市卓球交流大会 |
| | 9 | ニュースポーツフェスタ in 成田 |
| | 21～27 | 学校プール開放（豊住小学校） |
| | 28～31 | 学校プール開放（本城小学校） |
| 8 | 1～3 | 学校プール開放（本城小学校） |
| | 4～10 | 学校プール開放（下総みどり学園） |
| | 7 | プロ野球イースタン・リーグ公式戦 |
| 9 | 10.11 | 第22回成田市近隣スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会 |
| | 11 | 第24回成田市小学生相撲大会 |
| 10 | 8 | 第5回成田スポーツフェスティバル |
| | 16 | 第12回成田健康ウォーキング大会 |
| | 22 | 第21回成田市フォークダンス祭 |
| 11 | 5 | 第13回市民ペタンク大会 |
| | 12 | バウンドテニスフェスタ2016 |
| | 12 | 第20回成田市スポーツ少年団軟式野球新人戦 |
| | 13 | 2016成田ＰＯＰラン大会 |
| | 19 | 千葉県小学生相撲選手権大会 |
| | 19.20 | バスケットボール日本リーグ公式戦 |
| | 20 | 関東デイウォーキング |
| | 26.27 | 世界少年野球大会千葉大会フォローアップ事業 |
| 12 | 4 | 第33回千葉県スポーツ推進委員研究大会 |
| 1 | 14 | 第23回成田市スポーツ少年団駅伝交流大会 |
| 2 | 25 | 第12回市民ユニカール大会 |
| | 未定 | 第22回成田市スポーツ教室 |
| 3 | 13 | 第13回市民パークゴルフ大会 |

## ２ 公 民 館

### （１）魅力ある公民館活動の推進

公民館は、日常生活に最も身近な生涯学習の拠点として、市民がグループで行う自主的活動を尊重し、学習や文化活動の支援をしています。

また、市民の多様化する学習課題に適切に応えるため、子どもから高齢者までを対象とした主催事業を各種実施しています。併せて、学校と地域社会の結びつきを深めるため、子どもたちの体験活動を支援する事業を実施することに努めます。

今後も新規利用者の拡大を図り、市民から求められる魅力ある講座を開催するように努めるとともに、市民に気持ちよく施設を利用していただくため、適切な管理を行います。

### （２）サークルの育成・活用の推進

公民館を学習の場として多くのサークルが継続的に利用しています。従来のサークルは、公民館主催の教室から生まれたものが多かったのですが、最近では、共通の興味・関心や課題意識を持った人々が集まって組織する自主的な学習サークルを結成し、活動するものが多くなっています。こうしたサークルの学習活動を推進するとともに、サークル間の連携・交流を支援します。（平成２８年４月現在で６３０サークル）

### （３）公民館ボランティア推進事業

公民館サークル等がその活動で培ったノウハウの地域還元を目指し、ボランティア活動などの機会を提供します。ボランティア活動は地域住民に学習の場を提供するだけでなく、学んだことを人に教えることが刺激となり、より良いサークル活動へ繋がることから今後も取り組んでいきます。

### （４）こども体験学習セミナー

子どもたちの生活体験や自然体験など様々な体験活動や仲間づくりを支援するため「こども体験学習セミナー事業」を実施します。高学年の部では、「なりた冒険塾」と題し、子どもたちが目標に向かって自分達で企画実施する要素を盛り込んだ体験活動を含め、１０回の開催を予定しています。

また、低学年の部では保護者も参加し、安全教室、施設見学など親子で様々なことを体験する「親子体験学習セミナー」を６回開催し、親子のふれあいを深める機会の充実に努めます。

安全教室（車の死角を体験）

### （５）広報活動の充実

公民館活動を活発にするため、広報活動の充実を図ります。まなび＆ボランティアサイトや“公民館だより”、“広報なりた”を活用することはもとより、ホームページの作成、チラシの配布、ポスターの掲示など、あらゆる機会を通じて広報活動を行います。

（6）平成２８年度の教室・講座計画

| No. | 教室・講座名 | 会場 | 開催時期 | 回数 | 定員 | 対　　象 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 親子たけのこ掘りと竹細工教室 | 八生 | 4月 | 1 | 16組 | 小学生親子 |
| 2 | 外国人のための日本語教室（４クラス） | 中央 | 4月～3月 | 134 | - | 外国人 |
| 3 | 日本語ボランティア養成講座 | 中央 | 4月～7月 | 6 | - | 日本語教室ボランティア |
| 4 | 親子えびがに釣り教室 | 公津 | 6月 | 1 | 20組 | 小学生親子 |
| 5 | 植木剪定教室 | 遠山 | 6月 | 2 | 20 | 成人 |
| 6 | なりた冒険塾 | 中央 | 6月～12月 | 10 | 25 | 小学校高学年 |
| 7 | 親子体験学習セミナー | 中央 | 6月～12月 | 6 | 15組 | 小学生低学年親子 |
| 8 | やまもも親子広場 | 豊住 | 6月～7月 | 6 | 15組 | 1～4歳児親子 |
| 9 | ベビー・ヨーガ教室 | 遠山 | 7月～8月 | 3 | 15組 | 6ヶ月児親子 |
| 10 | 大正琴教室 | 中央 | 7月～8月 | 4 | 20 | 成人 |
| 11 | 夏休みこども絵画教室 | 公津 | 7月～8月 | 3 | 15 | 小学生 |
| 12 | 夏休み親子科学実験教室 | 中央 | 8月 | 1 | 30組 | 小学生親子 |
| 13 | 空港わくわく探検隊 | 中央 | 8月 | 1 | 20組 | 小学生親子 |
| 14 | 夏休み親子工作教室 | 久住 | 8月 | 1 | 20組 | 小学生親子 |
| 15 | 夏休み子どもトールペインティング教室 | 豊住 | 8月 | 1 | 20 | 小学生 |
| 16 | 夏休み親子蕎麦打ち教室 | 成田 | 8月 | 1 | 10組 | 小学生親子 |
| 17 | 夏休み親子茶道体験教室 | 遠山 | 8月 | 1 | 15組 | 小学生親子 |
| 18 | マジック教室 | 玉造 | 9月～10月 | 5 | 10 | 小学校高学年以上 |
| 19 | 玉造ファミリーコンサート | 玉造 | 9月 | 1 | - | どなたでも |
| 20 | パン作り教室 | 遠山 | 10月 | 2 | 12 | 成人 |
| 21 | 英語で遊ぼう！（２歳児） | 橋賀台 | 11月 | 4 | 15組 | 2歳児親子 |
| 22 | 陶芸教室 | 中郷 | 9月～10月 | 7 | 20 | 成人 |
| 23 | 日本語ボランティアブラッシュアップ研修会 | 中央 | 9月～3月 | 7 | - | 日本語教室ボランティア |
| 24 | なりた郷土史セミナー（歴史ウォーキング兼） | 中央 | 9月～3月 | 8 | 20 | 成人 |
| 25 | 大栄ふるさと文化まつり | 大栄 | 11月 | 1 | - | どなたでも |
| 26 | 伊能歌舞伎鑑賞教室 | 大栄 | 11月 | 1 | 20 | 成人 |
| 27 | クリスマス飾り作り教室 | 成田 | 12月 | 1 | 15 | 成人 |
| 28 | こども生け花体験教室 | 八生 | 12月 | 1 | 20 | 小学生 |
| 29 | 正月用生け花教室 | 大栄 | 12月 | 1 | 20 | 成人 |
| 30 | ハーモニカ教室 | 中央 | 12月 | 3 | 15 | 成人 |
| 31 | セカンドライフ支援セミナー | 中央 | 1月～3月 | 6 | 25 | 55歳以上の成人 |
| 32 | 楽器作り教室 | 玉造 | 2月 | 1 | 10 | 成人 |
| 33 | 下総サークル発表会 | 下総 | 2月 | 1 | - | どなたでも |
| 34 | 第13回公津しだれ桜ふれあいまつり | 公津 | 3月 | 1 | - | どなたでも |
| 35 | 中郷地区生きがいセミナー | 中郷 | 3月 | 1 | 50 | 高齢者 |
| 36 | 大栄地区生きがいセミナー | 大栄 | 3月 | 1 | - | どなたでも |

成田市公民館まつり　10月28日（金）、29日（土）、30日（日）

# ３ 図 書 館

本館を中心に、公津の杜分館と１４か所の公民館図書室等により、市内全域に図書館サービスを提供しています。

## （１）図書館サービスの充実

① 利用者の利便性の向上

図書等の自動貸出機の設置やインターネットコーナーの座席予約管理システムを導入し、利用者の利便性の向上を図るとともに、本館には予約資料の貸出しをよりスムーズに行うための予約受取コーナーを設け、公津の杜分館には自動返却仕分機を設置し、貸出手続きの簡素化や返却後の排架作業の効率化を図っています。更には､資料の予約や､貸出期限の延長をインターネットで申し込むサービスの普及にも努めています。

② 情報提供機能の充実

地域を支える情報拠点として、市民の生活、文化、生涯学習、レクリエーションなど、各分野の課題解決を支援するための情報提供機能の充実を図っていきます。

本館及び公津の杜分館にはインターネットコーナーを設置し、本館の参考資料室では、外部のオンラインデータベースが利用できる環境を整えています。

また、図書館ホームページには、時事問題やその時々のキーワードから、簡単に関連資料が検索できる「クイックサーチ」を取り入れるとともに、様々な調査依頼に対して、的確かつ迅速に処理するために、過去のレファレンス事例のデータベース化にも努めています。

③ 資料の収集・整理

資料の収集・整理・除籍を積極的に行い、魅力ある蔵書構成に努めています。除籍した資料は、本館のリサイクルコーナーやイベント会場などで、利用者等へ無料で配布しています。

④ 各種講座の開催

文学講座、市史講座、及び科学あそび講座を開催し、学習機会を提供します。

## （２）子どもの読書活動の推進

① 図書館でのおはなし会

図書館では、毎週土曜日に幼児から小学生向けにおはなし会を開催しています。絵本の読み聞かせ中心の会のほか、毎月第３土曜日は、おはなし（語り）を中心にしたプログラムで行います。昔話などのおはなし（語り）では、絵本と違い絵のイメージにしばられることなく、耳から聞いたお話の世界を自由に想像し楽しむことができます。

科学あそび講座

語りを聞く経験は、「言葉」による想像力を育み、読書へとつなぐ架け橋の役目も果たしてくれます。

また、乳幼児期から読書に親しむ機会を提供し、読み聞かせなどの子どもへの働きかけの重要性を保護者に理解してもらうために、「えほんとあそぼう－０・１歳のおはなしかい」及び「えほんとあそぼう－２・３歳のおはなしかい」を開催し、絵本の読み聞かせ、わらべうたあそび、絵本の紹介などを行います。

「はるやすみ おはなしかい」・「なつやすみ おはなしかい」は、司書とおはなしボランティアグループの共催で行い、おはなしや絵本だけでなく、小道具を使った楽しいプログラムを取り入れ、たくさんの子どもたちに読書への誘導を図ります。

② 学校訪問おはなし会

多くの子どもたちに直接働きかける取組として、ボランティアの協力で、小学校を訪問して「おはなし会」を行います。おはなしや絵本の読み聞かせ、わらべうたなどの手遊びを通じて豊かな感受性を育みながら読書に対する関心を持たせるよう働きかけます。本の紹介や、市立図書館、学校図書室のＰＲも行い、子どもの読書活動の推進に努めます。

③ ボランティアとの連携・支援

おはなし会等の事業を重点的に行うため、ボランティアと協力して勉強会や講座の開催に努め、研修事業なども行います。また、小学校などで読み聞かせをするボランティアを支援するために、初心者向けの「絵本の読み聞かせ講座」を開催します。

④ 学校図書館との連携

学校図書館司書との合同研修を実施します。また、調べ学習で必要な資料など、学校図書館の蔵書では対応できないものを貸出し、学校図書館の活動を支援します。

### （３）公津の杜分館・公民館図書室等によるサービス

本館を中心に、公津の杜分館、公民館図書室等をサービスポイントとして市内全域にサービス網を構成し、巡回車で資料を配送しています。また、全館をオンラインで結び、迅速なサービスの提供に努めています。

平成２５年に開館した公津の杜分館は、もりんぴあこうづ（公津の杜コミュニティセンター）内にあり、蔵書約１０万冊を備える大型分館です。地域の新しい図書館として、子どもと子育て世代へのサービスに重点を置くとともに、高齢者にも配慮したくつろぎ空間のある閲覧スペースを設け、長時間滞在型の利用にも対応できるようにしています。

### （４）障がい者サービス

身体上の理由で図書館の利用が困難な方々に対し、資料の宅配や録音図書の貸出しを行います。また、大活字本や拡大読書器、音声読書器による読書支援や音訳協力者養成講座を実施しています。

## （5）平成２８年度　図書館事業計画

| 事　業　名 | 開催時期等 | 内　　　　　容 |
|---|---|---|
| 図書館講座 | 7～11月 | 7月に児童講座（科学あそび）、10月に文学講座、及び11月に市史講座を開催予定。市民の文化的教養や子どもの読書意欲を高めるための学習機会を提供します。 |
| 定例おはなし会 | 通　年 | えほんのおはなしかい：4歳～小学生対象<br>おはなしかい：5歳～小学生対象<br>0・1歳のおはなしかい：0・1歳児とその保護者対象<br>2・3歳のおはなしかい：2・3歳児とその保護者対象 |
| 季節のおはなし会 | 各1回 | はるやすみ おはなしかい：3歳～小学生とその保護者対象<br>なつやすみ おはなしかい：3歳～小学生とその保護者対象<br>大人のためのおはなし会：16歳以上対象 |
| 学校訪問おはなし会 | 随　時 | 市内の小学校を職員とボランティアが訪問し、おはなし会を実施。日頃、親しんでいる種類や分野とは違う本にも興味を持たせ、読書の幅を広げるきっかけづくりをサポートします。 |
| 絵本の読み聞かせ講座 | 1　回 | 小学校などで読み聞かせをしている人、今後活動予定の人を対象に、講座を開催します。 |
| 音訳協力者養成講座 | 5　回 | 録音図書の充実や品質向上を目的とし、録音図書製作のための講座を開催します。 |
| 資料展示 | 通　年 | 1階特設展示コーナーと児童展示コーナーでは、2か月ごとに図書館資料の企画展示を行います。2階展示コーナーでも郷土資料などを中心に年2～3回企画展示を行います。 |
| 蔵書点検 | 11月15日～11月18日 | 資料の円滑な活用を図るために、蔵書の一斉点検を行います。 |

# ４　視聴覚サービスセンター

## （1）視聴覚教材・機材の整備充実と効果的な活用

当センターでは、視聴覚教材・機材のニーズを調査し、計画的に整備しています。

市販・寄贈教材だけでなく、各自治体などの団体が製作した教材についても、整備・貸出ができるように努めます。

① 幼児教育・学校教育

ＤＶＤや１６ミリフィルムなどの視聴覚教材を整備し、活用を促進します。また、最新の視聴覚機器を整備し、貸出に対応します。

② 生涯学習

ＤＶＤ教材を中心に整備し活用を促進することにより、広く市民の生涯学習を支援します。

## （2）視聴覚教育研修の充実

視聴覚教育を普及・発展させていく上で、機器の操作方法や教材製作方法等の実技研修は不可欠です。市民の多様なニーズに応えられるよう各種の講習会を開催します。

子ども映写体験教室

## （3）広報活動の充実と利用の促進

映画会については、「広報なりた」に随時掲載するとともに、市の各施設への掲示や区長回覧にて周知を図ります。講習会についても、「広報なりた」に随時掲載します。

## （4）平成２８年度事業計画及び平成２７年度活動状況

① 研修事業

| 研　修　名 | 対　象 | 平成28年度 | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|
| | | 回　数 | 定　員 | |
| １６ミリ映写機操作技術講習会 | 一　般 | 2回 | 1回15人 | 2回32人 |
| ビデオカメラ講習会 | 一　般 | 2回 | 1回10人 | 2回 8人 |
| デジタルカメラ講習会 | 一　般 | 4回 | 1回10人 | 4回40人 |
| 子どもピンホールカメラ作り教室 | 小学生 | 2回 | 1回15人 | 2回26人 |
| 子ども映写体験教室 | 小学生 | 2回 | 1回15人 | 1回12人 |

② 映画上映事業

価値ある映画体験を幅広く市民へ提供するため、主として土・日曜に映画会を開催しています。

| 種別 | 対象 | 平成28年度<br>上映回数 | 平成27年度実績 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 上映回数 | 観客数 |
| 映画会（一般向け） | 一般 | 30回 | 28回 | 2,306人 |
| 映画会（親子向け） | 親子 | 23回 | 24回 | 2,093人 |
| 夏休み親子映画会 | 親子 | 4回 | 4回 | 246人 |
| 下総・大栄親子映画会 | 親子 | 2回 | 2回 | 166人 |
| ママさん映画会<br>（子育て支援課と共催） | 親子 | 1回 | 1回 | 96人 |
| 合計 | | 60回 | 59回 | 4,907人 |

# 資　料　編

## 歴代教育長及び教育委員

平成２８年１０月１日現在

| 氏　名 | 委員在任期間 | 備考（役職） |
|---|---|---|
| 渡邊　由松 | S29. 4.27 〜 S31. 9.30 | 委員長 S29. 4.27 〜 S31. 9.30 |
| 葛生清三郎 | S29. 4.27 〜 S31. 9.30 | |
| 佐瀬三五郎 | S29. 4.27 〜 S31. 9.30 | |
| 神崎　正 | S29. 4.27 〜 S31. 9.30 | |
| 豊田　操 | S29. 5.26 〜 S30. 9.30 | 教育長 S29. 5.26 〜 S30. 9.30 |
| 松岡　明 | S29. 5.20 〜 S30. 3.30 | |
| 行方富太郎 | S31.10. 1 〜 S32. 9.30 | 教育長 S31.10. 1 〜 S32. 9.30 |
| 橘　昌夫 | S31.10. 1 〜 S47. 9.30 | 委員長 S31.10. 1 〜 S47. 9.30 |
| 岩沢　多門 | S31.10. 1 〜 S38. 9.30 | |
| 吉岡栄一郎 | S31.10. 1 〜 S47. 9.30 | |
| 鈴木　勘 | S31.10. 1 〜 S33. 4.17 | |
| 太田　家倚 | S32.10. 1 〜 S44. 9.30 | 教育長 S32.10. 1 〜 S44. 9.30 |
| 野平　吉衛 | S33.10. 1 〜 S37. 9.30 | |
| 竹尾クラ子 | S37.10. 1 〜 S39.10.20 | |
| 檜垣　省吾 | S38.10. 8 〜 S42. 5. 9 | |
| 藤崎　光枝 | S40. 3.24 〜 S44. 9.26 | |
| 檜垣　篤 | S42. 7. 1 〜 H 4.11.30 | 教育長 S58. 4. 1 〜 H 4.11.30 |
| 渋谷　榮一 | S44. 9.27 〜 H 2. 9.30 | 委員長 S47.10. 1 〜 H 2. 9.30 |
| 阿波嵜武夫 | S44.10. 1 〜 S61.10.14 | 教育長 S44.10. 1 〜 S58. 3.31 |
| 山田　喜一 | S47.10. 1 〜 S55. 9.30 | |
| 渡邊　義男 | S47.10. 1 〜 H 8. 9.30 | 委員長 H 2.10. 1 〜 H 8. 9.30 |
| 谷　重吉 | S55.10. 1 〜 H 8. 9.30 | |
| 石原　芳文 | S61.12. 9 〜 H 9. 9.30 | |
| 越川　重 | H 2.10. 1 〜 H10. 9.30 | 委員長 H 8.10. 3 〜 H10. 9.30 |

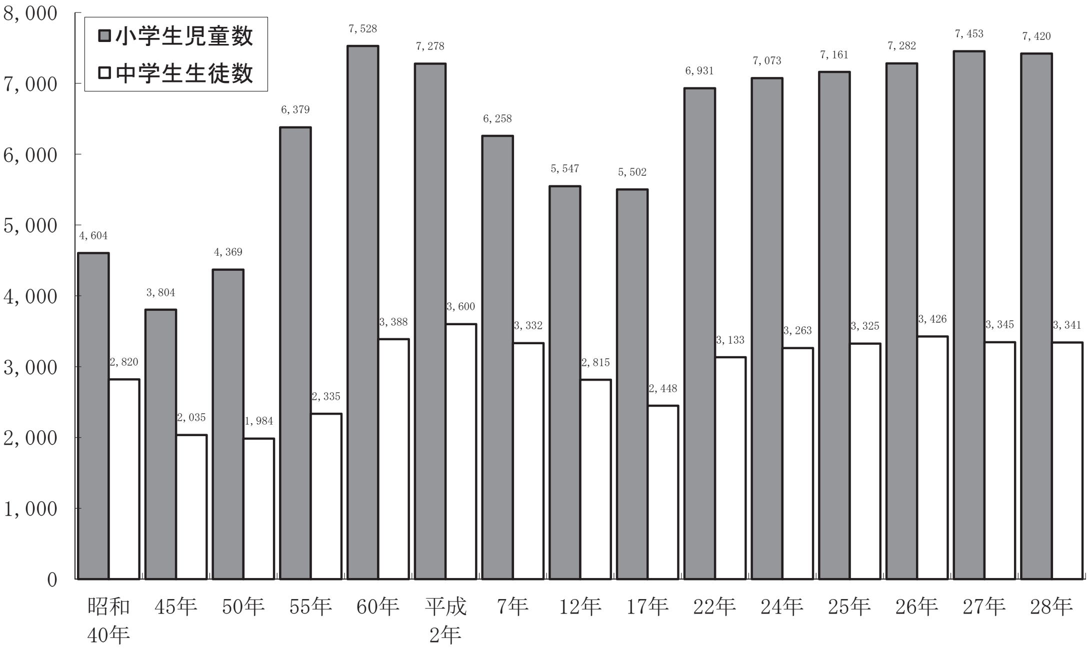
| 氏　名 | 委員在任期間 | 備考（役職） |
|---|---|---|
| 中村　欽哉 | H 4.12.22 〜 H 7. 9.30 | 教育長 H 4.12.25 〜 H 7. 9.30 |
| 三橋　成一 | H 7.10. 1 〜 H 8. 8.20 | 教育長 H 7.10. 1 〜 H 8. 8.20 |
| 太田　家廣 | H 8. 9.12 〜 H10. 5.25 | 教育長 H 8. 9.12 〜 H10. 5.25 |
| 荒井　清 | H 8.10. 1 〜 H23. 3.31 | 委員長 H10.10. 1 〜 H17. 9.30<br>委員長 H18.10. 6 〜 H23. 3.31 |
| 大木　みわ | H 8.10. 1 〜 H16. 9.30 | |
| 塚本　倫正 | H 9.10. 1 〜 H13. 9.30 | |
| 鬼澤　佳弘 | H10. 7. 1 〜 H13. 6.30 | 教育長 H10. 7. 1 〜 H13. 6.30 |
| 伊藤　睦 | H10.10. 1 〜 H18. 9.30 | 委員長 H17.10. 1 〜 H18. 9.30 |
| 藤野　公之 | H13. 7. 1 〜 H16. 6.30 | 教育長 H13. 7. 1 〜 H16. 6.30 |
| 加瀬間俊勝 | H13.10. 1 〜 H15. 1.20 | |
| 山口　恵子 | H15. 2.19 〜 H25. 9.30 | |
| 大須賀久大 | H16. 7. 1 〜 H20. 4.30 | 教育長 H16. 7. 1 〜 H20. 4.30 |
| 小川　信子 | H16.10. 1 〜 H24. 9.30 | 委員長 H23. 4.27 〜 H24. 9.30 |
| 秋山　皓一 | H18.10. 1 〜 H26. 9.30 | 委員長 H24.10. 1 〜 H26. 9.30 |
| 関根　賢次 | H20. 6. 7 〜 H21. 6.30 | 教育長 H20. 6. 7 〜 H21. 6.30 |
| 佐藤　玉江 | H21. 7. 1 〜 H25. 3.31 | 教育長 H21. 7. 1 〜 H25. 3.31 |
| 小川新太郎 | H23. 6.18 〜 現　在 | 委員長 H26.10. 1 〜 H27. 9.30 |
| 髙木久美子 | H24.10. 1 〜 現　在 | |
| 関川　義雄 | H25. 4. 1 〜 H27. 9.30 | 教育長 H25. 4. 1 〜 H27. 9.30 |
| 福田　理絵 | H25.10. 1 〜 現　在 | |
| 佐藤　勲 | H26.10. 1 〜 現　在 | |

制度改正（平成27年4月1日施行）後に選任された教育長

| 氏　名 | 在任期間 | 就任日 |
|---|---|---|
| 関川　義雄 | H27.10. 1 〜 現　在 | H27.10. 1 |

## 市立小・中学校の児童生徒数の推移

平成２８年５月１日現在



# 市立小・中学校・幼稚園一覧

平成２８年５月１日現在

| 学校名 | 所在地 | 電話 | 児童数 | 学級数 | 教職員数 | 校長名 | PTA 会長名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 成田小学校 | 幸町948番地1 | 22-1334 | 725 | 26 | 43 | 清水　登 | 宮﨑　慶治 |
| 遠山小学校 | 小菅1411番地 | 35-0022 | 60 | 7 | 12 | 飯嶋　茂 | 永井　康夫 |
| 三里塚小学校 | 本三里塚153番地1 | 35-0049 | 410 | 15 | 25 | 麻野　英夫 | 中村　修 |
| 久住小学校 | 久住中央3丁目12番地1 | 36-0006 | 340 | 15 | 22 | 依知川典子 | 細川　晃司 |
| 豊住小学校 | 北羽鳥1985番地2 | 37-0004 | 58 | 7 | 13 | 醍醐　貞行 | 佐久間一彦 |
| 八生小学校 | 松崎1468番地 | 26-8038 | 68 | 7 | 15 | 渡邊　秀子 | 濱　春夫 |
| 公津小学校 | 台方851番地 | 26-2467 | 119 | 8 | 14 | 三上　勝 | 飯嶋　聡 |
| 向台小学校 | 中台3丁目6番地 | 26-4812 | 298 | 15 | 21 | 岩崎　京子 | 髙木　昭夫 |
| 加良部小学校 | 加良部6丁目8番地 | 26-3517 | 674 | 23 | 33 | 内田　和子 | 小山内秀明 |
| 橋賀台小学校 | 橋賀台3丁目4番地 | 27-2531 | 224 | 10 | 18 | 髙安　輝司 | 住田　健二 |
| 新山小学校 | 加良部4丁目23番地 | 26-6767 | 214 | 12 | 18 | 岩﨑　正彦 | 佐藤　哲也 |
| 吾妻小学校 | 吾妻2丁目6番地 | 27-9060 | 744 | 25 | 33 | 濱本　一夫 | 津守　潤 |
| 玉造小学校 | 玉造3丁目4番地 | 28-3133 | 346 | 14 | 22 | 熱田　友広 | 中島伸太郎 |
| 中台小学校 | 中台1丁目4番地 | 27-0753 | 164 | 9 | 16 | 吉永　和義 | 大迫　哲彦 |
| 神宮寺小学校 | 玉造5丁目28番地 | 26-3677 | 210 | 10 | 18 | 鈴木　佳子 | 成田　道彦 |
| 平成小学校 | 飯仲50番地1 | 22-1361 | 518 | 20 | 28 | 石川　昭代 | 稲阪　明 |
| 本城小学校 | 本城178番地1 | 35-5533 | 347 | 16 | 25 | 竹尾　裕之 | 亀﨑　典也 |
| 大須賀小学校 | 伊能547番地 | 73-2255 | 58 | 7 | 13 | 斎藤多賀子 | 濱田　静 |
| 桜田小学校 | 桜田941番地 | 73-3232 | 104 | 8 | 13 | 小山田稔久 | 大越　春美 |
| 前林小学校 | 前林430番地 | 73-3344 | 56 | 8 | 13 | 宮田　照子 | 髙橋　良和 |
| 津富浦小学校 | 津富浦1093番地 | 73-2277 | 112 | 8 | 14 | 山下　隆文 | 椎名　功 |
| 川上小学校 | 多良貝245番地308 | 73-3434 | 125 | 8 | 13 | 増田　正之 | 石井　一男 |
| 公津の杜小学校 | 公津の杜3丁目2番地 | 29-7770 | 839 | 28 | 43 | 渡邉　直行 | 髙橋　雄一 |
| 美郷台小学校 | 美郷台2丁目19番地1 | 23-6011 | 342 | 14 | 21 | 宮島　孝仁 | 金子　和子 |
| 下総小学校<br>(下総みどり学園) | 名古屋1214番地 | 96-0135 | 265 | 15 | 26 | 髙山　勇 | 岩立　茂 |
| 小学校計 | | － | 7,420 | 335 | 532 | － | － |

| 学校名 | 所在地 | 電話 | 生徒数 | 学級数 | 教職員数 | 校長名 | PTA 会長名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 成田中学校 | 土屋928番地1 | 22-0304 | 515 | 18 | 37 | 大竹　誠司 | 髙橋　良和 |
| 遠山中学校 | 大清水19番地 | 35-0128 | 354 | 14 | 27 | 佐々木英夫 | 鈴木　浩司 |
| 久住中学校 | 久住中央2丁目1番地 | 36-0602 | 81 | 5 | 14 | 平川　千秋 | 宮嵜　優一 |
| 西中学校 | 加良部5丁目11番地 | 26-2606 | 621 | 22 | 40 | 柳鶴　暁 | 鈴木　誠一 |
| 中台中学校 | 中台4丁目2番地 | 26-4201 | 265 | 11 | 25 | 相京　貢 | 永井　和則 |
| 吾妻中学校 | 吾妻1丁目24番地 | 26-6167 | 290 | 12 | 24 | 戸井　康子 | 前田　憲一 |
| 玉造中学校 | 玉造3丁目7番地 | 27-0677 | 275 | 11 | 24 | 寒川　晃士 | 髙松　大樹 |
| 大栄中学校 | 伊能125番地 | 73-4820 | 259 | 11 | 23 | 渡邊　邦明 | 松崎　秀樹 |
| 公津の杜中学校 | 公津の杜5丁目29番地 | 20-5511 | 546 | 19 | 38 | 髙梨　哲生 | 横山　新紀 |
| 下総中学校<br>(下総みどり学園) | 名古屋1214番地 | 96-0135 | 135 | 8 | 19 | 髙山　勇 | 岩立　茂 |
| 中学校計 | | － | 3,341 | 131 | 271 | － | － |

| 幼稚園名 | 所在地 | 電話 | 園児数 | 学級数 | 教職員数 | 園長名 | PTA 会長名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大栄幼稚園 | 臼作115番地 | 73-8005 | 164 | 6 | 9 | 飯島たい子 | 野田　武志 |

# 社会教育施設一覧

平成２８年４月１日現在

| 施　設　名 | 所　在　地 | 電話番号 | 延床面積 |
|---|---|---|---|
| 中央公民館 | 赤坂１丁目１番地３ | 27-5911 | 2,578㎡ |
| 公津公民館 | 宗吾１丁目839番地１ | 26-9610 | 556㎡ |
| 久住公民館 | 幡谷922番地２ | 36-1646 | 552㎡ |
| 橋賀台公民館 | 橋賀台１丁目43番地１ | 26-9695 | 532㎡ |
| 玉造公民館 | 玉造７丁目21番地 | 26-3644 | 550㎡ |
| 豊住公民館 | 北羽鳥2024番地１ | 37-1003 | 549㎡ |
| 成田公民館 | 田町299番地２ | 24-0787 | 1,603㎡ |
| 八生公民館 | 松崎317番地 | 27-1533 | 554㎡ |
| 中郷公民館 | 赤荻1587番地１ | 22-4614 | 551㎡ |
| 加良部公民館 | 加良部３丁目４番地１ | 28-7961 | 542㎡ |
| 遠山公民館 | 大清水48番地７ | 35-0600 | 1,000㎡ |
| 下総公民館 | 高岡1435番地 | 96-0090 | 2,489㎡ |
| 大栄公民館 | 松子393番地 | 73-7071 | 2,706㎡ |
| 成田市立図書館 | 赤坂１丁目１番地３ | 27-2000 | 5,179㎡ |
| 視聴覚サービスセンター | 赤坂１丁目１番地３ | 27-2533 | (558㎡) |
| 成田市立図書館公津の杜分館 | 公津の杜４丁目８番地 | 27-7100 | 1,011㎡ |
| 三里塚御料牧場記念館 | 三里塚御料１番地34 | 35-0442 | 422㎡ |
| 下総歴史民俗資料館 | 高岡1500番地 | 96-0080 | 666㎡ |
| 生涯大学校 | 囲護台1385番地6 | 20-3339 | 551㎡ |
| 生涯学習会館 | 花崎町523番地１ | 22-3958 | 332㎡ |
| 美郷台地区会館 | 美郷台３丁目３番地９ | 24-4352 | 605㎡ |
| 成田国際文化会館 | 土屋303番地 | 23-1331 | 7,060㎡ |
| 成田市文化芸術センター | 花崎町828番地11 | 20-1133 | 3,021㎡ |

# 体育施設一覧

平成２８年４月１日現在

| 施　設　名(所在地) | 施　設　内　容 |
|---|---|
| 中台運動公園<br>（中台5丁目2番地） | 体育館：アリーナ（バスケットボール3面、バレーボール4面）、柔道場、剣道場、卓球場、弓道場、トレーニング室、陸上競技場：日本陸上競技連盟規則第2種公認（ナイター施設）、野球場：1面（ナイター施設）、テニスコート：砂入り人工芝8面（ナイター施設5面）、プール：50mプール、25mプール、チビッ子プール、球技場：1面（ナイター施設）、相撲場：土俵（屋内） |
| 大谷津運動公園<br>（押畑952番地3） | 野球場：1面（ナイター施設）、プール：50mプール、チビッ子プール、多目的広場：1面（多目的広場）、テニスコート：全天候型2面、クレーコート2面 |
| 下総運動公園／フレンドリーパーク<br>（高岡1435番地） | 野球場：1面（ナイター施設）、運動広場：1面（多目的広場）、テニスコート：砂入り人工芝4面（ナイター施設）、サイクリングコース：1周1.5km |
| ナスパ・スタジアム<br>（一坪田410番地1） | 野球場：1面（ナイター施設） |
| 大栄B&G海洋センター<br>（一坪田388番地） | 体育館：アリーナ（バレーボール2面、バスケットボール1面）、武道場、<br>プール：25mプール、チビッ子プール |
| 久住体育館／久住テニスコート<br>（幡谷922番地6） | 体育館：アリーナ（バレーボール2面、バスケットボール1面）<br>テニスコート：全天候型4面 |
| 印東体育館<br>（船形186番地2） | 体育館：アリーナ（バレーボール2面、バスケットボール1面、卓球） |
| 久住第1スポーツ広場<br>（久住中央4丁目23番地1） | 多目的広場：1面 |
| 久住第2スポーツ広場<br>（小泉1131番地） | 多目的広場：1面 |
| 豊住第1スポーツ広場<br>（南羽鳥570番地20／豊住工業団地内） | 多目的広場：1面（ナイター施設） |
| 豊住第2スポーツ広場<br>（竜台1744番地） | 多目的広場：パークゴルフ |
| 中郷スポーツ広場<br>（新泉19番地／野毛平工業団地内） | 多目的広場：1面<br>テニスコート：全天候型2面 |
| 八生第1スポーツ広場<br>（宝田1733番地） | 多目的広場：1面 |
| 遠山スポーツ広場<br>（本城103番地22） | 多目的広場：1面<br>テニスコート：全天候型2面 |
| 神宮寺公園内多目的広場／テニスコート<br>（玉造7丁目13番地／神宮寺公園内） | 多目的広場：1面<br>テニスコート：全天候型1面 |
| ニュータウンスポーツ広場<br>（台方1415番地） | 野球場：1面<br>多目的広場：1面 |
| 公津スポーツ広場<br>（下方693番地2） | 多目的広場：1面 |
| 成田クリーンヒル多目的広場<br>（吉倉116番地6） | 多目的広場：1面 |
| 北羽鳥多目的広場<br>（北羽鳥139番地1） | 多目的広場：1面（芝）、野球場：1面 |
| 大栄運動場<br>（一坪田405番地2） | 多目的広場：1面 |
| 三里塚記念公園テニスコート<br>（三里塚御料1番地34） | テニスコート：全天候型2面 |
| 外小代公園内テニスコート<br>（玉造2丁目1番地／外小代公園内） | テニスコート：全天候型2面 |
| 八生第2スポーツ広場<br>（松崎317番地／八生公民館脇） | テニスコート：全天候型1面 |
| 大栄テニスコート<br>（一坪田405番地7） | テニスコート：砂入り人工芝4面（ナイター施設） |
| 久茂富第一公園テニスコート<br>（吉岡709番地4／大栄工業団地内） | テニスコート：全天候型2面 |
| 十余三パークゴルフ場<br>（十余三64番地1） | 9ホール(コース延長365m) |
| 久住パークゴルフ場<br>（土室818番地2） | Aコース：9ホール（コース延長415m）<br>Bコース：9ホール（コース延長430m） |
| 豊住運動施設<br>（北羽鳥1975番地3） | 体育館：アリーナ（バレーボール2面、バスケットボール1面、卓球）<br>テニスコート2面、グラウンド |
| 中郷運動施設<br>（赤荻1574番地） | 体育館：アリーナ（バレーボール1面、ミニバスケットボール2面）<br>グラウンド |
| 十余三運動施設<br>（十余三27番地3） | 体育館：アリーナ（バレーボール1面、ミニバスケットボール2面、卓球）<br>グラウンド |
| 滑河運動施設<br>（滑川1142番地） | 体育館:アリーナ（バレーボール1面、バスケットボール1面、ミニバスケットボール1面）<br>グラウンド |
| 高岡運動施設<br>（大和田151番地） | 体育館:アリーナ（バレーボール1面、バスケットボール1面、ミニバスケットボール2面）<br>グラウンド |

# 学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧 平成２８年４月１日現在

| 学校名 | 学校医 | | | 学校歯科医 | 学校薬剤師 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 内　科（＊相談医） | 耳鼻科 | 眼　科 | | |
| 成田小学校 | 大田　暁（健康管理医）<br>藤倉　國男　長谷川　修<br>鈴木　薫 | 橘　昌孝 | 土井　靖子 | 日暮　俊久　中村　始<br>日暮　寛之　諸岡　治 | 大徳　秀幸 |
| 遠山小学校 | ＊ 太田不二雄 | 橘　昌利 | 土井　靖子 | 岡本　英彦 | 鈴木　廣邦 |
| 三里塚小学校 | ＊ 平野　憲朗　伊藤　眞綱<br>小倉　宏道 | 橘　昌利 | 加部東武徳 | 中村　始　藤崎　芳明<br>萩原　領一 | 鈴木　廣邦 |
| 久住小学校 | ＊ 菅谷　芳樹　牧瀬　敏裕 | 橘　昌利 | 伊豫田　稔 | 大野文之助　田中　和典 | 眞鍋　知史 |
| 豊住小学校 | ＊ 平野　憲朗 | 橘　昌利 | 加部東武徳 | 大野文之助 | 平間多美代 |
| 八生小学校 | ＊ 京増　芳則 | 成田病院(須田稔士) | 加部東武徳 | 榮　洋子 | 平間多美代 |
| 公津小学校 | ＊ 木下　由彦 | 橘　昌利 | 保津　治道 | 平田　収 | 宍倉　清 |
| 向台小学校 | ＊ 安　徳純　川邉　成 | 橘　昌利 | 保津　治道 | 岡田　孝　諸岡　治 | 三橋　恒子 |
| 加良部小学校 | ＊ 黄　重毅　遠藤富士乗<br>里見　久恵　渡辺　智之 | 橘　昌利 | 保津　治道 | 平田　収　永井　和広<br>阿部　祐幸　萩原　領一 | 長岡美裕紀 |
| 橋賀台小学校 | ＊ 渡邊　剛毅　内山　明江 | 橘　昌利 | 山崎　直樹 | 斎藤　憲一　萩原　大輔 | 木内　規之 |
| 新山小学校 | ＊ 安　徳純　塚田　正男 | 橘　昌孝 | 保津　治道 | 大木　康有　萩原　大輔 | 宍倉　弘記 |
| 吾妻小学校 | ＊ 鳥居　敏明　國保　能彦<br>立花智津子　小倉　宏道 | 橘　昌利 | 山崎　直樹 | 野澤　隆之　齊藤　政治<br>石坂　拓也　阿部　智之 | 伊藤　雅代 |
| 玉造小学校 | ＊ 小田　龍二　尾崎　晴彦 | 橘　昌利 | 山崎　直樹 | 鳥山　栄　鈴木　正徳 | 伊藤　雅代 |
| 中台小学校 | ＊ 中島　正之 | 橘　昌利 | 土井　靖子 | 池田　信子 | 板谷　徹 |
| 神宮寺小学校 | ＊ 片岡　満男　小田　龍二 | 橘　昌利 | 山崎　直樹 | 林田　弘毅　伊東総一郎 | 板谷　徹 |
| 平成小学校 | ＊ 内山　明江　石神　博昭<br>里見　久恵 | 橘　昌利 | 保津　治道 | 藤田　美之　野内　一嘉<br>小出　正義 | 宍倉　清 |
| 本城小学校 | ＊ 麻野　次男　大田　暁 | 橘　昌孝 | 土井　靖子 | 岡田　秀彦　髙橋　洋樹 | 鈴木美知代 |
| 大須賀小学校 | ＊ 宮本　幹夫 | 橘　昌利 | 山崎　直樹 | 鳥山　栄 | 木下　将 |
| 桜田小学校 | ＊ 吉田　博美 | 橘　昌利 | 土井　靖子 | 小太刀眞人 | 木下　将 |
| 前林小学校 | ＊ 髙木　誠一 | 橘　昌孝 | 加部東武徳 | 小太刀眞人 | 木内　茂喜 |
| 津富浦小学校 | ＊ 岡崎　亘裕 | 橘　昌利 | 山崎　直樹 | 入田　雅之 | 遠藤　喜成 |
| 川上小学校 | ＊ 牧瀬　敏裕 | 橘　昌孝 | 加部東武徳 | 藤崎　芳明 | 木内　茂喜 |
| 公津の杜小学校 | 黒田　央文（健康管理医）<br>遠藤富士乗　木下　由彦<br>伊藤けい子<br>鈴木ティベリュウ浩志 | 橘　昌利 | 保津　治道 | 伊藤　健二　日暮　寛之<br>青柳　和孝　阿部　智之<br>大野　康央 | 長岡美裕紀 |
| 美郷台小学校 | ＊ 木内宗三郎　小倉　一久 | 成田病院(須田稔士) | 土井　靖子 | 鈴木　正徳　伊東総一郎 | 石井　通子 |
| 下総小学校 | ＊ 矢野　潔　根本　明久 | 橘　昌利 | 伊豫田　稔 | 川畑　恵一　角田　幸弘 | 金子　泰史 |
| 成田中学校 | ＊ 藤倉　國男　石原　輝英<br>長谷川　修 | 橘　昌孝 | 伊豫田　稔 | 日暮　俊久　岡本　英彦<br>栗田　隆史 | 大徳　秀幸 |
| 遠山中学校 | ＊ 伊藤　眞綱　太田不二雄 | 橘　昌利 | 土井　靖子 | 角田　幸弘　渡部　一郎 | 鈴木美知代 |
| 久住中学校 | ＊ 小倉　一久 | 橘　昌利 | 伊豫田　稔 | 岡田　孝 | 眞鍋　知史 |
| 西中学校 | 石神　博昭（健康管理医）<br>石川　鋭　黒田　央文<br>櫻田　正也 | 橘　昌利 | 保津　治道 | 永井　和広　榮　洋子<br>富澤　圭一　岩松　晃弘 | 木内　規之 |
| 中台中学校 | ＊ 塚田　正男　渡邊由希子 | 橘　昌利 | 土井　靖子 | 萩原　研一　髙橋　洋樹 | 三橋　恒子 |
| 吾妻中学校 | ＊ 川島　明　中島　正之 | 橘　昌利 | 山崎　直樹 | 岩松　晃弘　石坂　拓也 | 宍倉　弘記 |
| 玉造中学校 | ＊ 國保　能彦　尾崎　晴彦 | 橘　昌利 | 加部東武徳 | 大森　基夫　野内　一嘉 | 三橋　恒子 |
| 下総中学校 | ＊ 根本　明久 | 橘　昌利 | 伊豫田　稔 | 川畑　恵一 | 金子　泰史 |
| 大栄中学校 | ＊ 吉田　博美　岡崎　亘裕 | 橘　昌利 | 山崎　直樹 | 伊藤　健二　岡田　秀彦 | 木内　茂喜 |
| 公津の杜中学校 | ＊ 渡邊　剛毅　木内宗三郎<br>中町　裕 | 橘　昌利 | 保津　治道 | 藤田　美之　青柳　和孝<br>齊藤　政治 | 宍倉　弘記 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 大栄幼稚園 | ＊ 髙木　誠一 | 橘　昌利 | 土井　靖子 | 入田　雅之 | 鈴木美知代 |

# 成田市内指定文化財等一覧

平成２８年４月１日現在

**国指定文化財一覧**

**（重要文化財）**

| 番号 | 種別 | 名称 | 所在地 | 所有者又は管理者 | 指定年月日 | 員数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 建造物 | 竜正院仁王門 | 滑川 | 龍正院 | ㍽ 5. 5. 24 | 1棟 | 室町時代中頃の建築 |
| 2 | 〃 | 旧御子神家住宅 | 大竹 | 千葉県 | ㍼44. 6. 20 | 1棟 | 房総のむらへ移築復元、安永8年（1779）建立 |
| 3 | 〃 | 旧学習院初等科正堂 | 大竹 | 千葉県 | ㍼48. 6. 2 | 1棟 | 房総のむらへ移築復元、明治32年（1899）建立 |
| 4 | 〃 | 新勝寺 | 成田 | 新勝寺 | ㍼55. 5. 31 | 5棟 | |
| | | （光明堂） | | | | | 元禄の旧本堂、元禄14年（1701）建立 |
| | | （釈迦堂） | | | | | 安政の旧本堂、安政5年（1858）建立 |
| | | （三重塔） | | | | | 正徳2年（1712）建立 |
| | | （仁王門） | | | | | 文政13年（1830）建立 |
| | | （額堂） | | | | | 文久元年（1861）建立 |
| 5 | 彫刻 | 木造不動明王及二童子像 | 成田 | 新勝寺 | ㍼39. 5. 28 | 3躯 | 新勝寺の本尊 |
| 6 | 書跡 | 住吉物語 | 田町 | 成田山仏教図書館 | ㍼43. 4. 25 | 1帖 | 鎌倉時代中期の擬古物語 |
| 7 | 考古資料 | 南羽鳥中岫1遺跡土坑出土品 | 栄町 | 成田市 | ㍻15. 5. 29 | 一括 | 人頭形土製品をはじめ縄文時代前期の土器・耳飾り・垂飾品など。千葉県立房総のむらにて展示 |
| 8 | 史跡 | 龍角寺古墳群・岩屋古墳 | 大竹他 | 国・千葉県・栄町・成田市・個人 | ㍻21. 2. 21 | | 追加指定・名称変更（岩屋古墳：昭和16. 1. 27） |

**（登録有形文化財）**

| 番号 | 種別 | 名称 | 所在地 | 所有者又は管理者 | 指定年月日 | 員数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 建造物 | 長興院山門 | 伊能 | 長興院 | ㍻11. 7. 8 | 1棟 | 木造楼門、瓦葺、建築面積22㎡ |
| 2 | 〃 | 石橋家住宅門 | 久井崎 | 個人 | ㍻11. 7. 8 | 1棟 | 木造平屋建、瓦葺、建築面積5㎡ |
| 3 | 〃 | 石橋家住宅南の蔵 | 久井崎 | 個人 | ㍻11. 7. 8 | 1棟 | 土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積31㎡ |
| 4 | 〃 | 石橋家住宅東の蔵 | 久井崎 | 個人 | ㍻11. 7. 8 | 1棟 | 土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積30㎡ |
| 5 | 〃 | 石橋家住宅土蔵 | 久井崎 | 個人 | ㍻11. 7. 8 | 1棟 | 土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積40㎡ |
| 6 | 〃 | 大野屋旅館 | 仲町 | 個人 | ㍻17. 2. 9 | 1棟 | 木造3階建、スレート葺、建築面積603㎡、望楼付 |
| 7 | 〃 | 一粒丸三橋薬局店舗 | 仲町 | 個人 | ㍻22. 1. 15 | 1棟 | 土蔵造2階建、瓦葺、建築面積63㎡ |
| 8 | 〃 | 一粒丸三橋薬局土蔵 | 仲町 | 個人 | ㍻22. 1. 15 | 1棟 | 土蔵造2階建、瓦葺、建築面積42㎡ |

**県指定文化財**

| 番号 | 種別 | 名称 | 所在地 | 所有者又は管理者 | 指定年月日 | 員数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 建造物 | 龍正院本堂　附　厨子一基 | 滑川 | 龍正院 | ㍼40. 4. 2 | 1棟 | 元禄11年（1698）建立 |
| 2 | 〃 | 旧平野家住宅 | 大竹 | 千葉県 | ㍼47. 1. 28 | 1棟 | 房総のむらへ移築復元、江戸中期末の民家 |
| 3 | 〃 | 龍正院銅造宝篋印塔　附　銅造棟札１枚 | 滑川 | 龍正院 | ㍼54. 3. 2 | 1基 | 享保3年（1718）鋳造の棟札 |
| 4 | 彫刻 | 銅造阿弥陀如来及び両脇侍立像 | 大竹 | 円光寺 | ㍼57. 4. 6 | 3躯 | 延慶2年（1309）銘あり |
| 5 | 〃 | 木造薬師如来坐像 | 船形 | 薬師寺 | ㍻ 4. 2. 28 | 1躯 | 鎌倉時代の作 |
| 6 | 〃 | 木造阿弥陀如来及び両脇侍像 | 冬父 | 迎接寺 | ㍻ 5. 2. 26 | 3躯 | 平安時代末～鎌倉時代の作 |
| 7 | 〃 | 木造金剛力士立像 | 船形 | 薬師寺 | ㍻10. 3. 20 | 2躯 | 鎌倉時代の作 |
| 8 | 工芸 | 半円方格帯変形神獣鏡 | 土屋 | 成田山霊光館 | ㍼43. 4. 26 | 1面 | 下方、浅間下の通称丸塚より出土 |
| 9 | 〃 | 梵鐘 | 土室 | 祥鳳院 | ㍼44. 1. 10 | 1口 | 乾元2年（1303）銘あり |
| 10 | 〃 | 梵鐘 | 宗吾 | 薬師寺 | ㍼48. 3. 2 | 1口 | 応長元年（1311）銘あり |
| 11 | 〃 | 梵鐘 | 吉岡 | 大慈恩寺 | ㍼49. 3. 19 | 1口 | 延慶3年（1310）銘あり |
| 12 | 〃 | 鋳銅雲版 | 台方 | 超林寺 | ㍼52. 3. 8 | 1面 | 応永15年（1408）銘あり |
| 13 | 〃 | 鋳造鰐口 | 滑川 | 龍正院 | ㍼57. 4. 6 | 1口 | 永正13年（1516）銘あり |
| 14 | 古文書 | 天正検地帳 | | | ㍼57. 4. 6 | 2冊 | 天正19年（1591）の検地帳 |
| | | （下総国香取郡遠山之庄御縄水帳） | 川栗 | 個人 | | | |
| | | （下総国香取郡金山郷御縄打之水帳） | 東金山 | 個人 | | | |
| 15 | 考古資料 | 新勝寺板石塔婆 | 成田 | 新勝寺 | ㍼34. 4. 24 | 2基 | 下総式板碑延元元年（1336）、明徳5年（1394）銘あり |
| 16 | 〃 | 猫作・栗山古墳群第16号墳副葬品 | 高岡 | 成田市 | ㍻ 6. 2. 22 | 一括 | 石枕3点、立花15点ほか |
| 17 | 歴史資料 | 大慈恩寺宝物類 | 吉岡 | 大慈恩寺 | ㍻ 5. 2. 26 | 73点 | 古文書類51点、絵画19点、金銅装箱3点 |
| 18 | 無形文化財 | 武術　天真正伝香取神道流 | 下福田 | 大竹利典 | ㍼60. 11. 29 | | 平成21. 3. 17名称変更 |
| 19 | 〃 | 武術　天真正伝香取神道流 | 下福田 | 大竹信利 | ㍻16. 3. 30 | | 平成21. 3. 17名称変更 |
| 20 | 有形民俗文化財 | 迎接寺　鬼舞面　附衣装11点　菊紋葵紋付桐箱 | 冬父 | 迎接寺 | ㍼29. 12. 21 | | |

**県指定文化財**

| 番号 | 種別 | 名称 | 所在地 | 所有者又は管理者 | 指定年月日 | 員数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 21 | 有形民俗文化財 | 新勝寺絵馬類 | 土屋 | 成田山霊光館 | 昭和38. 5. 4 | 22面 | |
| | | (繋馬の図) | | | | | 谷文晁筆　天保2年奉納 |
| | | (祐天上人御利生の図) | | | | | 一勇斎国芳筆　安政3年奉納 |
| | | (暫の図) | | | | | 新川斎万太郎筆　文政6年奉納 |
| | | (石橋の図) | | | | | 歌川豊国筆　文化11年奉納 |
| | | (花雲鐘入月の図) | | | | | 鳥井清満筆　天保8年奉納 |
| | | (矢の根五郎の図) | | | | | 香蝶楼国貞筆　文政8年奉納 |
| | | (市村座芝居番付の図) | | | | | 鳥井清満筆　文政6年奉納 |
| | | (新発意太鼓の図) | | | | | 鳥井清満筆　嘉永3年奉納 |
| | | (蘭陵王の図) | | | | | 谷文晁筆　文政9年奉納 |
| | | (サーカスの図) | | | | | 陵高筆　明治35年奉納 |
| | | (大森彦七鬼女と争うの図) | | | | | 惺々暁斎筆　明治13年奉納 |
| | | (夜討曾我の図) | | | | | 一勇斎国芳筆　安政3年奉納 |
| | | (市原野の図) | | | | | 沖一峨筆　天保4年奉納 |
| | | (韓信股くぐりの図) | | | | | 長谷川雪旦筆　天保6年奉納 |
| | | (水滸伝中の人物の図) | | | | | 一勇斎国芳筆　天保13年奉納 |
| | | (西王母の図) | | | | | 波藍筆　文政7年奉納 |
| | | (火消千組の図) | | | | | 一勇斎国芳筆　天保4年奉納 |
| | | (牧童の図) | | | | | 大西椿年筆　天保9年奉納 |
| | | (関流正統後藤政紀の算額) | | | | | 明治2年奉納 |
| | | (成田山の書額) | | | | | 徹斎筆　年不明 |
| | | (四季混雑狂歌の額) | | | | | 宿屋飯盛一派　文政4年奉納 |
| | | (せったい所の招牌) | | | | | 七代目団十郎　文政4年奉納 |
| 22 | 〃 | 成田の商業用具 | 土屋 | 成田山霊光館 | 昭和50. 12. 12 | 100点 | 成田山講社定宿の看板ほか |
| 23 | 無形民俗文化財 | 成田のおどり花見 | 成田 | 成田おどり花見保存会 | 昭和39. 4. 28 | | 国記録選択　江戸時代より伝承された弥勒おどり |
| 24 | 〃 | 取香の三番叟 | 取香 | 取香三番叟保存会 | 昭和62. 2. 27 | | 毎年4月第1土曜日に演じられる |
| 25 | 史跡 | 小野派一刀流流祖小野治郎右衛門忠明・二代小野治郎右衛門忠常の墓 | 寺台 | 永興寺 | 昭和18. 4. 30 | | 小野派一刀流流祖・開祖の墓 |
| 26 | 〃 | 八代玉作遺跡 | 玉造 | 成田市 | 昭和41. 12. 2 | | 管玉を主とした古代玉作遺跡 |
| 27 | 〃 | 公津原古墳群 | ニュータウン他 | 成田市他 | 平成2. 3. 16 | 40基 | 5世紀～7世紀の築造 |
| 28 | 天然記念物 | 小御門神社の森 | 名古屋 | 小御門神社 | 昭和49. 3. 19 | | 16,881$m^2$ |
| 29 | 〃 | 麻賀多神社の森 | 台方 | 麻賀多神社 | 昭和52. 3. 8 | | 6,386$m^2$の社叢林である |

**市指定文化財**

| 番号 | 種別 | 名称 | 所在地 | 所有者又は管理者 | 指定年月日 | 員数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 建造物 | 薬師堂 | 上町 | 新勝寺 | 昭和44. 11. 3 | 1棟 | 明暦の旧本堂　明暦元年(1655)建立 |
| 2 | 〃 | 鐘楼 | 成田 | 新勝寺 | 昭和44. 11. 3 | 1棟 | 元禄14年(1701)建立 |
| 3 | 〃 | 一切経堂 | 成田 | 新勝寺 | 昭和44. 11. 3 | 1棟 | 享保7年(1722)建立 |
| 4 | 〃 | 清滝権現堂 | 成田 | 新勝寺 | 昭和44. 11. 3 | 1棟 | 享保17年(1732)建立 |
| 5 | 〃 | 石造多層塔 | 大竹 | 円光寺 | 昭和44. 11. 3 | 1基 | 七層の石塔　応永10年(1403)銘あり |
| 6 | 〃 | 麻賀多神社本殿 | 台方 | 麻賀多神社 | 昭和46. 11. 3 | 1棟 | 寛文13年(1673)建立 |
| 7 | 〃 | 輪転経蔵 | 成田 | 新勝寺 | 昭和47. 11. 3 | 1棟 | 享保年間の建造か |
| 8 | 〃 | 龍正院宝篋印塔群 | 滑川 | 龍正院 | 昭和54. 3. 1 | 11基 | 慶長4年(1599)～寛永11年(1634) |
| 9 | 〃 | 山王社(本殿) | 奈土 | 昌福寺 | 昭和49. 6. 25 | 1棟 | |
| 10 | 絵画 | 絹本著色阿弥陀三尊来迎図 | 郷部 | 観音堂宝物保存会 | 平成10. 12. 25 | 1幅 | 江戸時代初期の作 |
| 11 | 彫刻 | 木造阿弥陀如来坐像 | 土屋 | 薬王寺 | 昭和44. 11. 3 | 1躯 | 鎌倉時代の作 |
| 12 | 〃 | 木造延命地蔵菩薩立像 | 幡谷 | 延命院 | 昭和45. 11. 3 | 1躯 | 鎌倉時代の作 |
| 13 | 〃 | 十一面観世音菩薩像 | 稲荷山 | 個人 | 昭和55. 5. 12 | 1躯 | 中国「唐」時代の渡来仏か |
| 14 | 〃 | 木造聖観音坐像 | 寺台 | 永興寺 | 昭和60. 2. 1 | 1躯 | 応永6年(1399)銘あり |
| 15 | 〃 | 木造観音菩薩立像 | 土室 | 土室台郭観音様保存会 | 平成1. 12. 20 | 1躯 | 南北朝時代の作 |
| 16 | 〃 | 木造虚空蔵菩薩坐像 | 江弁須 | 正蔵院 | 平成10. 3. 27 | 1躯 | 南北朝時代の作 |
| 17 | 〃 | 銅造十一面観音菩薩像 | 村田 | 耕田寺 | 平成2. 3. 9 | 1躯 | 南北朝時代の作 |
| 18 | 〃 | 昌福寺欄間 | 奈土 | 昌福寺 | 平成15. 2. 4 | 11面 | 元禄年間の作 |

**市指定文化財**

| 番号 | 種別 | 名称 | 所在地 | 所有者又は管理者 | 指定年月日 | 員数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 19 | 彫刻 | 木造地蔵菩薩坐像 | 新駒井野 | 高福寺 | 平成25. 3.25 | 1躯 | 13世紀後半の作 |
| 20 | 〃 | 木造薬師如来坐像 | 成田 | 新勝寺 | 平成26. 8.26 | 1躯 | 12世紀前半の作 |
| 21 | 工芸 | 懸仏 | 大竹 | 観行院 | 昭和47.11. 3 | 1面 | 紀年銘なし |
| 22 | 〃 | 保目神社の懸仏 | 寺台 | 寺台保目神社宝物保存会 | 平成13.12. 4 | 1面 | 室町時代の作か |
| 23 | 書跡 | 国学者鈴木雅之の著書 | 田町 | 成田山仏教図書館 | 昭和44.11. 3 | 79点 | 民政要論略篇ほか |
| 24 | 〃 | 高札 | 土屋 | 成田山霊光館 | 昭和44.11. 3 | 7点 | 邪宗門禁止の高札ほか |
| 25 | 〃 | 版木 | 土屋 | 成田山霊光館 | 昭和44.11. 3 | 56点 | 幕末の歌人神山魚貫「苔清水」の版木 |
| 26 | 〃 | 幡谷家文書 | 押畑 | 個人 | 昭和47.11. 3 | 一括 | 北条氏政・氏直の文書ほか |
| 27 | 考古資料 | 板石塔婆 | 宗吾 | 東勝寺 | 昭和44.11. 3 | 2基 | 下総式板碑　康永元年（1342）銘あり |
| 28 | 〃 | 硬玉製大勾玉 | 幸町 | 個人 | 昭和44.11. 3 | 1個 | 郷部出土コの字形勾玉 |
| 29 | 〃 | 平貞胤供養碑 | 台方 | 超林寺 | 昭和45.11. 3 | 1基 | 観応2年（1351）銘あり |
| 30 | 〃 | 金銅製経筒 | 土屋 | 成田山霊光館 | 昭和44.11. 3 | 1基 | 大永8年（1528）銘あり |
| 31 | 〃 | 弥生式壺型土器 | 土屋 | 成田山霊光館 | 昭和44.11. 3 | 1基 | 南関東系弥生式土器 |
| 32 | 〃 | 竜角寺出土文字瓦 | 土屋 | 成田山霊光館 | 昭和44.11. 3 | 2枚 | 「朝布」「加刀利」のへら書あり |
| 33 | 〃 | 八代玉作遺跡出土品 | 土屋 | 成田山霊光館 | 昭和45.11. 3 | 一括 | 管玉の製作工程を示す遺物ほか |
| 34 | 〃 | 大和田玉作り資料 | 高岡 | 成田市 | 昭和54. 3. 1 | 18ケース | 古墳時代中期の玉類製作工程を示す資料 |
| 35 | 〃 | 板碑群 | 吉岡 | 大慈恩寺 | 平成 2. 3. 9 | 27基 | 南北朝～室町時代の下総型板碑群 |
| 36 | 〃 | 南羽鳥正福寺遺跡第1地点1号墳出土埴輪 | 高岡 | 成田市 | 平成13.12. 4 | 一括 | ムササビ形をはじめとする形象埴輪や円筒埴輪 |
| 37 | 歴史資料 | 伊能図（中図） | 田町 | 成田山仏教図書館 | 平成 8. 3.19 | 8枚 | 大きいもので縦8尺6寸横4尺<br>小さいもので縦4尺8寸横4尺2寸 |
| 38 | 有形民俗文化財 | 竜台の百庚申 | 竜台 | 竜台百庚申保存会 | 平成 6. 3.15 | 100基 | 宝暦2年（1752）～安政6年（1777）銘あり |
| 39 | 〃 | 紙本著色地蔵十王図 | 郷部 | 観音堂宝物保存会 | 平成10.12.25 | 11幅 | 江戸時代中期の作 |
| 40 | 〃 | ガラス絵馬及び板絵馬類 | 中里 | 楽満寺 | 平成18. 3.17 | 39面 | ガラス絵馬18面、板絵馬21面 |
| 41 | 無形民俗文化財 | 台方麻賀多神社神楽 | 台方<br>下方 | 麻賀多神社神楽保存会 | 昭和50.10. 6 | | 毎年7月最終日曜日に演じられる |
| 42 | 〃 | 北羽鳥香取神社獅子舞 | 北羽鳥 | 北羽鳥香取神社獅子舞保存会 | 昭和50.10. 6 | | 毎年4月第1日曜日に演じられる |
| 43 | 〃 | 西大須賀の神楽 | 西大須賀 | 西大須賀郷土芸能保存会 | 平成 8.12.25 | | 毎年4月15日・16日前の土・日曜日に八幡神社、耀窟神社で演じられる |
| 44 | 〃 | 伊能歌舞伎 | 伊能 | 伊能歌舞伎保存会 | 平成14. 2. 5 | | 毎年4月17日以降の日曜日に大須賀大神で演じられる |
| 45 | 史跡 | 国学者鈴木雅之の墓 | 南羽鳥 | 個人 | 昭和44.11. 3 | 1基 | 鈴木家累代の墓地内にあり |
| 46 | 〃 | 式内社麻賀多神社 | 台方<br>船形 | 麻賀多神社 | 昭和44.11. 3 | 2社 | 台方社、船形社の2社あり |
| 47 | 〃 | 利生塔礎石群 | 吉岡 | 大慈恩寺 | 昭和51.11.11 | 一括 | 元禄16年（1703）再建の利生塔礎石群 |
| 48 | 〃 | 経文塚 | 前林 | 個人 | 昭和53.12.21 | 1基 | 享保20年（1735）の碑文あり |
| 49 | 〃 | 寺台河岸跡 | 寺台 | 個人 | 昭和61.11. 3 | | 江戸時代、成田水運の要地 |
| 50 | 〃 | 奈土貝塚 | 奈土 | 個人 | 平成 2. 3. 9 | | ヤマトシジミ主体の縄文時代晩期の地点貝塚 |
| 51 | 天然記念物 | 来迎寺の大カヤ | 松崎 | 来迎寺 | 昭和46.11. 3 | 1樹 | 目通り幹回り約4メートル |
| 52 | 〃 | 押畑の大シイ | 押畑 | 個人 | 昭和46.11. 3 | 1樹 | 〃　約9メートル |
| 53 | 〃 | 久米の大シイ | 久米 | 個人 | 昭和47.11. 3 | 1樹 | 〃　約5メートル |
| 54 | 〃 | 新勝寺の大ケヤキ | 成田 | 新勝寺 | 昭和47.11. 3 | 1樹 | 〃　約6メートル |
| 55 | 〃 | 水神の森 | 北須賀 | 麻賀多神社 | 昭和58.11. 3 | | 松の木16本の森 |
| 56 | 〃 | 東光寺のイヌマキ | 青山 | 東光寺 | 昭和59. 6.14 | 1樹 | 目通り幹回り約4メートル |
| 57 | 〃 | 船形の大シイ | 船形 | 薬師寺 | 平成 7. 4.20 | 1樹 | 〃　約6メートル |
| 58 | 〃 | 赤荻の大エノキ | 赤荻 | 成田市 | 平成23. 3. 1 | 1樹 | 〃　約4.3メートル |
| 59 | 名勝 | 夫婦松と芭蕉句碑 | 滑川 | 龍正院 | 昭和62. 4.21 | | 句碑に寛政5年（1793）の銘あり |

**記録選択**

| 番号 | 種別 | 名称 | 所在地 | 所有者又は管理者 | 指定年月日 | 員数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 無形民俗文化財 | 成田のおどり花見 | 成田 | 成田おどり花見保存会 | 昭和53. 1.31 | | 国記録選択　江戸時代より伝承された弥勒おどり |
| 2 | 〃 | 奈土のオビシャ | 奈土 | 奈土5区・6区 | 平成 4. 2.28 | | 県記録選択　毎年2月13日後の土曜日か日曜日に実施 |

# 平成２７年度　学校体育施設開放利用状況

| 学校名 | 利用日数 | 体育館利用人数 | 運動場利用人数 | その他利用人数 | 利用人数合計 | 利用団体合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 成田小 | 307 | 8,545 | 3,300 | 1,700 | 13,545 | 540 |
| 遠山小 | 64 | 1,577 | 536 | 0 | 2,113 | 67 |
| 三里塚小 | 274 | 7,756 | 148 | 0 | 7,904 | 377 |
| 久住小 | 153 | 4,185 | 1,596 | 0 | 5,781 | 188 |
| 豊住小 | 163 | 2,410 | 2,585 | 0 | 4,995 | 185 |
| 八生小 | 209 | 6,038 | 2,760 | 0 | 8,798 | 322 |
| 公津小 | 321 | 9,411 | 5,450 | 0 | 14,861 | 567 |
| 向台小 | 234 | 4,647 | 2,215 | 0 | 6,862 | 355 |
| 加良部小 | 312 | 6,938 | 4,426 | 0 | 11,364 | 525 |
| 橋賀台小 | 289 | 11,272 | 2,375 | 0 | 13,647 | 573 |
| 新山小 | 249 | 6,261 | 4,760 | 0 | 11,021 | 415 |
| 吾妻小 | 216 | 15,382 | 17,640 | 0 | 33,022 | 452 |
| 玉造小 | 299 | 19,730 | 10,250 | 0 | 29,980 | 523 |
| 中台小 | 317 | 14,575 | 9,215 | 0 | 23,790 | 729 |
| 神宮寺小 | 251 | 14,205 | 11,210 | 0 | 25,415 | 469 |
| 平成小 | 309 | 13,438 | 8,100 | 0 | 21,538 | 608 |
| 本城小 | 318 | 10,636 | 3,170 | 0 | 13,806 | 534 |
| 大須賀小 | 42 | 1,110 | 0 | 0 | 1,110 | 46 |
| 桜田小 | 108 | 2,221 | 0 | 0 | 2,221 | 110 |
| 前林小 | 100 | 3,749 | 3,299 | 0 | 7,048 | 119 |
| 津富浦小 | 136 | 4,560 | 0 | 0 | 4,560 | 137 |
| 川上小 | 105 | 3,183 | 1,680 | 0 | 4,863 | 165 |
| 公津の杜小 | 340 | 18,322 | 4,800 | 0 | 23,122 | 694 |
| 美郷台小 | 319 | 11,709 | 7,040 | 0 | 18,749 | 570 |
| 下総小 | 67 | 1,190 | 0 | 0 | 1,190 | 67 |
| 小学校計 | 5,502 | 203,050 | 106,555 | 1,700 | 311,305 | 9,337 |

| 学校名 | 利用日数 | 体育館利用人数 | 運動場利用人数 | その他利用人数 | 利用人数合計 | 利用団体合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 成田中 | 289 | 4,806 | 0 | 0 | 4,806 | 289 |
| 遠山中 | 186 | 2,196 | 150 | 0 | 2,346 | 187 |
| 久住中 | 355 | 8,390 | 0 | 0 | 8,390 | 364 |
| 西中 | 356 | 7,095 | 0 | 7,150 | 14,245 | 607 |
| 中台中 | 271 | 7,740 | 18 | 0 | 7,758 | 312 |
| 吾妻中 | 267 | 2,640 | 7,270 | 0 | 9,910 | 397 |
| 玉造中 | 232 | 3,726 | 280 | 1,520 | 5,526 | 313 |
| 下総中 | 146 | 2,508 | 0 | 731 | 3,239 | 173 |
| 大栄中 | 245 | 3,920 | 1,770 | 0 | 5,690 | 250 |
| 公津の杜中 | 358 | 11,065 | 0 | 4,765 | 15,830 | 938 |
| 中学校計 | 2,705 | 54,086 | 9,488 | 14,166 | 77,740 | 3,830 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 8,207 | 257,136 | 116,043 | 15,866 | 389,045 | 13,167 |

※日数及び人数はすべて延べ数。

# 平成２７年度　公民館利用状況

単位：人

| | 開館日数 | 主催事業 | 行政関係 | サークル関係 | その他団体 | その他利用 | 図書 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 中央公民館 | 326 | 10,841 | 19,516 | 59,796 | 1,830 | 6,759 | - | 98,742 |
| 公津公民館 | 293 | 861 | 3,653 | 11,215 | 389 | 0 | 794 | 16,912 |
| 久住公民館 | | 181 | 1,715 | 3,953 | 0 | 0 | 967 | 6,816 |
| 橋賀台公民館 | | 85 | 953 | 11,599 | 30 | 37 | 1,247 | 13,951 |
| 玉造公民館 | | 364 | 3,676 | 21,134 | 278 | 9 | 3,688 | 29,149 |
| 豊住公民館 | | 249 | 1,781 | 2,825 | 30 | 0 | 312 | 5,197 |
| 成田公民館 | | 77 | 4,537 | 7,324 | 326 | 0 | 10,886 | 23,150 |
| 八生公民館 | | 52 | 1,981 | 8,113 | 29 | 0 | 257 | 10,432 |
| 中郷公民館 | | 182 | 2,555 | 5,904 | 109 | 0 | 435 | 9,185 |
| 加良部公民館 | | 0 | 1,632 | 17,403 | 5 | 0 | 634 | 19,674 |
| 遠山公民館 | | 120 | 1,218 | 8,940 | 206 | 0 | 464 | 10,948 |
| 下総公民館 | | 662 | 5,135 | 10,243 | 401 | 125 | 1,249 | 17,815 |
| 大栄公民館 | | 1,401 | 10,733 | 11,911 | 206 | 992 | 3,030 | 28,273 |
| 合計 | | 15,075 | 59,085 | 180,360 | 3,839 | 7,922 | 23,963 | 290,244 |

# 平成２７年度　図書館資料点数及び利用状況

| 館名 | 資料点数（平成28年3月31日現在） | | | | | | 資料貸出利用者数及び貸出点数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 図書（冊） | | 雑誌（冊） | AV（点） | 録音図書備品等（点） | 合計 | 開館日数（日） | 利用者数（人） | 一日平均（人） | 貸出点数（点） | 一日平均（点） |
| | 一般書 | 児童書 | | | | | | | | | |
| 本館 | 495,886 | 201,355 | 47,032 | 13,182 | 680 | 758,135 | 293 | 243,275 | 830 | 920,422 | 3,141 |
| 公津の杜分館 | 78,487 | 23,822 | 1,651 | 0 | 3 | 103,963 | 293 | 78,074 | 266 | 294,997 | 1,007 |
| 公津公民館図書室 | 3,244 | 3,558 | 113 | 0 | 0 | 6,915 | 278 | 794 | 3 | 1,886 | 7 |
| 久住公民館図書室 | 1,875 | 2,275 | 33 | 0 | 0 | 4,183 | 278 | 967 | 3 | 3,151 | 11 |
| 橋賀台公民館図書室 | 3,725 | 3,171 | 99 | 0 | 0 | 6,995 | 278 | 1,247 | 4 | 3,163 | 11 |
| 玉造公民館図書室 | 4,782 | 4,452 | 207 | 0 | 0 | 9,441 | 278 | 3,688 | 13 | 10,479 | 38 |
| 豊住公民館図書室 | 2,260 | 2,694 | 22 | 0 | 0 | 4,976 | 278 | 312 | 1 | 806 | 3 |
| 成田公民館図書室 | 32,451 | 12,552 | 477 | 0 | 0 | 45,480 | 278 | 10,886 | 39 | 32,652 | 117 |
| 加良部公民館図書室 | 4,129 | 3,973 | 104 | 0 | 0 | 8,206 | 278 | 634 | 2 | 1,610 | 6 |
| 中郷公民館図書室 | 3,039 | 4,050 | 20 | 0 | 0 | 7,109 | 278 | 435 | 2 | 1,254 | 5 |
| 遠山公民館図書室 | 3,944 | 4,057 | 138 | 0 | 0 | 8,139 | 278 | 464 | 2 | 1,545 | 6 |
| 八生公民館図書室 | 3,505 | 3,191 | 18 | 0 | 0 | 6,714 | 278 | 257 | 1 | 800 | 3 |
| 美郷台地区会館図書室 | 3,485 | 4,151 | 317 | 0 | 0 | 7,953 | 278 | 3,200 | 12 | 12,340 | 44 |
| 三里塚コミュニティセンター図書室 | 6,001 | 5,269 | 460 | 0 | 0 | 11,730 | 292 | 6,955 | 24 | 26,587 | 91 |
| 下総公民館図書室 | 5,511 | 2,675 | 100 | 0 | 0 | 8,286 | 278 | 1,249 | 4 | 4,688 | 17 |
| 大栄公民館図書室 | 6,665 | 4,928 | 144 | 0 | 0 | 11,737 | 278 | 3,030 | 11 | 14,028 | 50 |
| 図書宅配便 | — | — | — | — | — | — | — | 12 | — | 44 | — |
| ※ 郵送 | — | — | — | — | — | — | — | 76 | — | 118 | — |
| ※ 宅配 | — | — | — | — | — | — | — | 24 | — | 116 | — |
| 合計 | 658,989 | 286,173 | 50,935 | 13,182 | 683 | 1,009,962 | — | 355,579 | — | 1,330,686 | — |

※障がい者サービス

# 市内大学・高等学校・私立小中学校・私立幼稚園

## ◎大学

| 学　校　名 | 所　在　地 | 電　話　番　号 |
|---|---|---|
| 国際医療福祉大学　成田キャンパス | 公津の杜4丁目3番地 | 20-7701 |

## ◎高等学校

| 学　校　名 | 所　在　地 | 電　話　番　号 |
|---|---|---|
| 県立成田西陵高等学校 | 松崎20番地 | 26-8111 |
| 県立成田国際高等学校 | 加良部3丁目16番地 | 27-2610 |
| 県立成田北高等学校 | 玉造5丁目1番地 | 27-3411 |
| 県立下総高等学校 | 名古屋247番地 | 96-1161 |
| 私立成田高等学校 | 成田27番地 | 22-2131 |

## ◎私立小・中学校

| 学　校　名 | 所　在　地 | 電　話　番　号 |
|---|---|---|
| 成田高等学校付属小学校 | 田町10番地 | 23-1628 |
| 成田高等学校付属中学校 | 成田27番地 | 22-2131 |

## ◎私立幼稚園

| 学　校　名 | 所　在　地 | 電　話　番　号 |
|---|---|---|
| 成田幼稚園 | 上町633番地2 | 22-0059 |
| 三里塚幼稚園 | 三里塚御料1番地674 | 35-0139 |
| はぼたん幼稚園 | 加良部1丁目11番地 | 28-1234 |
| 聖徳大学附属成田幼稚園 | 中台3丁目8番地 | 26-3371 |
| くすのき幼稚園 | 船形828番地 | 26-6688 |
| はくと幼稚園 | 吾妻3丁目51番地 | 26-2331 |
| はしが台幼稚園 | 橋賀台3丁目5番地 | 26-5661 |
| 玉造幼稚園 | 玉造1丁目3番地1 | 28-3131 |
| 公津の杜幼稚園 | 公津の杜4丁目7番地1 | 27-6699 |

平成２８年度　なりたの教育

発　　　行　成田市教育委員会

編　　　集　教育総務部　教育総務課

〒286-8585

成田市花崎町 760 番地

電　話　0476-20-1580

発　行　日　平成 28 年 10 月

登録番号　成教総　16-025

NARITA

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。